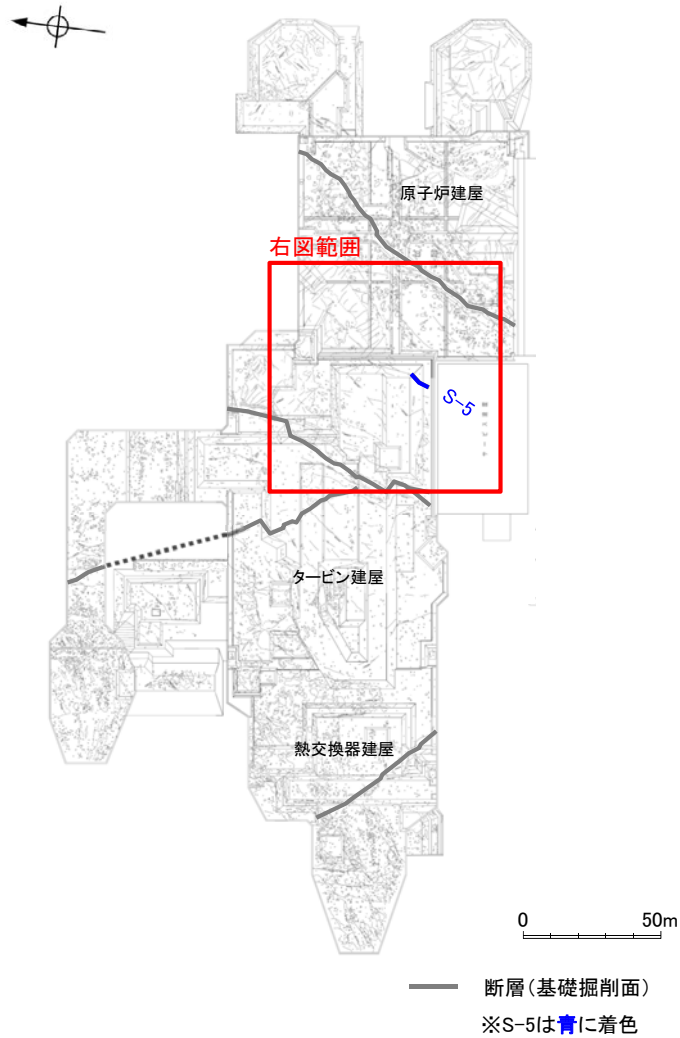


■S-5北端の調査結果を以下に示す。

【S-5北端の評価】
2号機基礎掘削面において、S-5が認められなくなることを確認。



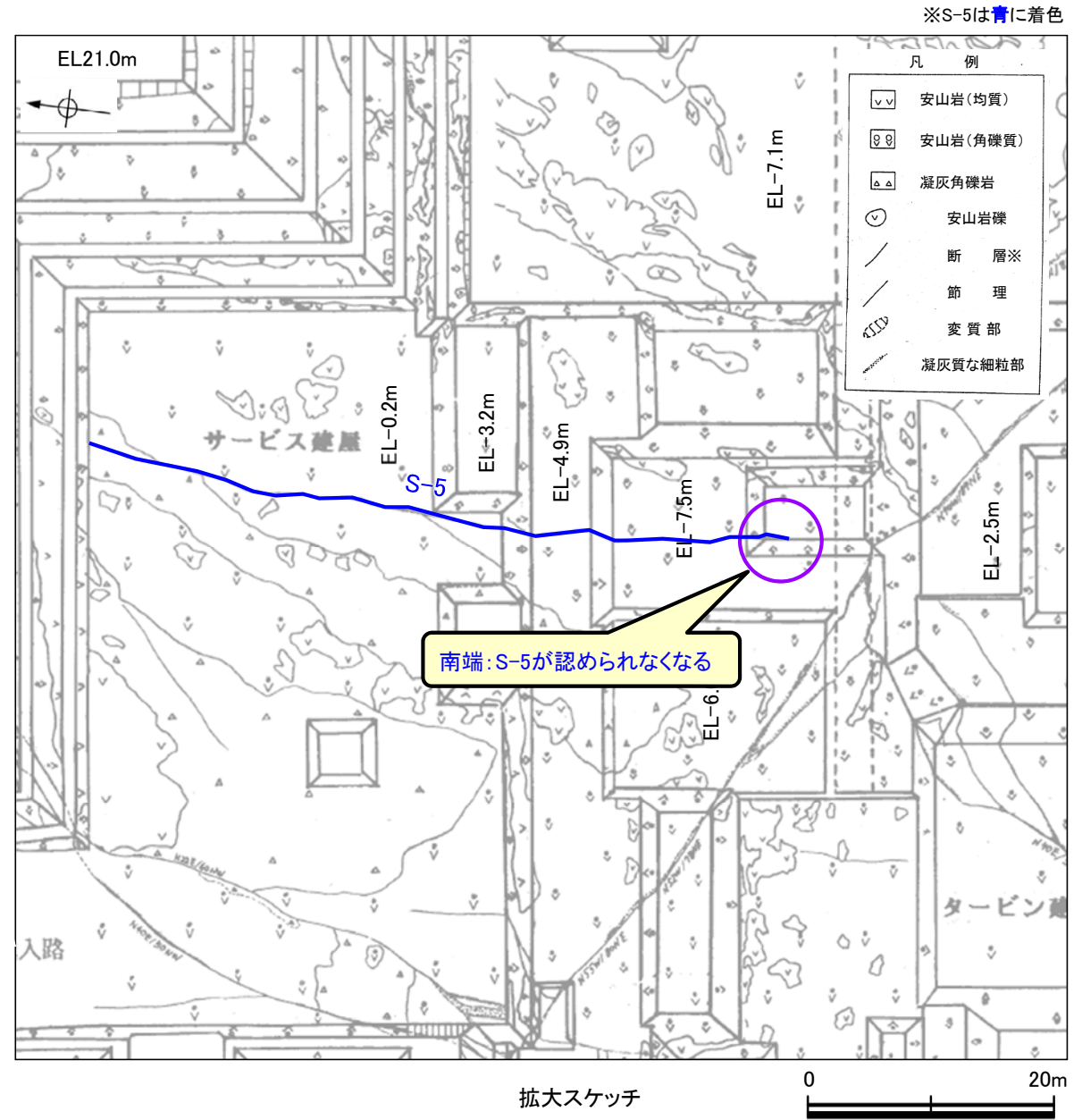
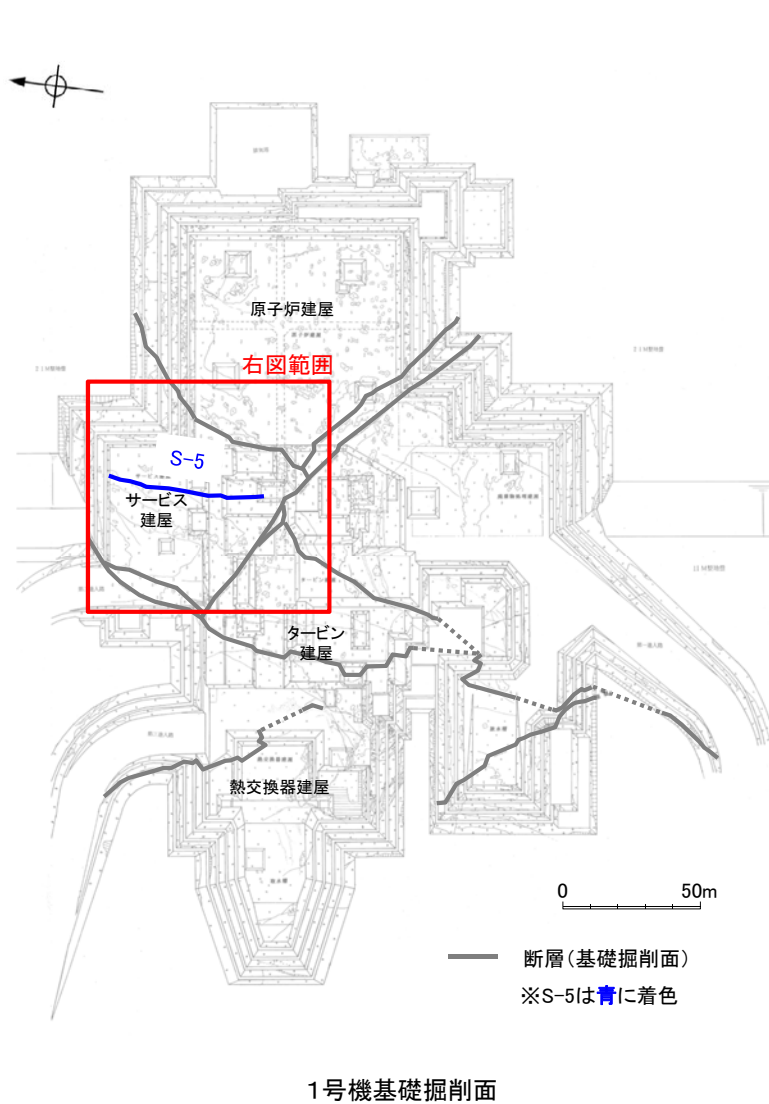
2号機基礎掘削面



拡大スケッチ

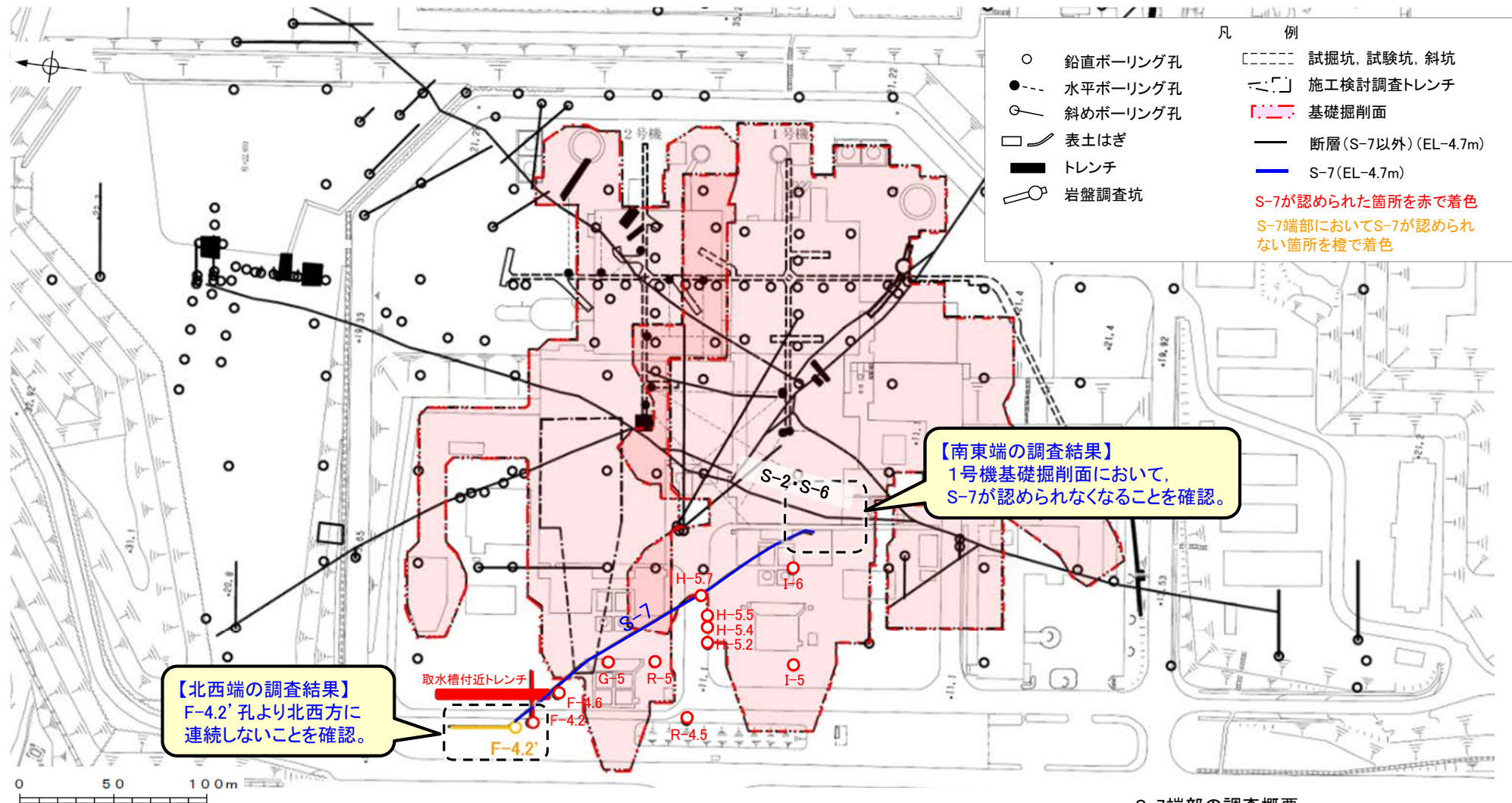
■S-5南端の調査結果を以下に示す。

【S-5南端の調査結果】
1号機基礎掘削面において、S-5が認められなくなることを確認。



(5) S-7端部の調査結果

■S-7端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

	延長	走向/傾斜
S-7	190m	N41°W/60°SW*

* 走向は一般走向
傾斜はボーリングの値

S-7端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	F-4.2' 孔	北西端の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

■ S-7北西端の調査結果を以下に示す。

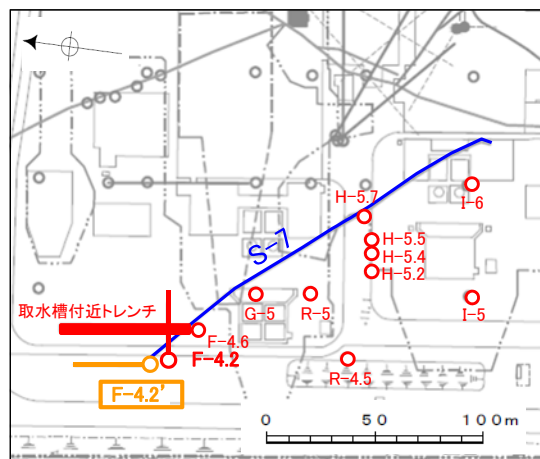
【S-7北西端の調査結果】

- ・基礎掘削面から北西方に追跡した結果、取水槽付近トレンチまでS-7を確認。
- ・取水槽付近トレンチとF-4.2孔で確認したS-7の位置、走向・傾斜を考慮して、北西方への想定延長範囲を設定。
- ・F-4.2'孔の想定延長範囲内に、S-7が認められないため、S-7はこれ以上連続しない。

○北西端の止めとしているF-4.2'孔の調査結果を以降に示す。

【F-4.2'孔の調査結果】

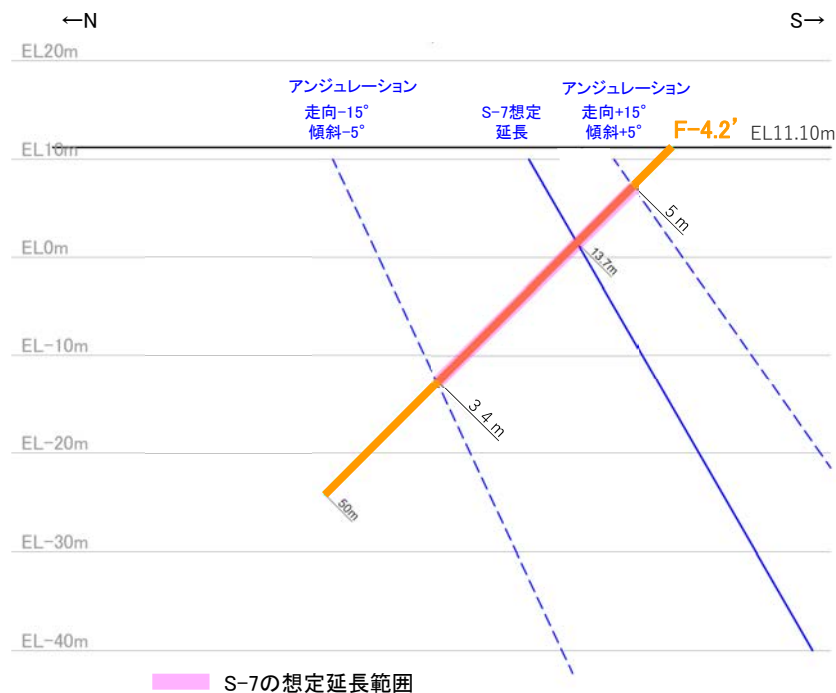
- ・右の断面図に示すとおり、S-7の想定延長範囲は、深度5~34mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-7は認められない。
(想定延長範囲のコア写真は次頁参照)



調査位置図

— S-7(EL-4.7m)

赤: S-7が認められる箇所
橙: S-7端部においてS-7が認められない箇所

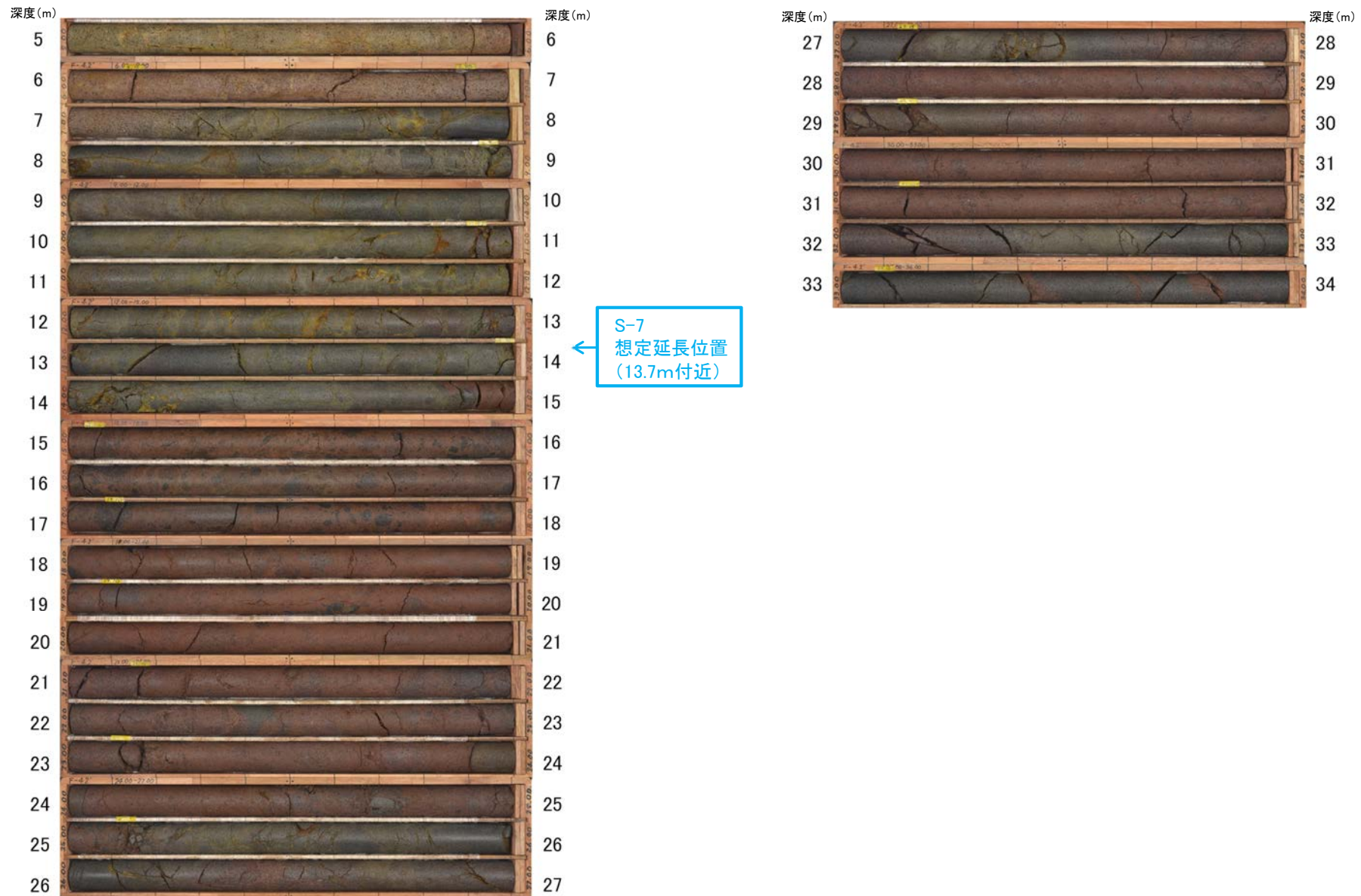


F-4.2'孔断面図
(掘進方向)

・S-7想定延長範囲(深度5~34m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-6-38~39

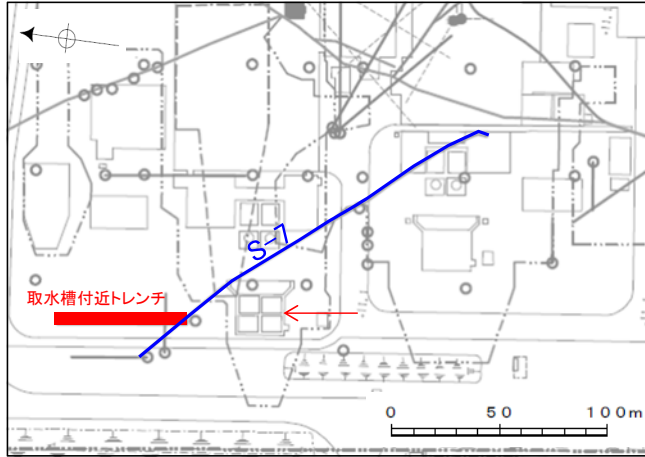
F-4.2' 孔(孔口標高11.10m, 掘進長50m, 傾斜45°)



コア写真(深度5~34m)

F-4.2' 孔において、S-7の想定延長範囲(深度5~34m)にS-7は認められない。

■S-7については、北西方への追跡調査を実施し、北西端を確認した。このうち、取水槽付近トレンチの調査結果を以下に示す。



調査位置図



トレンチ全景写真

E→

穴水累層 安山岩(均質)
・灰色～褐色を呈する。
・全体に3～30cmの間隔で割れ目が認められる。割れ目は概ね密着している。

穴水累層 安山岩(角礫質)
・灰色～褐色を呈する。
・全体に30～100cmの間隔で割れ目が認められる。割れ目は概ね密着している。

←W
— S-7(EL-4.7m)
← 全景写真撮影方向

【破碎部の分布, 性状】

- ・東面では、安山岩(角礫質)と安山岩(均質)の境界に沿って分布し、明瞭で平滑な面が認められる。厚さは1～10cmで、明黄灰色のシルトの基質と径0.5～2cmの安山岩角礫からなり、固結している。
- ・底盤では、東面で認められた明瞭で平滑な面は西面に向かって次第に不明瞭で凹凸に富むようになり、N10° W/80° SWとN26° W/68° SWの2条に分岐し、前者はせん滅し、後者は断続的になる。
- ・西面では、破碎部は断続的に分布するが、上部に向かって平滑な面は認められなくなる。



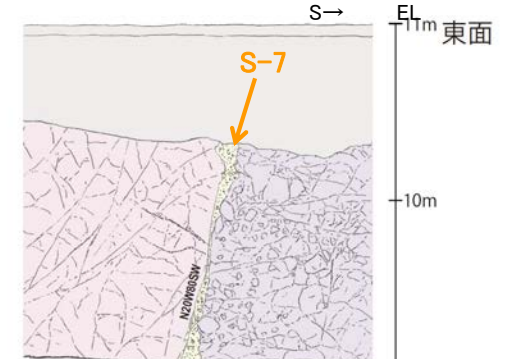
S-7

EL 11m 東面
S→

10m

9m

底盤



EL 11m 東面
S→

10m

9m

底盤



←N



S-7周辺写真

9m 西面 ←N

10m

EL



S-7周辺スケッチ(展開図)

9m 西面

10m

EL

凡例

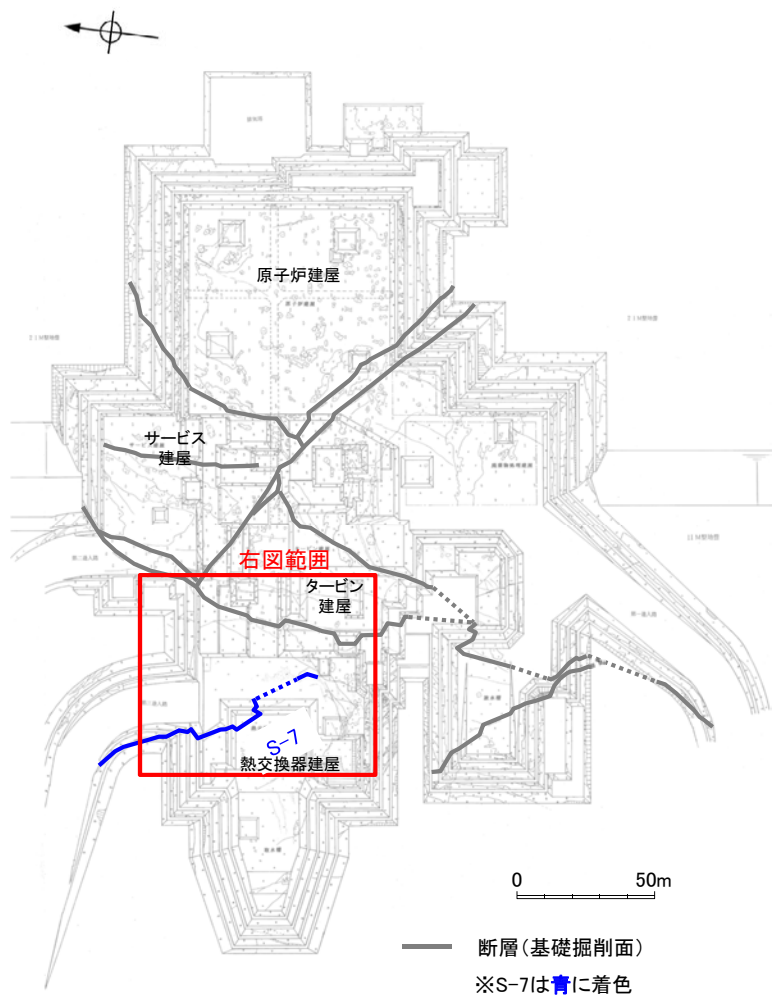
- 人工改変部
- 穴水累層 安山岩(均質)
- 穴水累層 安山岩(角礫質)
- 固結した破碎部

- ・取水槽付近トレンチにおいて認められる固結した破碎部は、破碎部の性状や走向・傾斜等からS-7に対応すると判断される。
- ・本破碎部は、底盤で2条に分岐し、それぞれせん滅、断続的になることから、南東側から連続してきたS-7の末端部の性状を示していると考えられる。

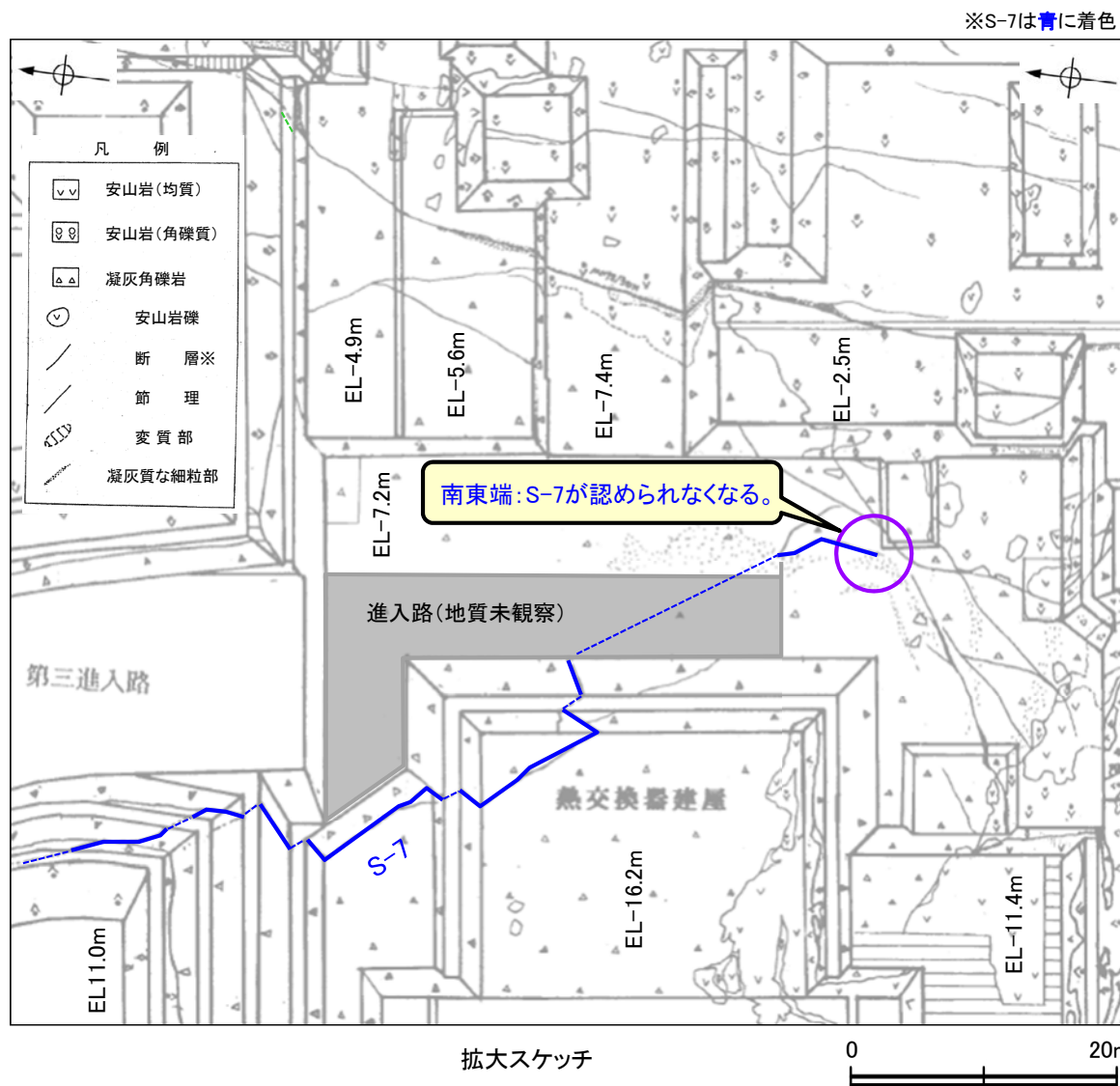
■S-7南東端の評価を以下に示す。

【S-7南東端の評価】

1号機基礎掘削面において、S-7が認められなくなることを確認。

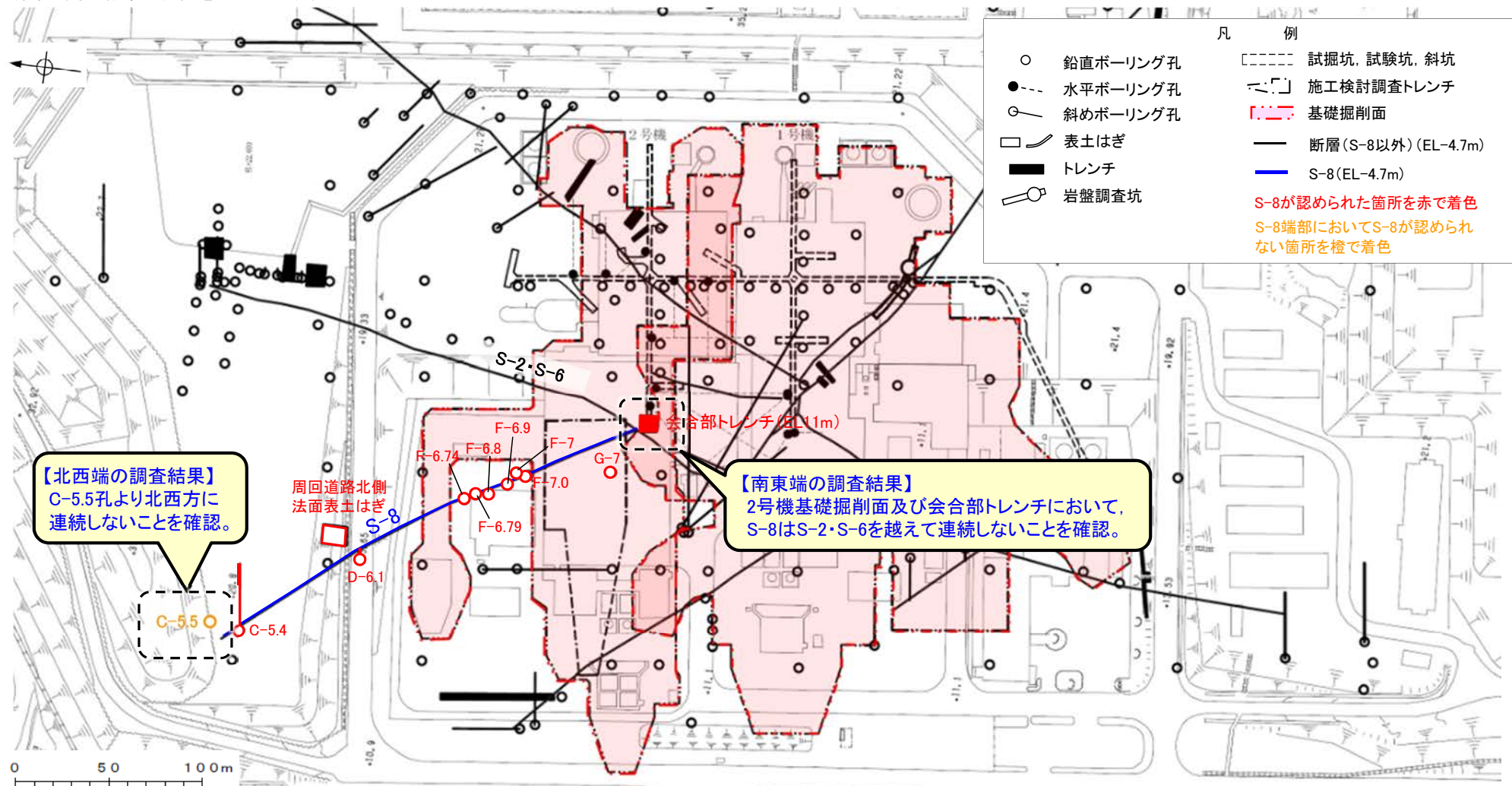


1号機基礎掘削面



(6) S-8端部の調査結果

■S-8端部の調査結果の概要を以下に示す。



【北西端の調査結果】
C-5.5孔より北西方に連続しないことを確認。

【南東端の調査結果】
2号機基礎掘削面及び会合部トレンチにおいて、S-8はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

S-8端部の調査概要

	延長	走向/傾斜
S-8	250m	N28°W/58°SW*

* 走向は一般走向
傾斜はトレンチの値

調査位置図

位置	調査箇所	調査結果
北西端	C-5.5孔	北西端の止め
南東端	2号機基礎掘削面	南東端の止め
	会合部トレンチ	

■ S-8北西端の調査結果を以下に示す。

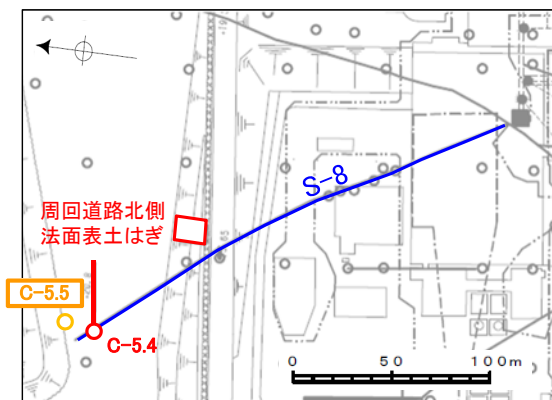
【S-8北西端の調査結果】

- ・基礎掘削面から北西方に追跡した結果、C-5.4孔までS-8を確認。
- ・周回道路北側法面表土はぎとC-5.4孔で確認したS-8の位置、走向・傾斜を考慮して、北西方への想定延長範囲を設定。
- ・C-5.5孔の想定延長範囲内に、S-8が認められないため、S-8はこれ以上連続しない。

○北西端の止めとしているC-5.5孔の調査結果を以降に示す。

【C-5.5孔の調査結果】

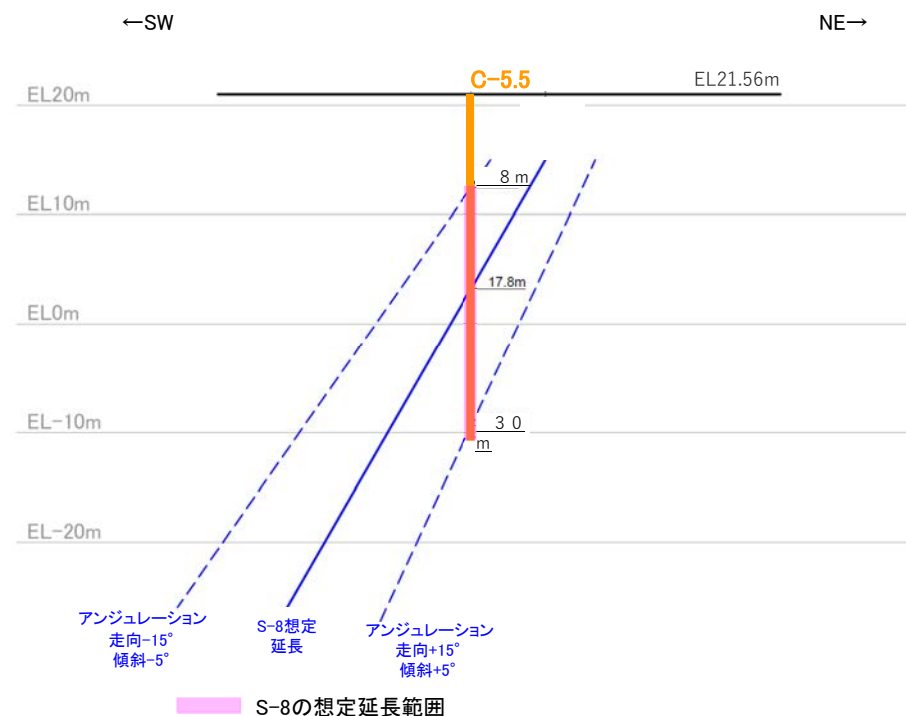
- ・下の断面図に示すとおり、S-8の想定延長範囲は、深度8～30mとなる。
- ・想定延長範囲において、S-8は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

- S-8 (EL-4.7m)
- 斜めボーリング

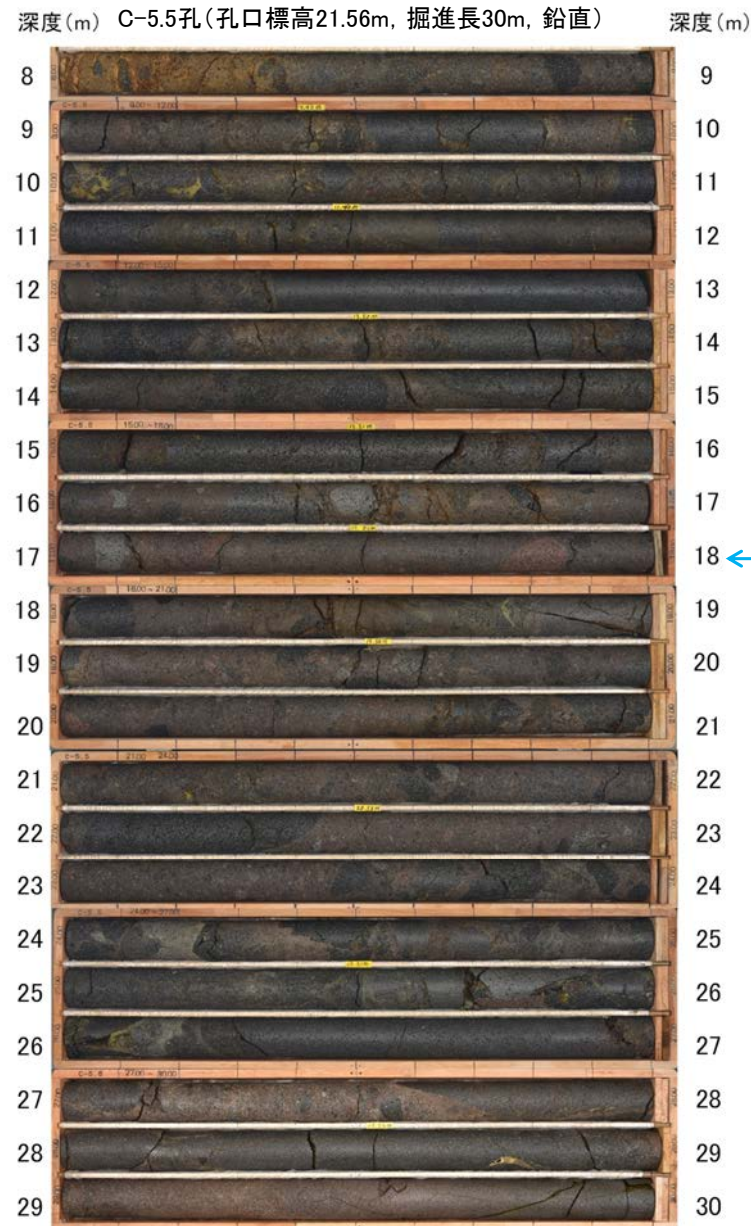
赤: S-8が認められる箇所
橙: S-8端部においてS-8が認められない箇所



C-5.5孔断面図
(断層直交方向)

・S-8想定延長範囲(深度8~30m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-7-16

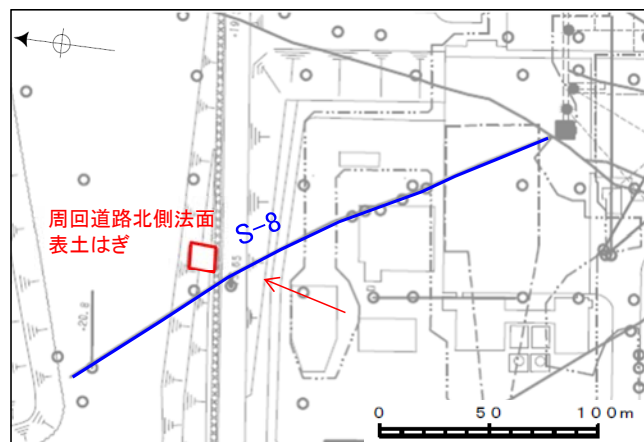


コア写真(深度8~30m)

C-5.5孔において、S-8の想定延長範囲(深度8~30m)にS-8は認められない。

S-8端部の調査結果 一周回道路北側法面表土はぎ①-

■S-8については、北西方への追跡調査を実施し、北西端を確認した。このうち、周回道路北側法面表土はぎの調査結果を以下に示す。



調査位置図

- S-8(EL-4.7m)
- ← 全景写真撮影方向



表土はぎ全景写真



上側法面



小段

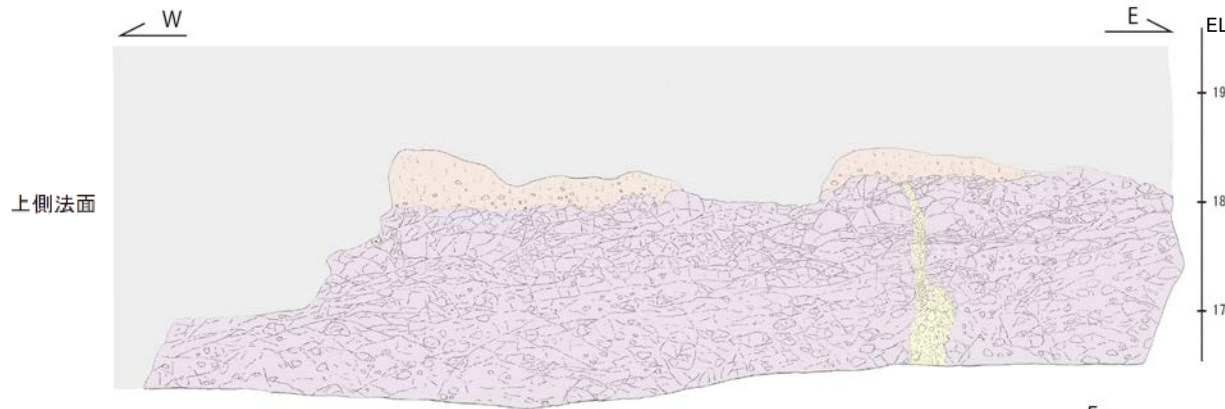


下側法面

破碎部(西側)

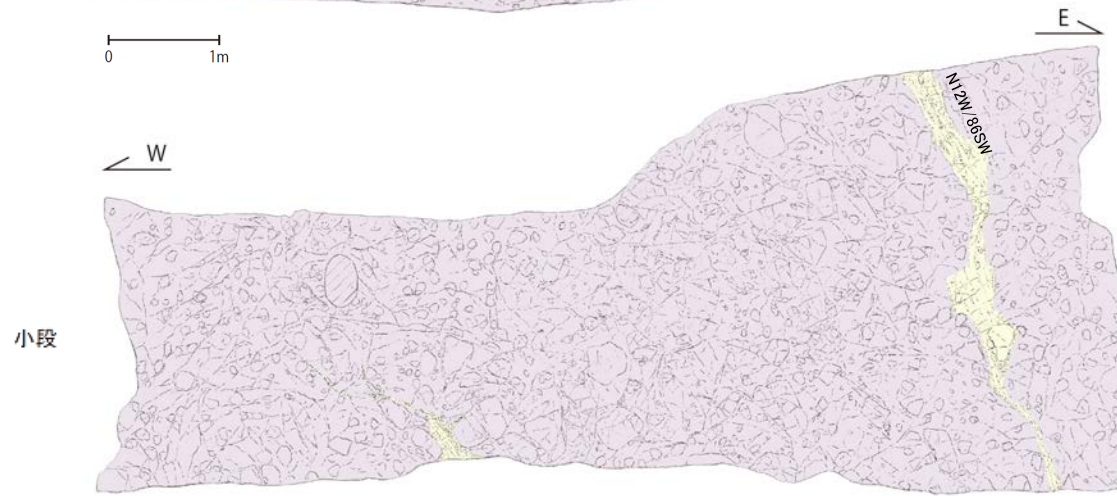
破碎部(東側)

S-8周辺写真



赤褐色土壌
 ・シルト質粘土からなる。赤褐～明褐色(5YR4/8～7.5YR5/6)を呈する。
 ・よく締まっており、弱～中程度の垂角礫状土壌構造が認められる。

穴水累層 安山岩(角礫質)
 ・灰色～褐色を呈する。
 ・全体に30～100cmの間隔で割れ目が認められる。割れ目は概ね密着している。



【破碎部の分布, 性状】
 ・法面西側と東側の2箇所(箇所)に固結した破碎部が認められ、細粒な碎屑岩と径数cmの安山岩垂角～垂円礫からなり、高角な帯状の方向に沿った塑性流動状の構造が認められる。
 ・西側の破碎部は、下側法面から小段にかけて高角な帯状に分布する。幅10～20cmであり、上部へ向かって幅40cm程度まで膨らむ。下側法面の中～下部では、複数の低角な割れ目※によって左にズラされている。この破碎部は小段の途中で2条に分岐してせん滅する。走向・傾斜はN22° W/72° SWで、S-8と概ね調和的である。
 ・東側の破碎部は、下側法面の途中から上側法面にかけて高角な帯状に分布する。全体的に不明瞭で幅10～40cmで膨縮し、下側法面の途中から上側法面にかけて分布し、岩盤上面まで認められるが、岩盤上面に高度差は認められない。走向・傾斜はN12° W/86° SWで、S-8と概ね調和的である。



人工改変部
 赤褐色土壌
 穴水累層 安山岩(角礫質)
 固結した破碎部

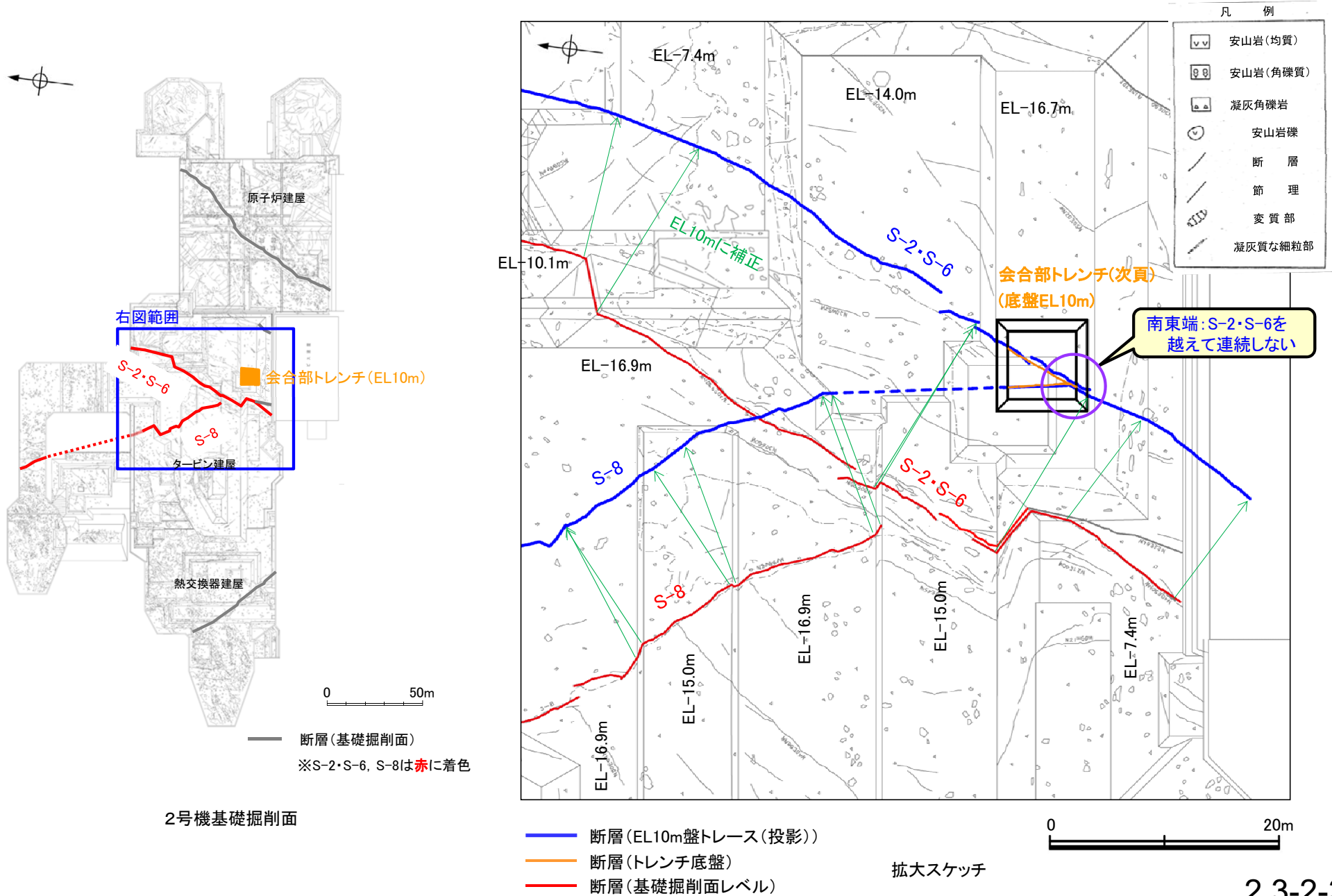
S-8周辺スケッチ

・周回道路北側法面表土はぎにおいて認められる2箇所の固結した破碎部は、破碎部の性状や走向・傾斜等からS-8に対応すると判断される。
 ・西側の破碎部は岩盤中で消失し、東側の破碎部は岩盤上面まで認められるが、岩盤上面に高度差は認められない。

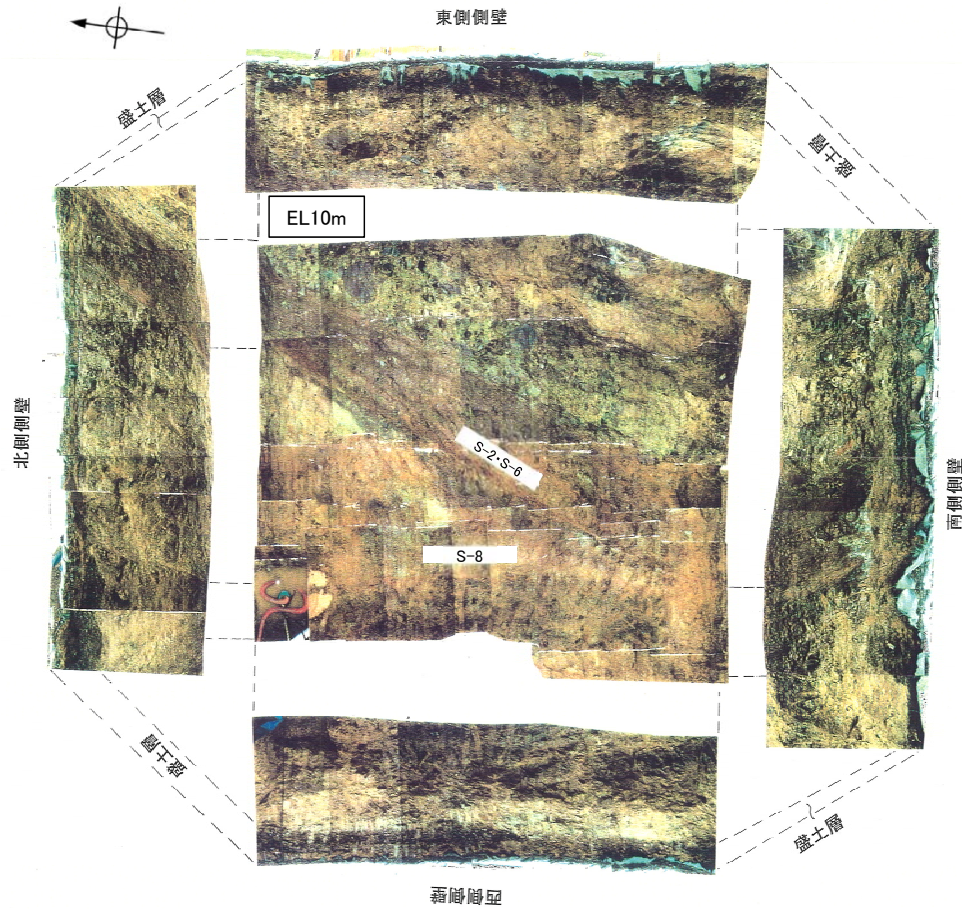
■S-8南東端の評価を以下に示す。

【S-8南東端の評価】

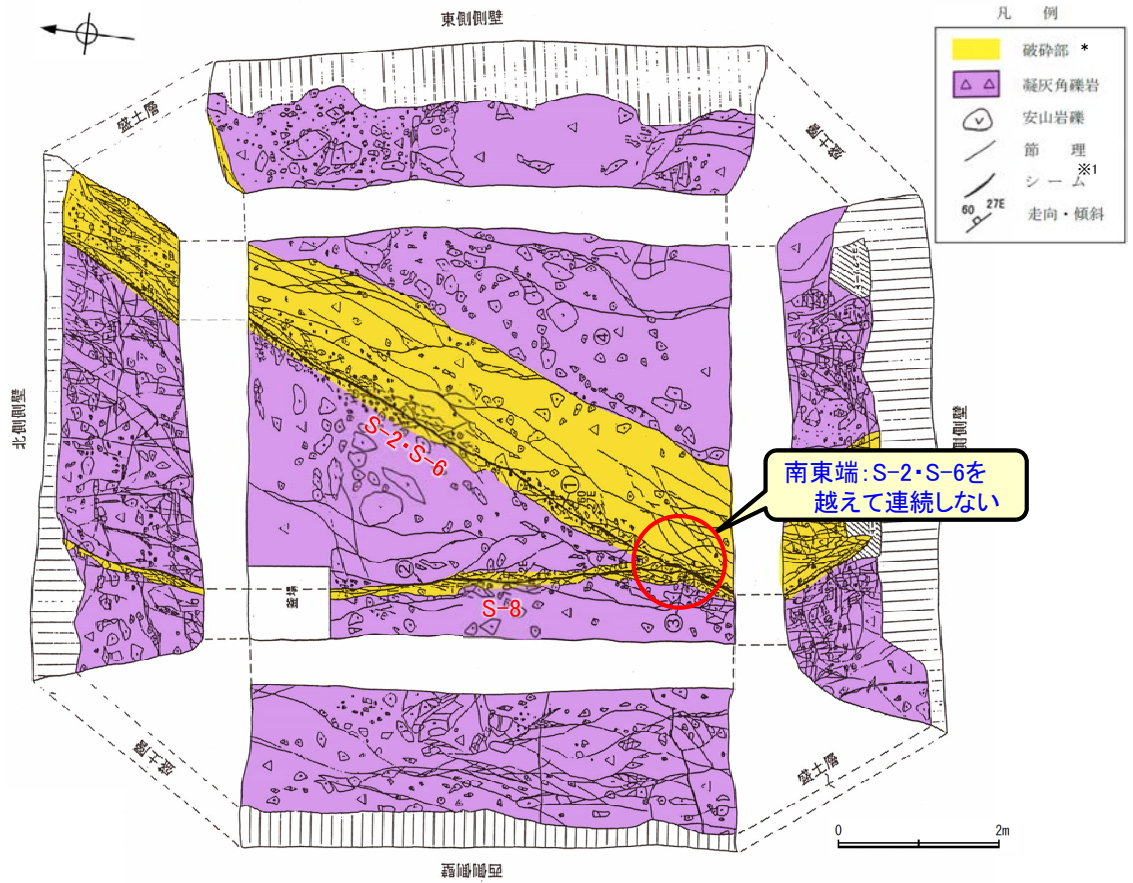
2号機基礎掘削面及び会合部トレンチにおいて、S-8はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



○会合部トレンチの調査結果を以下に示す。



会合部トレンチ写真(展開図)



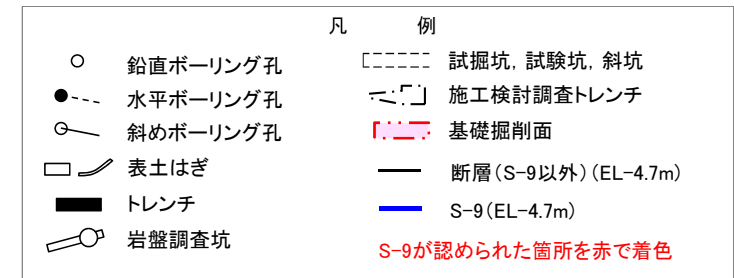
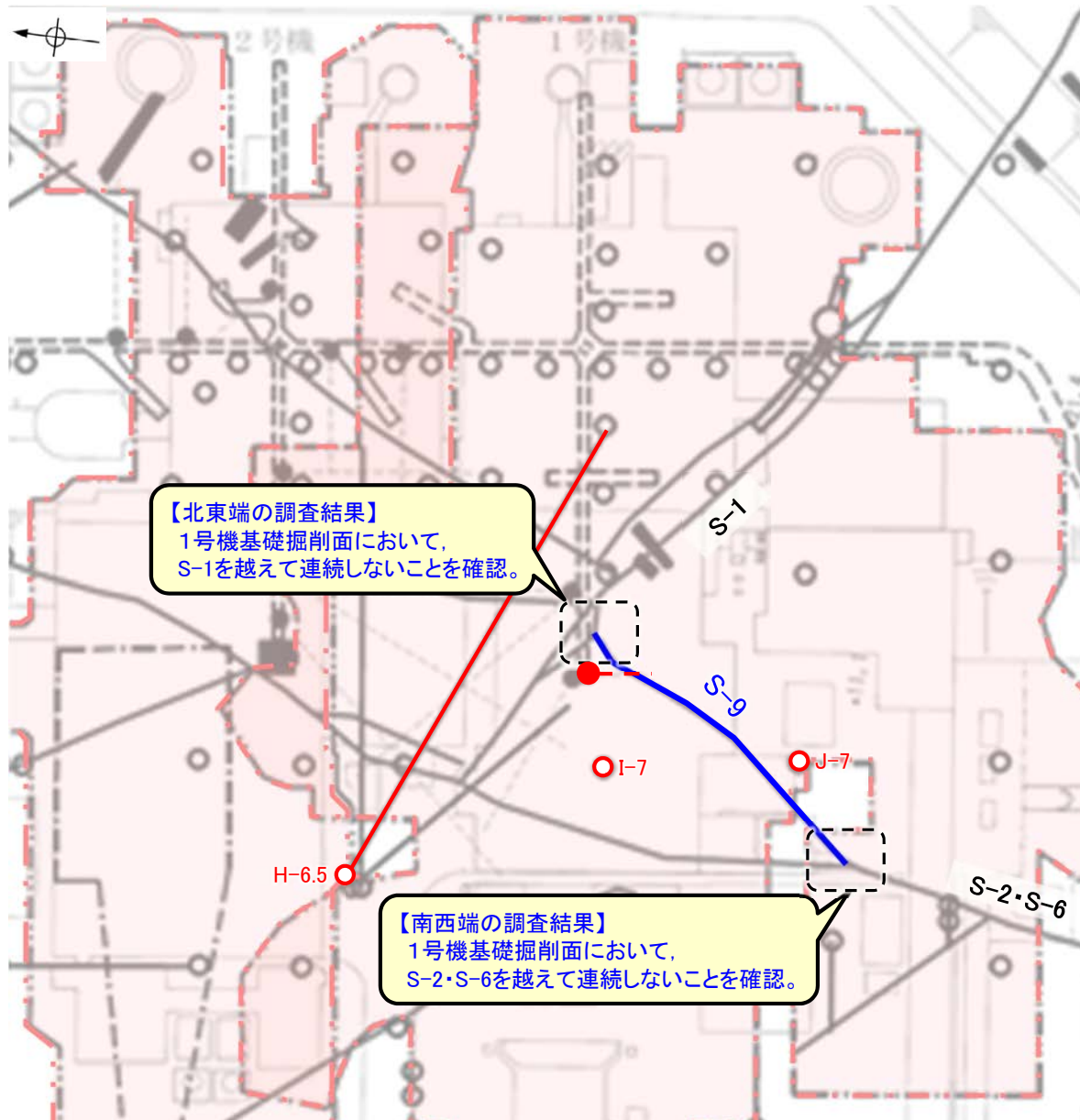
会合部トレンチスケッチ(展開図)
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

※1 スケッチ時の記載用語。
「粘土状破砕部」に対応する。

S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。

(7) S-9端部の調査結果

■S-9端部の調査結果の概要を以下に示す。

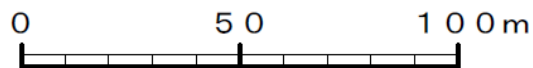


S-9端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北東端	1号機基礎掘削面	北東端の止め
南西端	1号機基礎掘削面	南西端の止め

	延長	走向/傾斜
S-9	85m	N35°E/50°NW*

* 走向は一般走向
傾斜は試掘坑の値

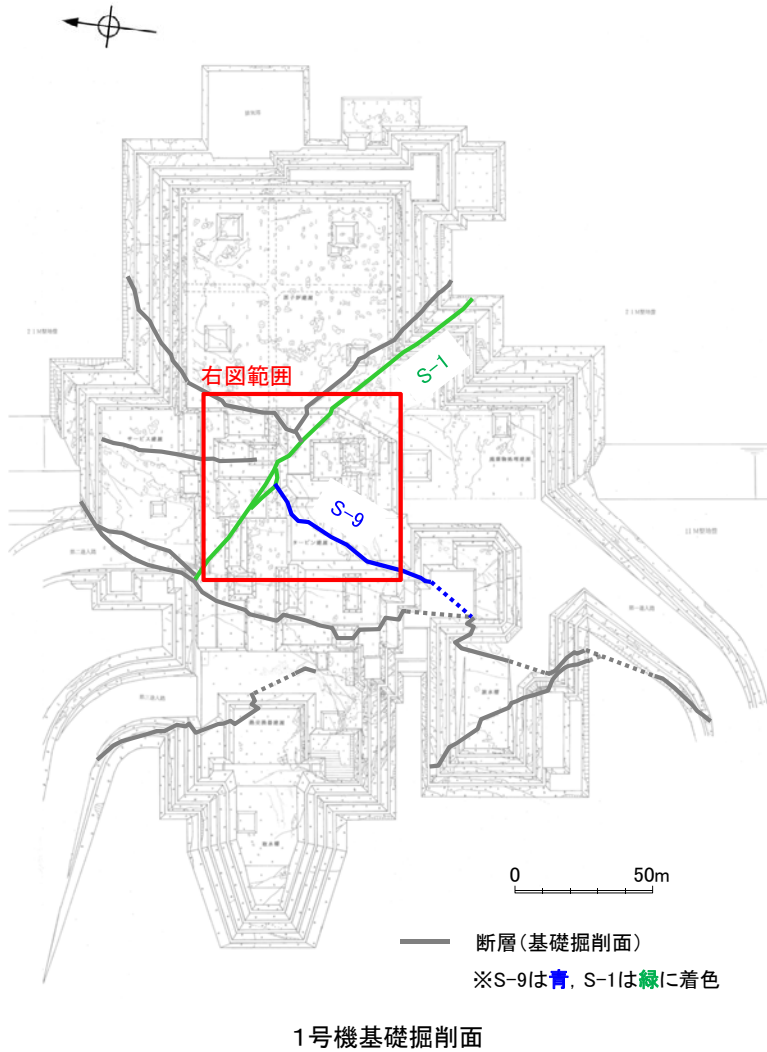


調査位置図

■S-9北東端の評価を以下に示す。

【S-9北東端の評価】

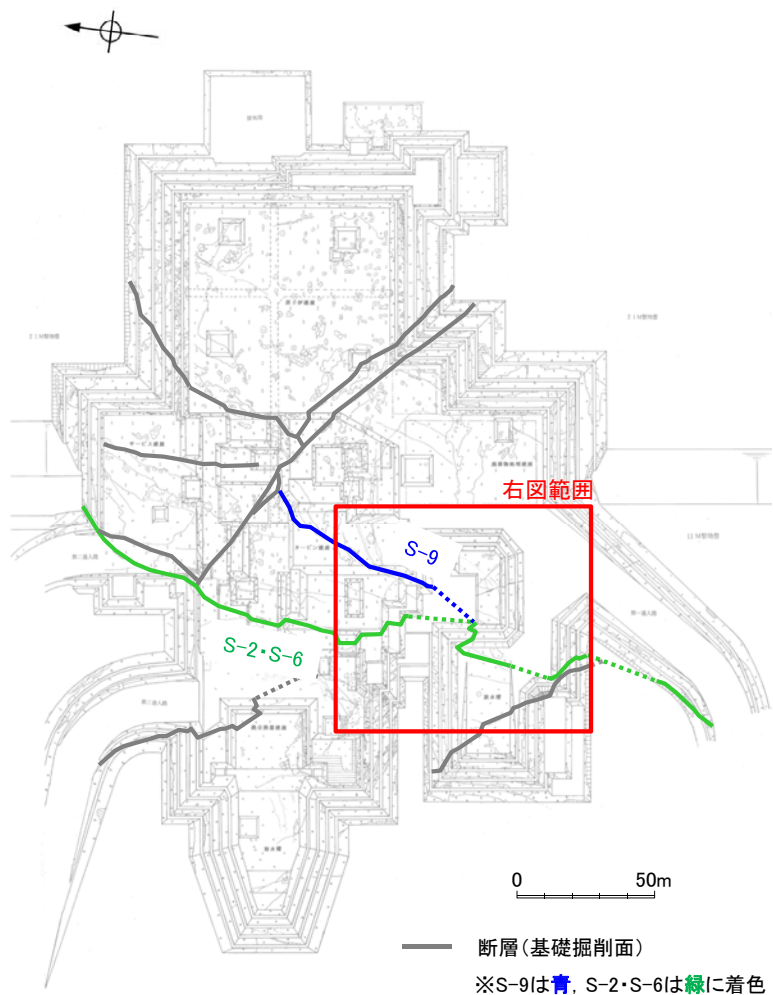
1号機基礎掘削面において、S-9はS-1を越えて連続しないことを確認。



■S-9南西端の評価を以下に示す。

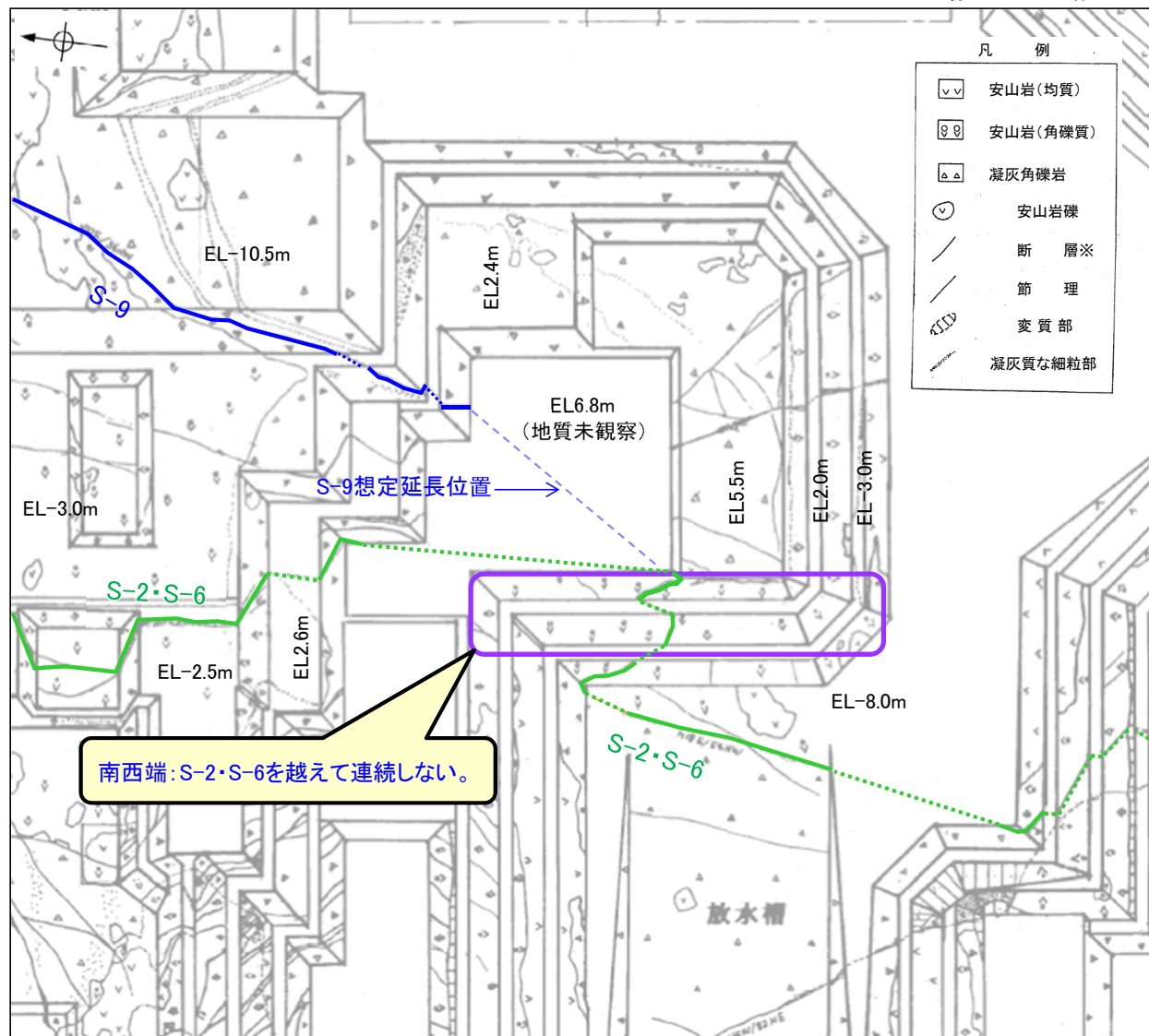
【S-9南西端の評価】

1号機基礎掘削面において、S-9はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面

※S-9は青, S-2・S-6は緑に着色

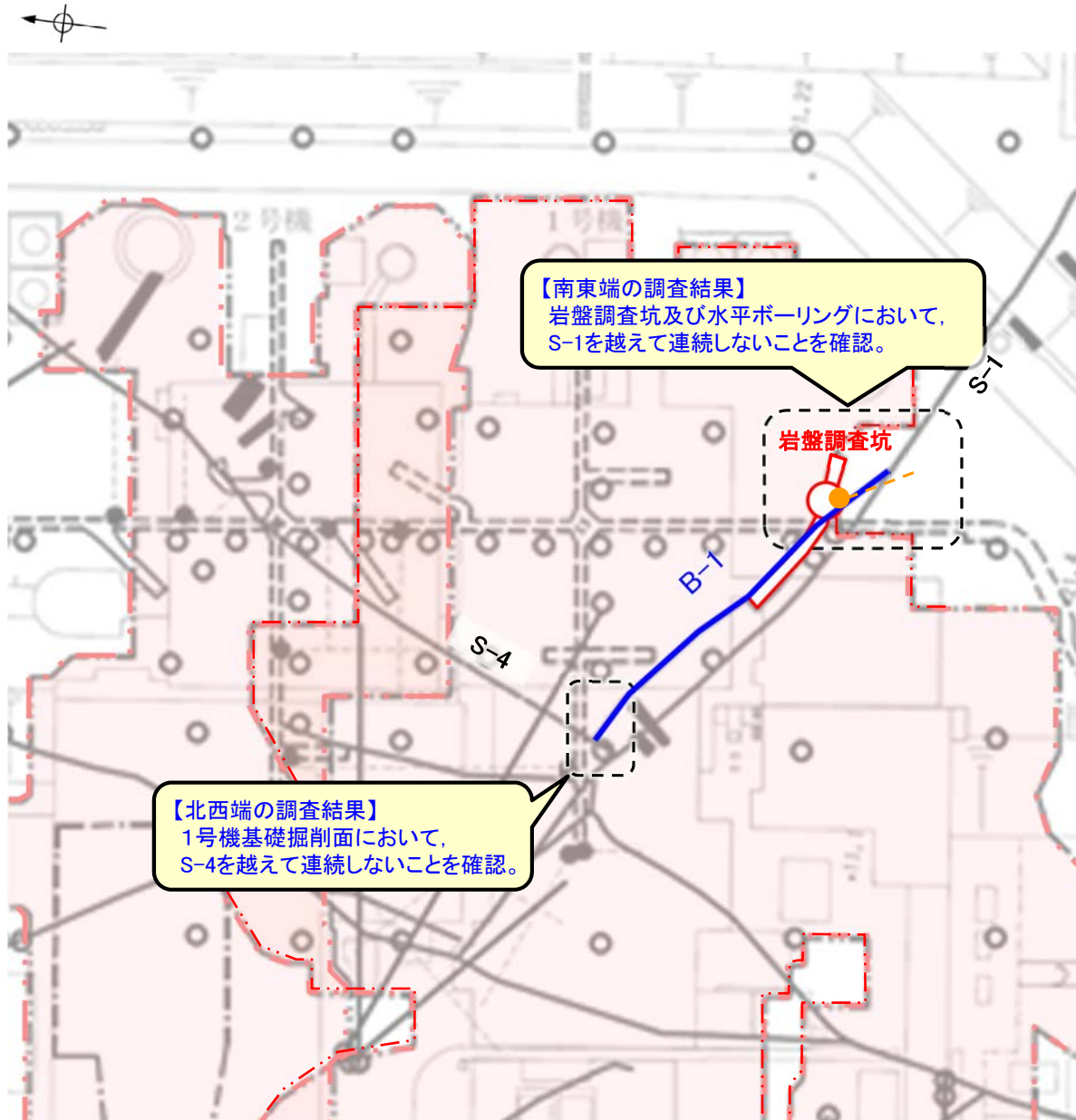


南西端:S-2・S-6を越えて連続しない。

拡大スケッチ

(8) B-1端部の調査結果

■B-1端部の調査結果の概要を以下に示す。



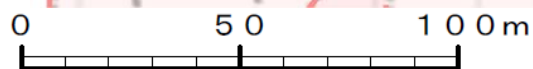
凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
●	水平ボーリング孔
○	斜めボーリング孔
□	表土はぎ
■	トレンチ
○	岩盤調査坑
⋯	試掘坑、試験坑、斜坑
┌┐	施工検討調査トレンチ
┌┐	基礎掘削面
—	断層(B-1以外)(EL-4.7m)
—	B-1(EL-4.7m)
B-1が認められた箇所を赤で着色	
B-1端部においてB-1が認められない箇所を橙で着色	

B-1端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
南東端	岩盤調査坑及び水平ボーリング	南東端の止め

	延長	走向/傾斜
B-1	100m	N49° W / 86° NE*

* 走向は一般走向
傾斜は基礎掘削面の値

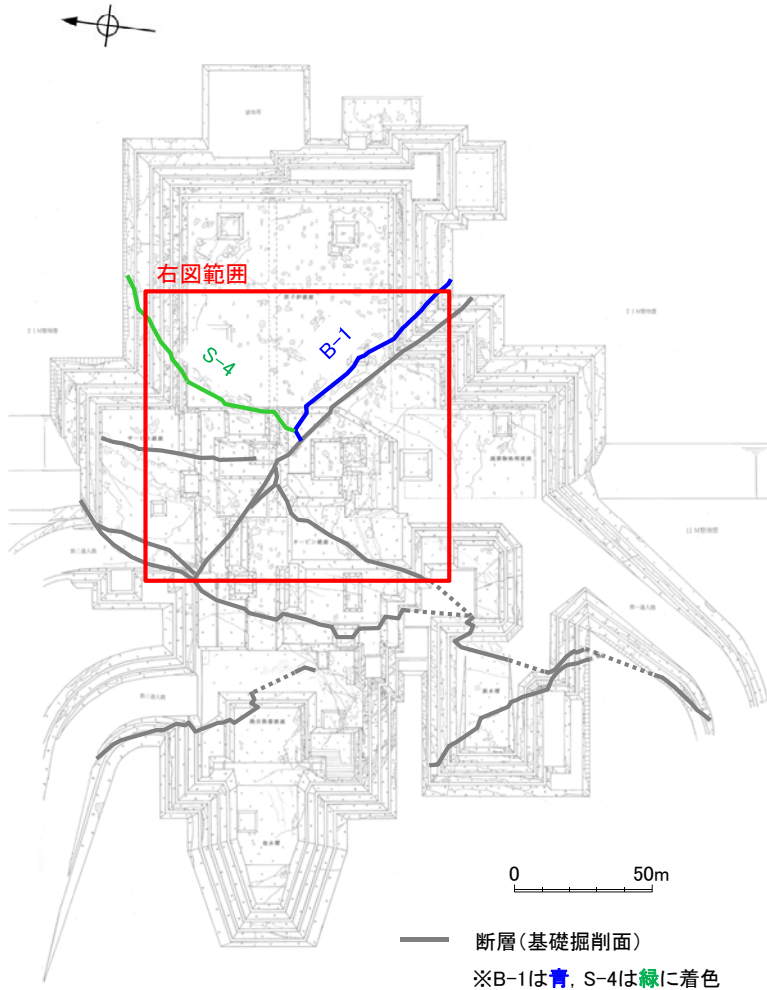


調査位置図

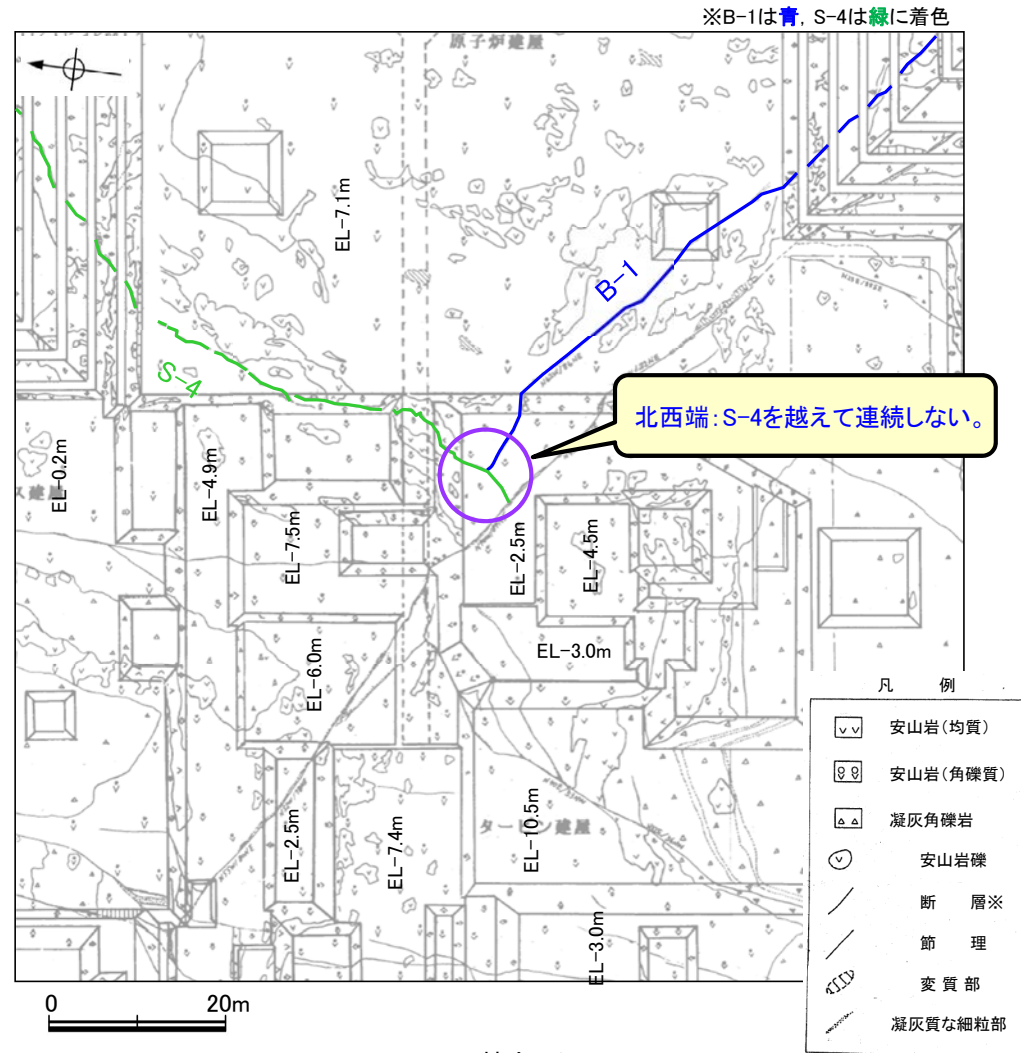
■B-1北西端の評価を以下に示す。

【B-1北西端の評価】

1号機基礎掘削面において、B-1はS-4を越えて連続しないことを確認。



1号機基礎掘削面

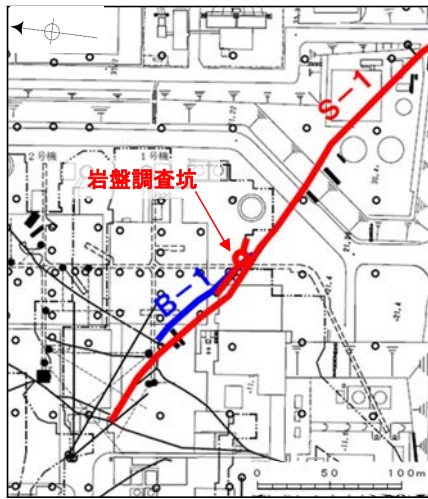


拡大スケッチ

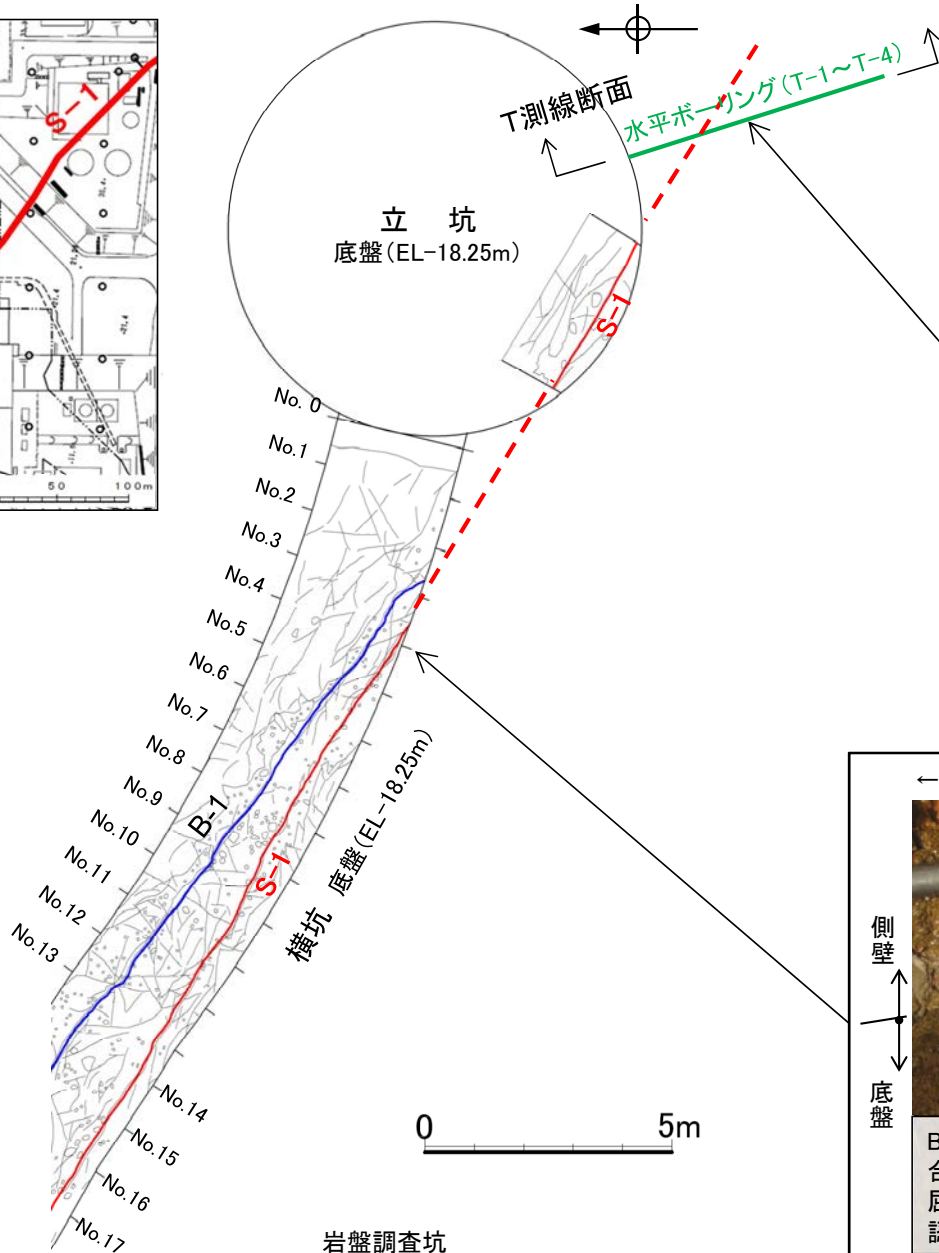
■B-1南東端の評価を以下に示す。

【B-1南東端の評価】

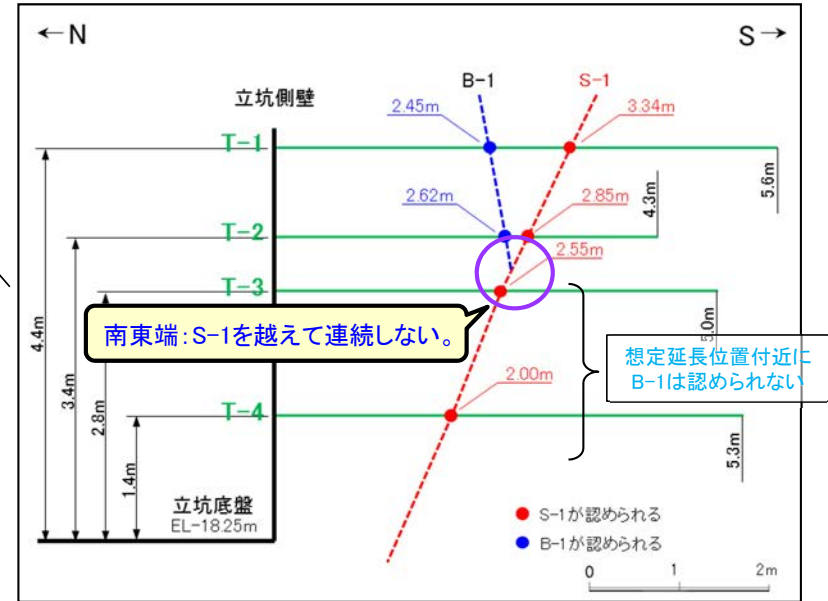
岩盤調査坑及び水平ボーリングにおいて、B-1はS-1を越えて連続しないことを確認。



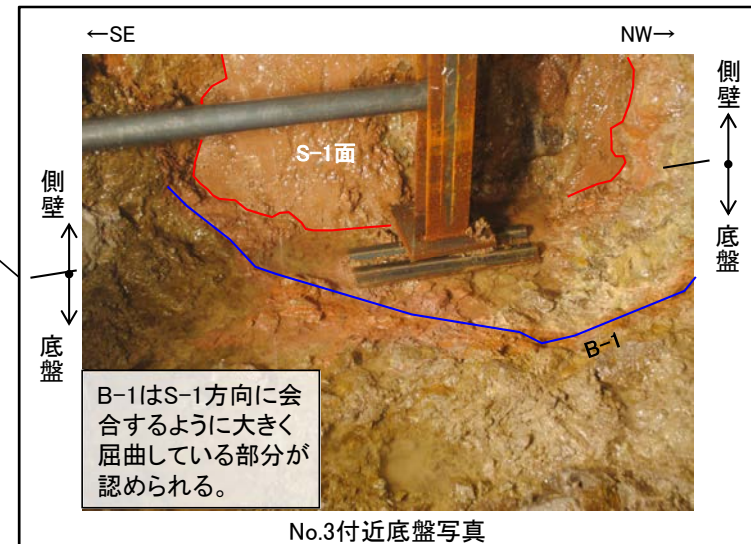
位置図



岩盤調査坑
ボーリング調査位置図



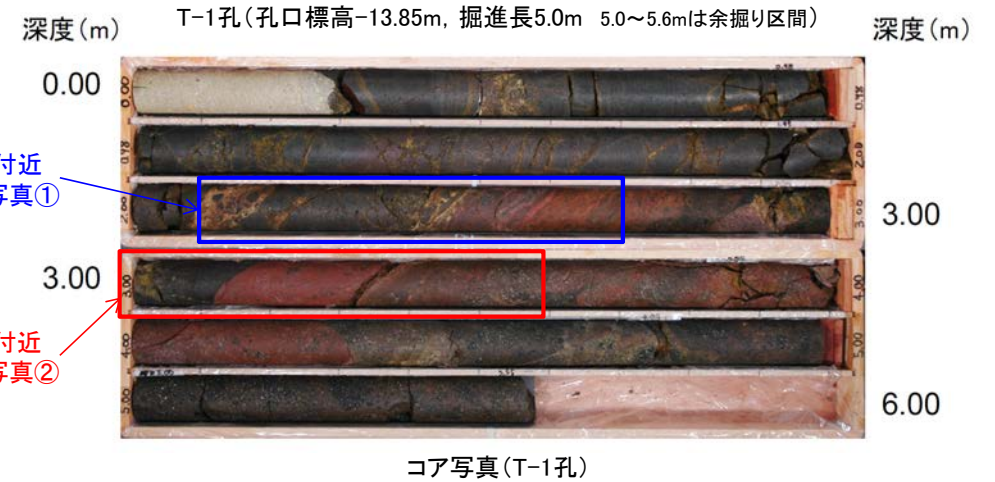
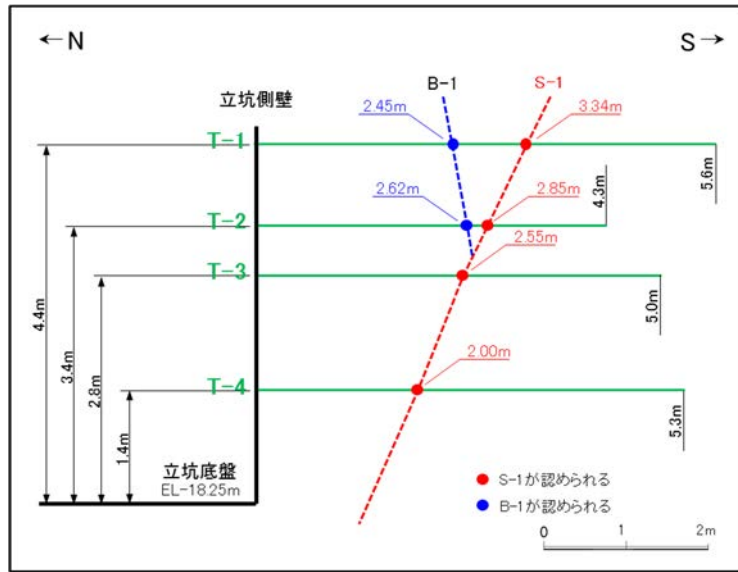
T測線水平ボーリング 断面図 (H:V=1:1)
(各孔のボーリングコア写真を次頁以降に示す)



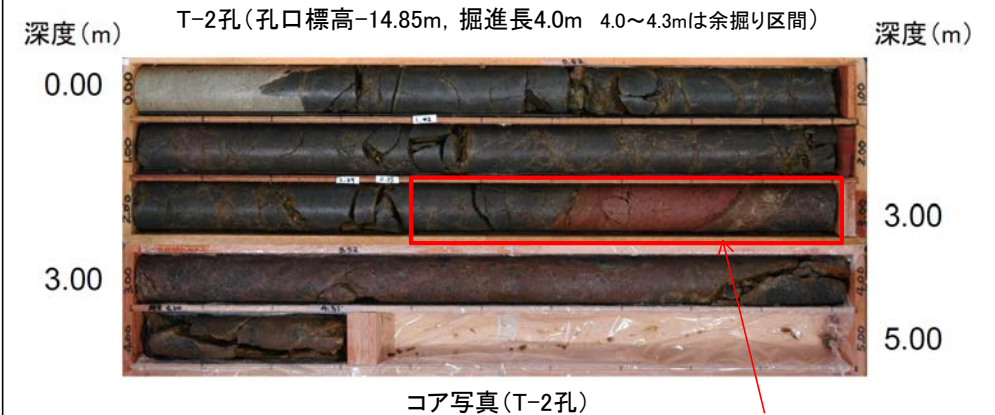
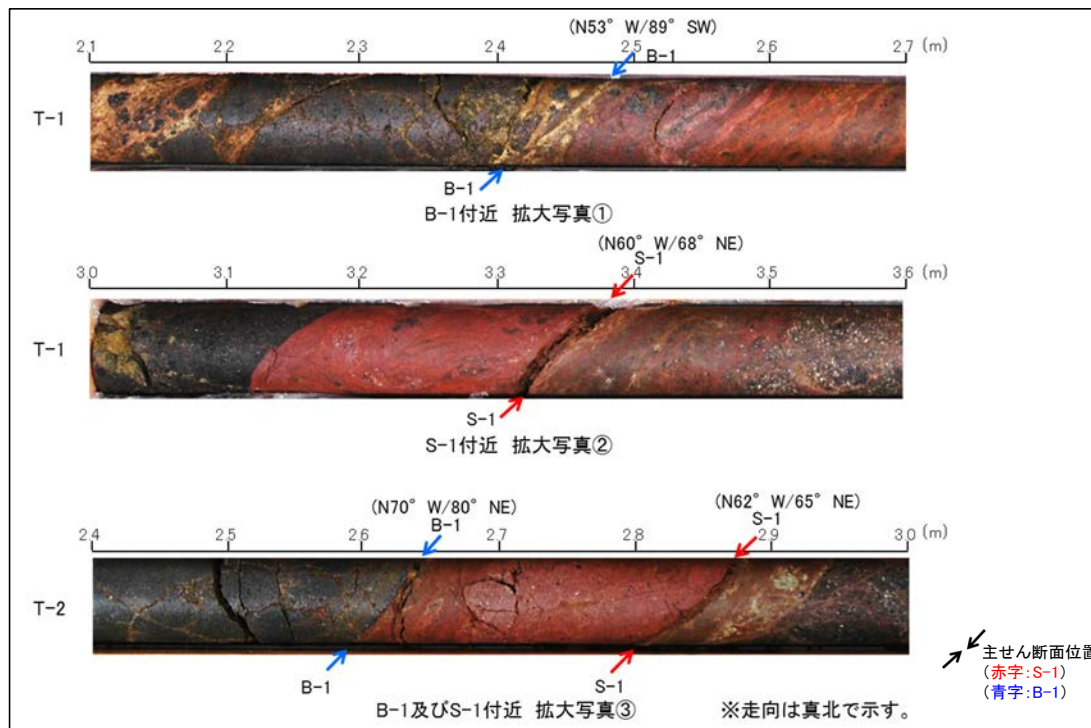
No.3付近底盤写真

水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

柱状図はデータ集1 P.10-9-3~4



コア写真(T-1孔)



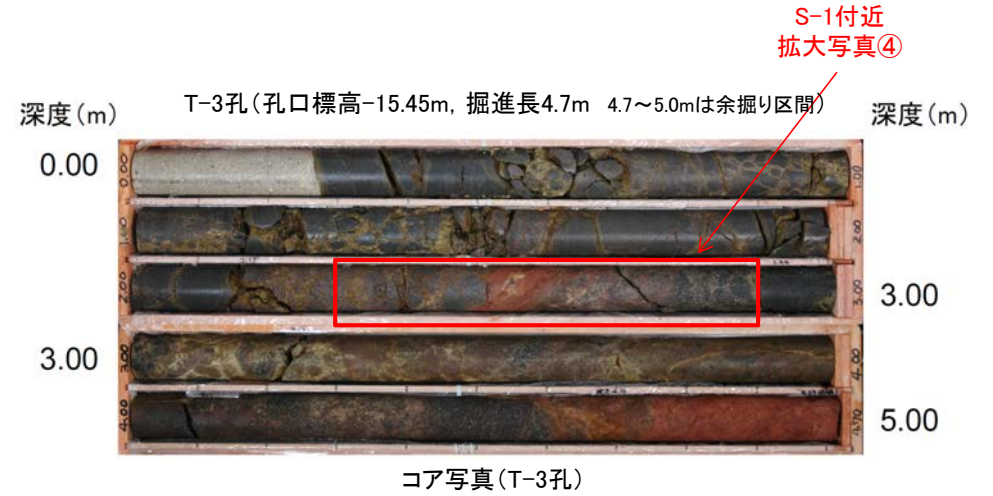
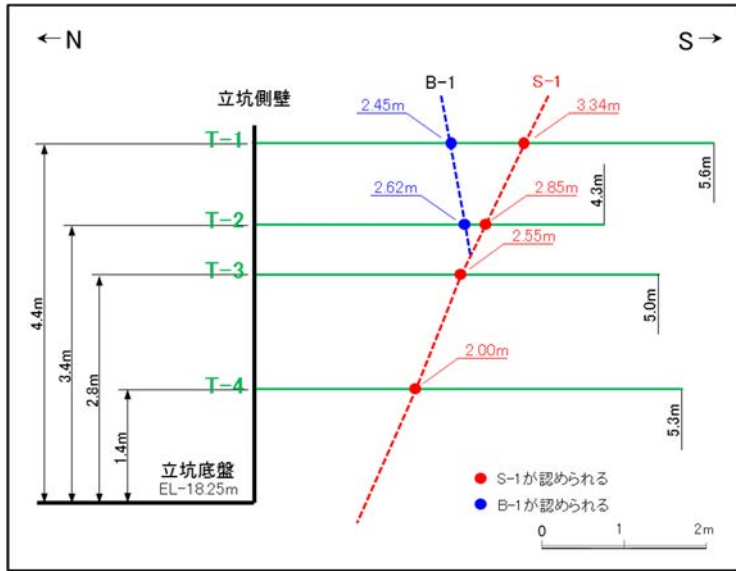
コア写真(T-2孔)

B-1及びS-1付近
拡大写真③

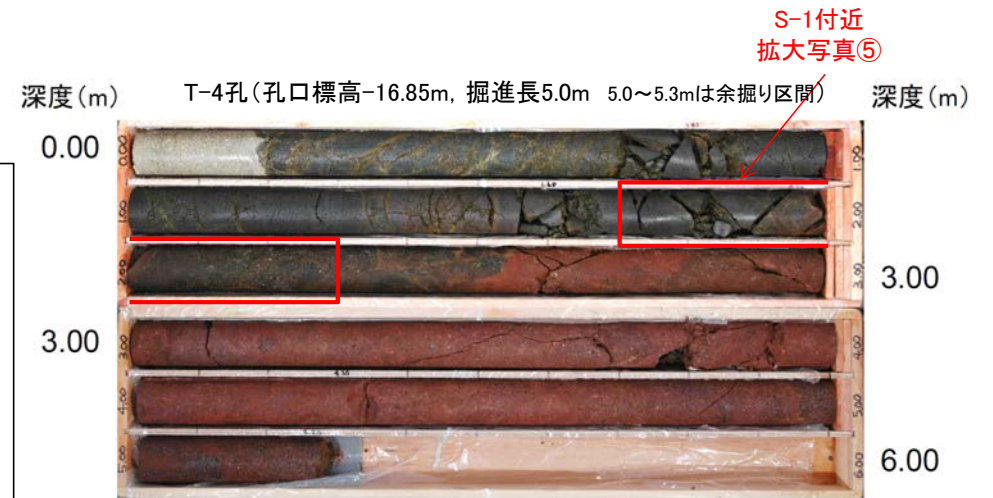
T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

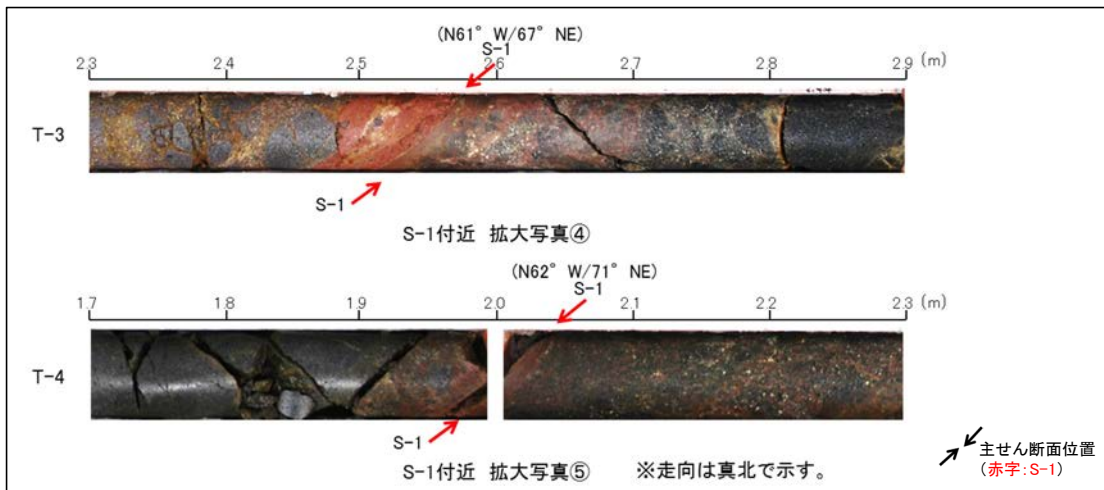
柱状図はデータ集1 P.10-9-5~6



コア写真(T-3孔)



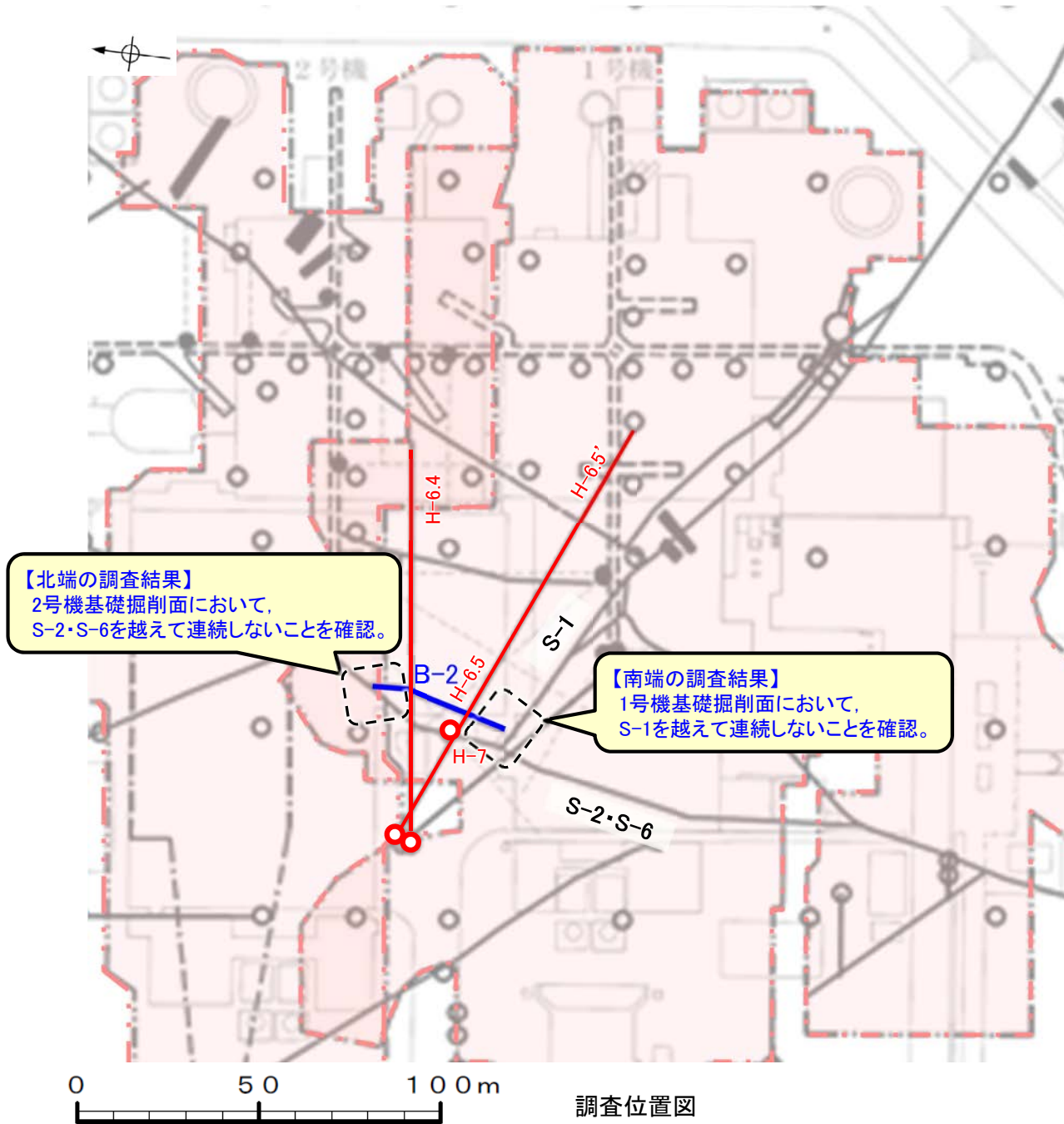
コア写真(T-4孔)



T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

(9) B-2端部の調査結果

■B-2端部の調査結果の概要を以下に示す。



凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
●	水平ボーリング孔
○	斜めボーリング孔
□	表土はぎ
■	トレンチ
○	岩盤調査坑
⋯	試掘坑, 試験坑, 斜坑
┌┐└└┘┘	施工検討調査トレンチ
┌┐└└┘┘	基礎掘削面
—	断層(B-2以外)(EL-4.7m)
—	B-2(EL-4.7m)
	B-2が認められた箇所を赤で着色

B-2端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北端	2号機基礎掘削面	北端の止め
南端	1号機基礎掘削面	南端の止め

	延長	走向/傾斜
B-2	50m	N12° E / 60° NW*

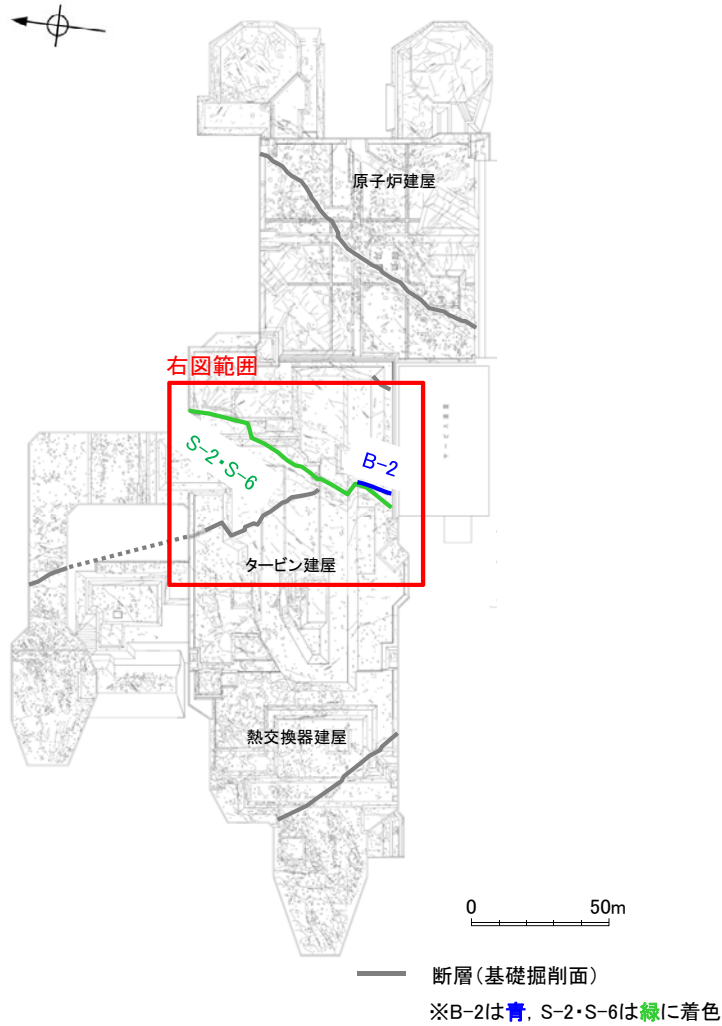
* 走向は一般走向
傾斜は基礎掘削面の値

■B-2北端の調査結果を以下に示す。

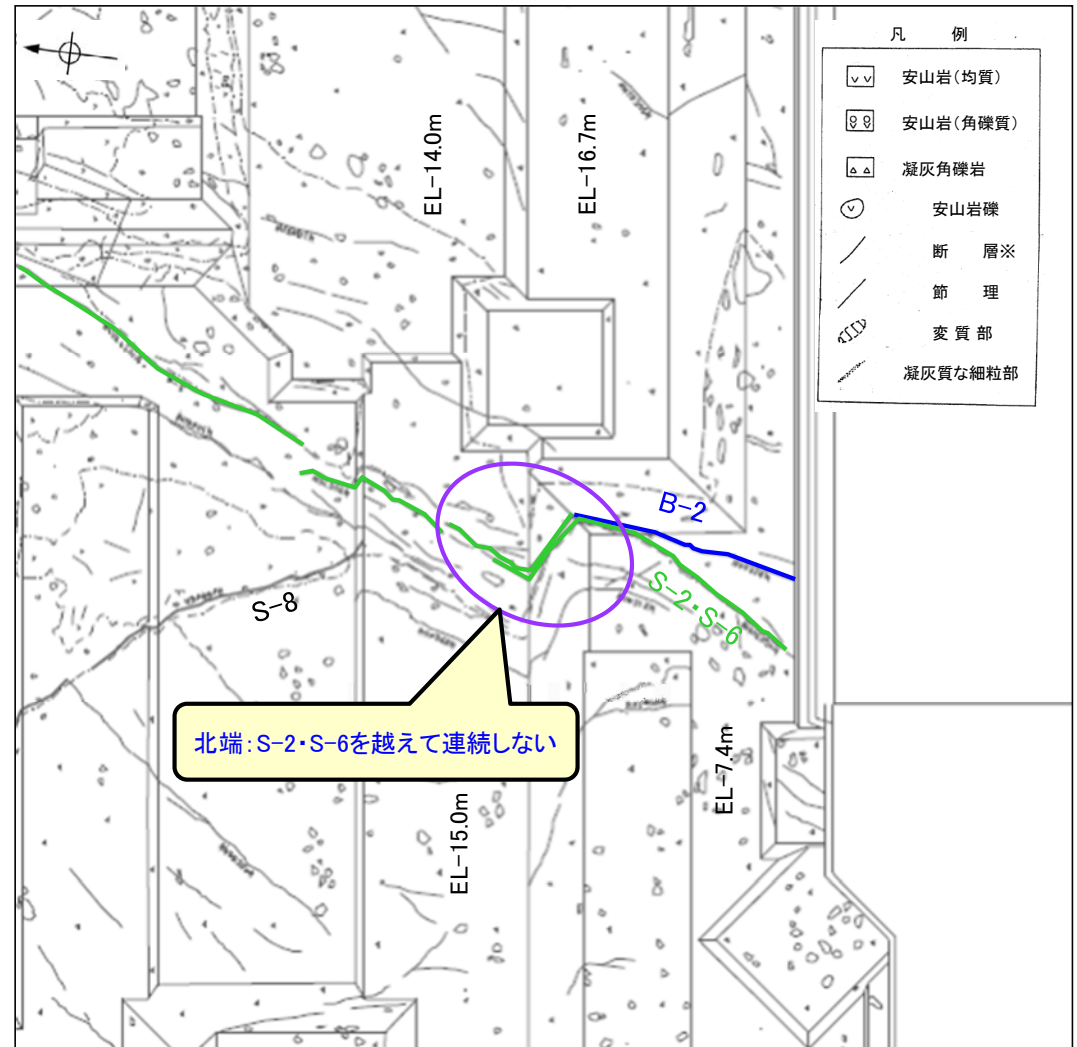
【B-2北端の評価】

2号機基礎掘削面において、B-2はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

※B-2は青、S-2・S-6は緑に着色



2号機基礎掘削面



拡大スケッチ

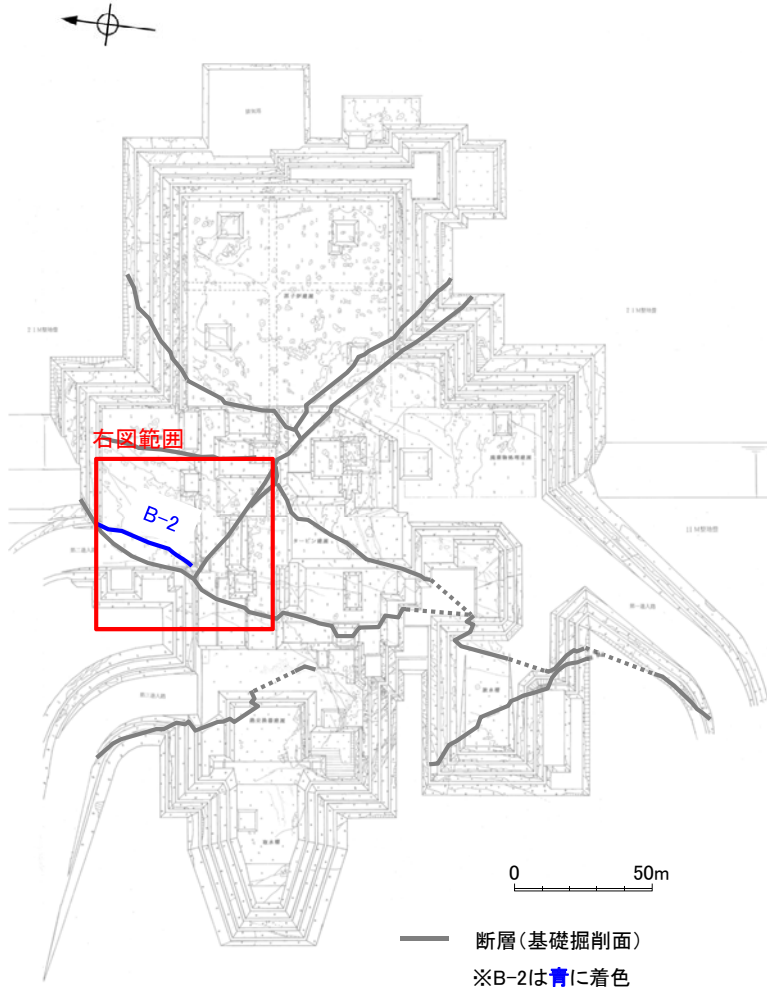


■B-2南端の評価を以下に示す。

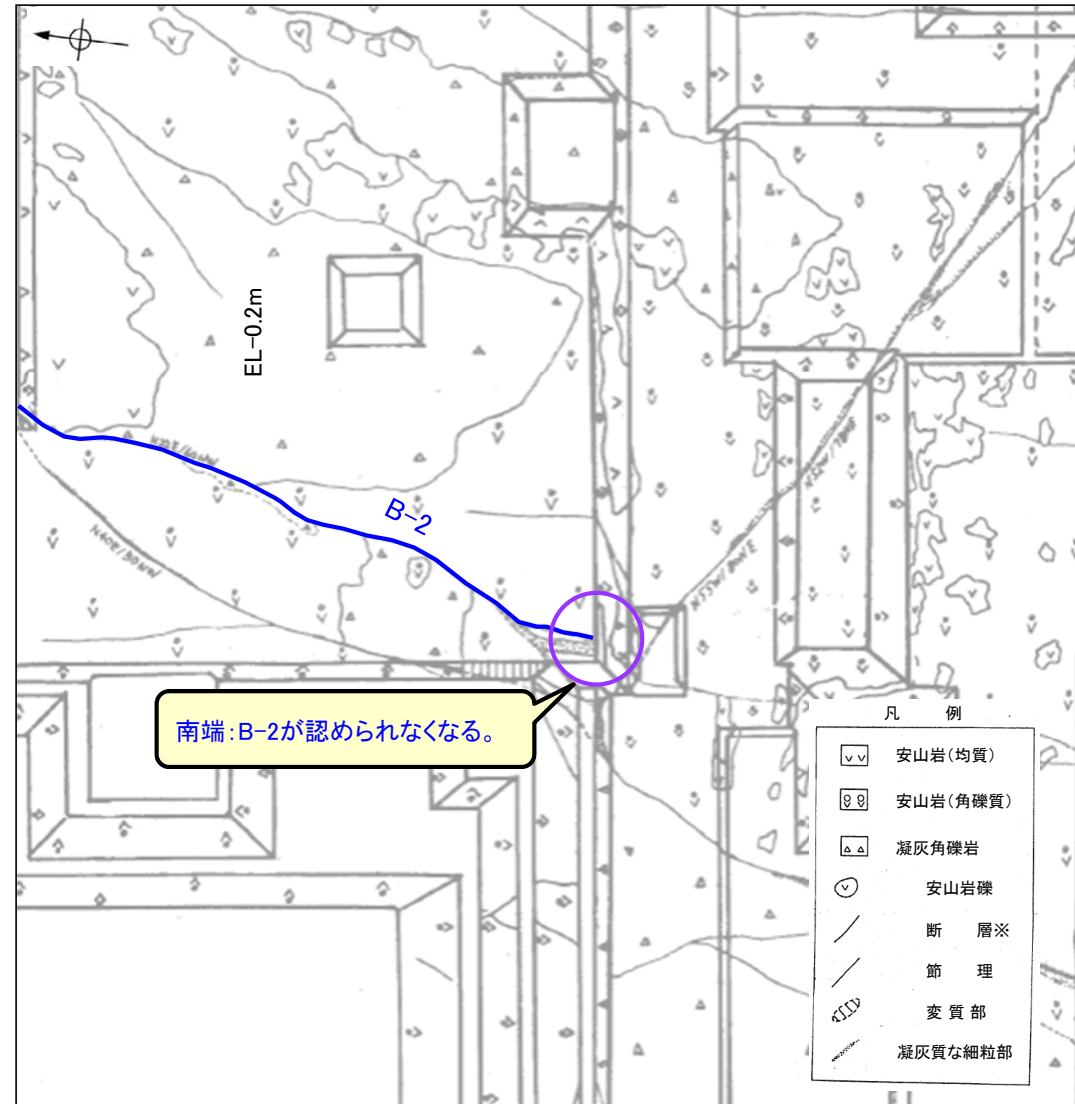
【B-2南端の評価】

1号機基礎掘削面において、B-2が認められなくなることを確認。

※B-2は青に着色



1号機基礎掘削面

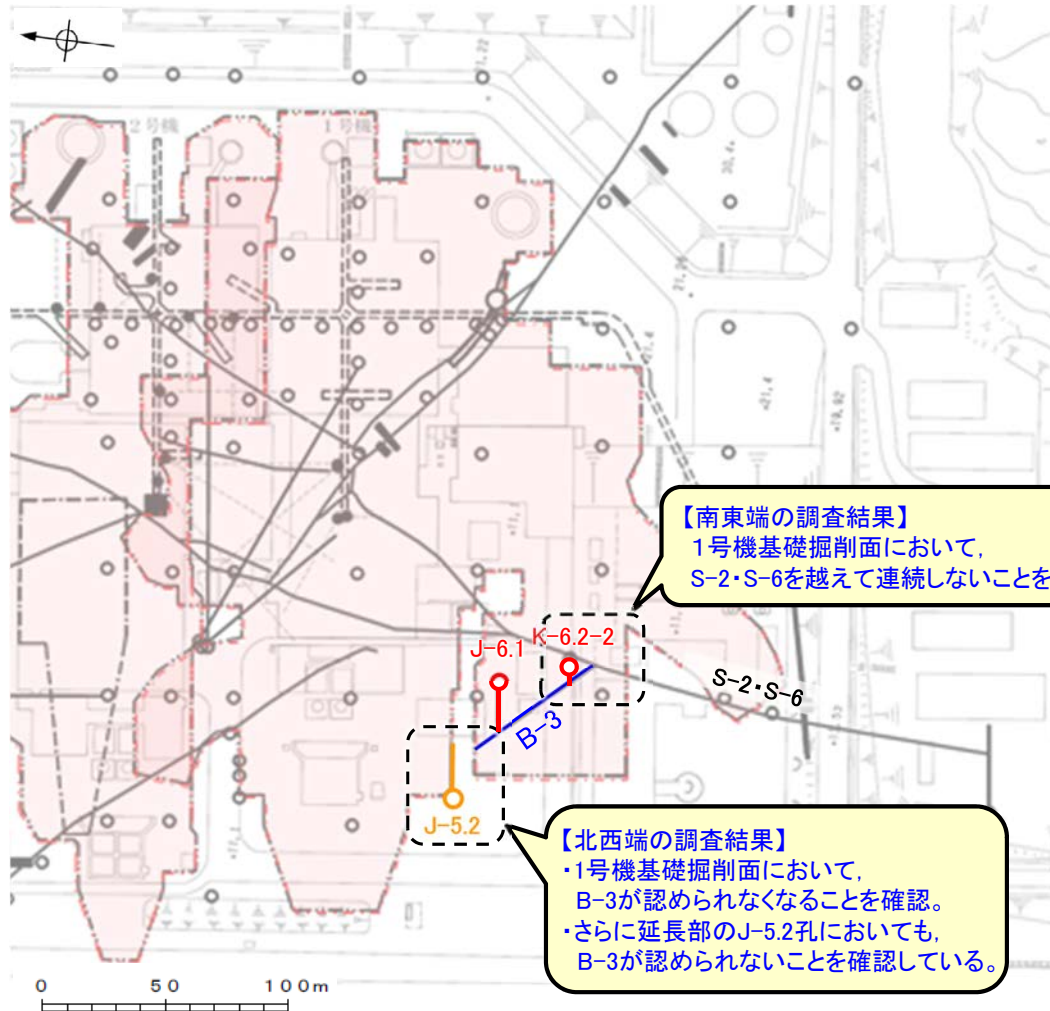


拡大スケッチ



(10) B-3端部の調査結果

■B-3端部の調査結果の概要を以下に示す。



調査位置図

凡 例	
○	鉛直ボーリング孔
●	水平ボーリング孔
○	斜めボーリング孔
□	表土はぎ
■	トレンチ
○	岩盤調査坑
---	試掘坑, 試験坑, 斜坑
┌┐	施工検討調査トレンチ
┌┐	基礎掘削面
—	断層(B-3以外)(EL-4.7m)
—	B-3(EL-4.7m)
B-3が認められた箇所を赤で着色	
B-3端部においてB-3が認められない箇所を橙で着色	

B-3端部の調査概要

位置	調査箇所	調査結果
北西端	1号機基礎掘削面	北西端の止め
	J-5.2孔	さらに延長部の止め
南東端	1号機基礎掘削面	南東端の止め

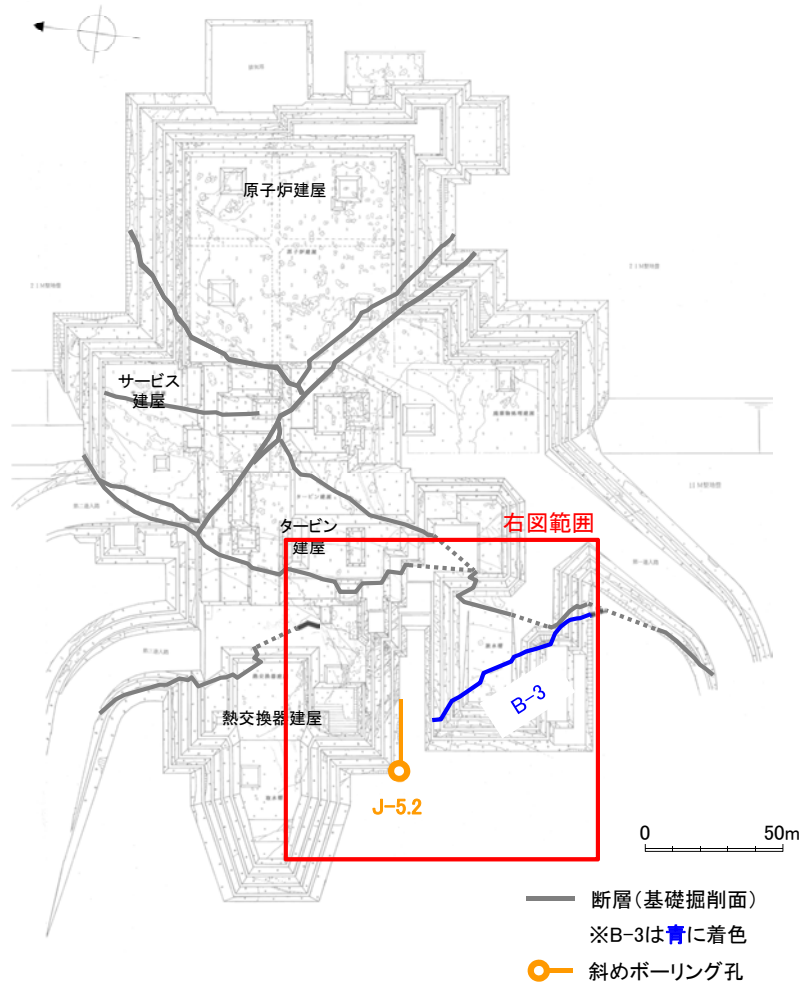
	長さ	走向/傾斜
B-3	60m	N42°W/82°NE*

* 走向は一般走向
傾斜は基礎掘削面の値

■B-3北西端の調査結果を以下に示す。

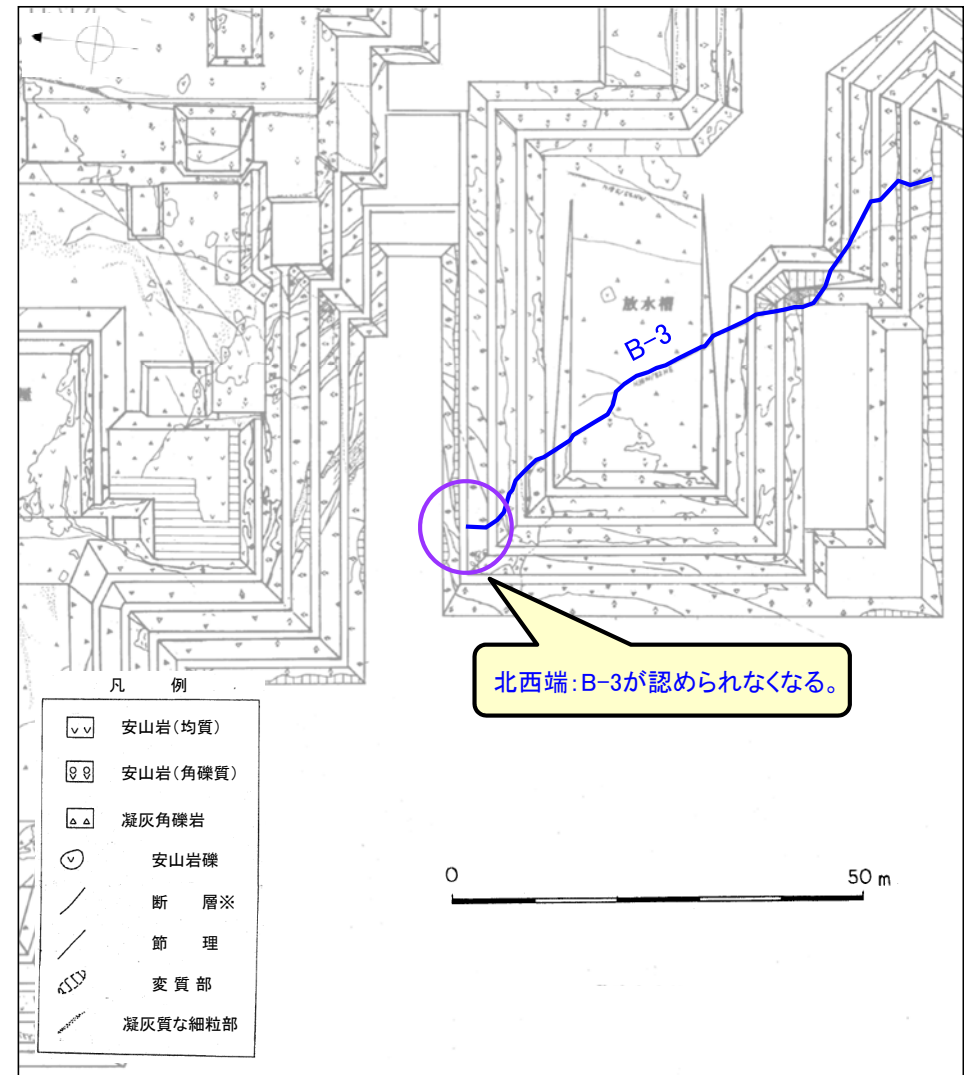
【B-3北西端の調査結果】

- ・1号機基礎掘削面において、B-3が認められなくなることを確認。
- ・さらに延長部のJ-5.2孔においても、B-3が認められないことを確認している。



1号機基礎掘削面

※B-3は青に着色

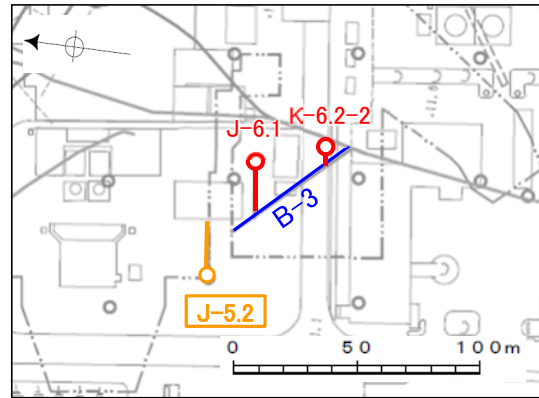


拡大スケッチ

○北西端延長部のJ-5.2孔の調査結果を以降に示す。

【J-5.2孔の調査結果】

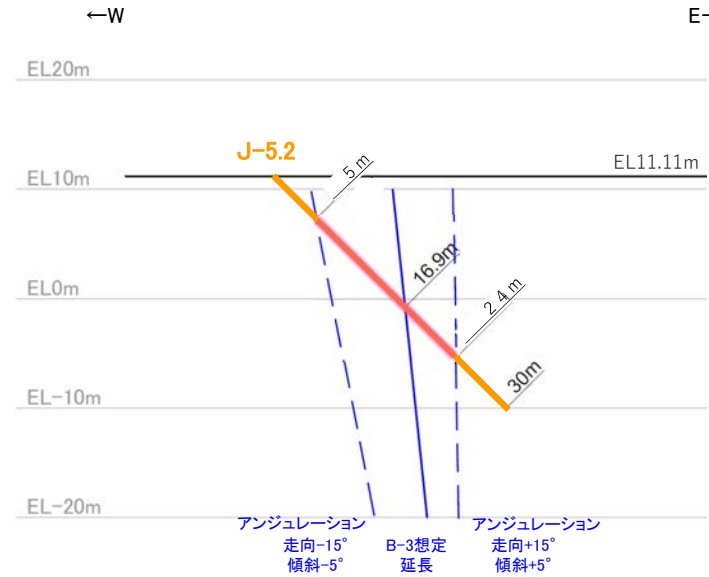
- ・右の断面図に示すとおり、B-3の想定延長範囲は、深度5～24mとなる。
- ・想定延長範囲において、B-3は認められない。
- （想定延長範囲のコア写真は次頁参照）



調査位置図

— B-3(EL-4.7m)

赤: B-3が認められる箇所
橙: B-3端部においてB-3が認められない箇所



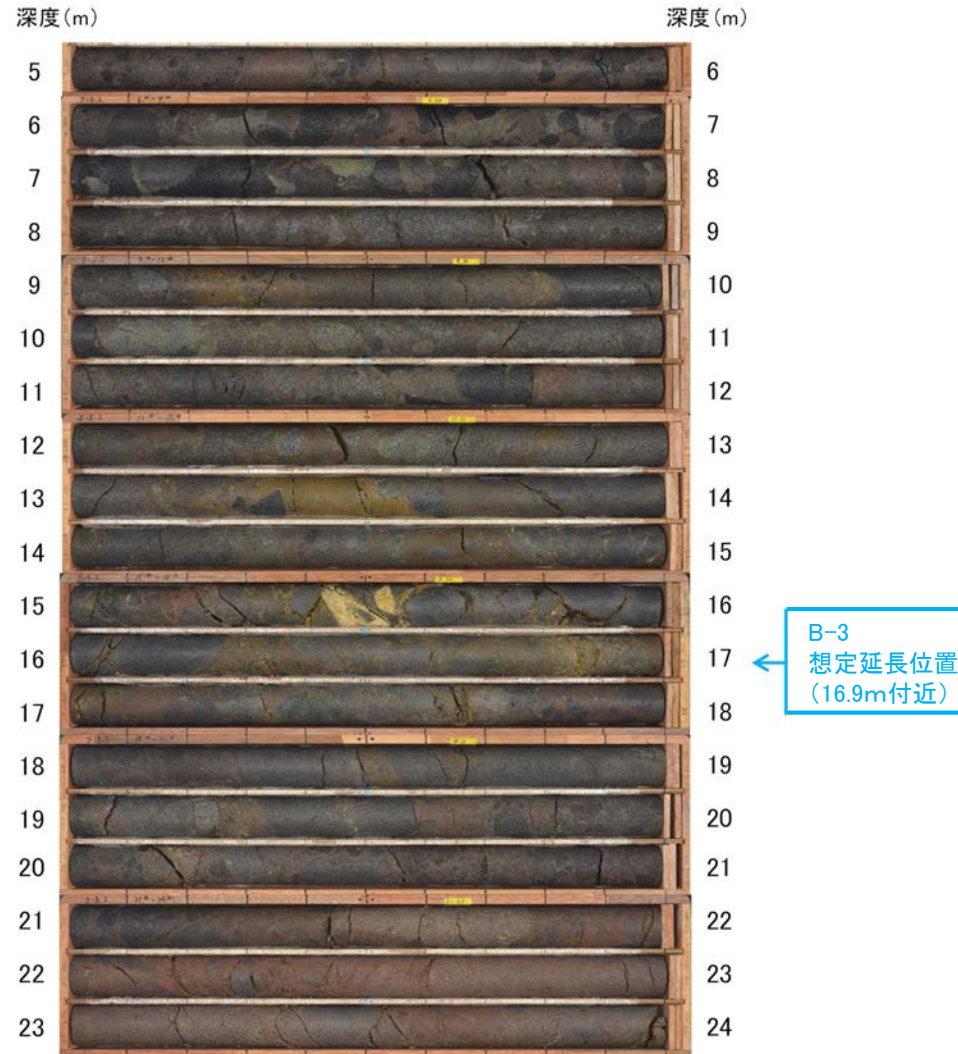
■ B-3の想定延長範囲

J-5.2孔断面図
(掘進方向)

・B-3想定延長範囲(深度5~24m)のコア写真を以下に示す。

柱状図はデータ集1 P.10-11-5

J-5.2孔(孔口標高11.11m, 掘進長30m, 傾斜45°)



コア写真(深度5~24m)

J-5.2孔において、B-3の想定延長範囲(深度5~24m)にB-3は認められない。

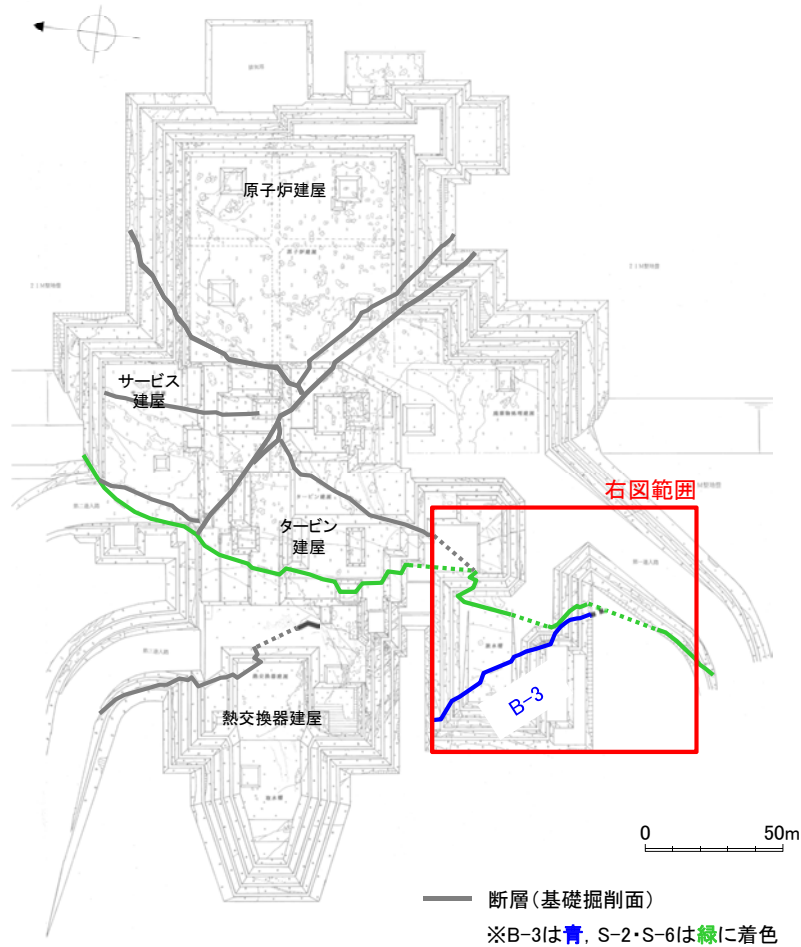
B-3端部の調査結果 —南東端:1号機基礎掘削面—

■B-3南東端の調査結果を以下に示す。

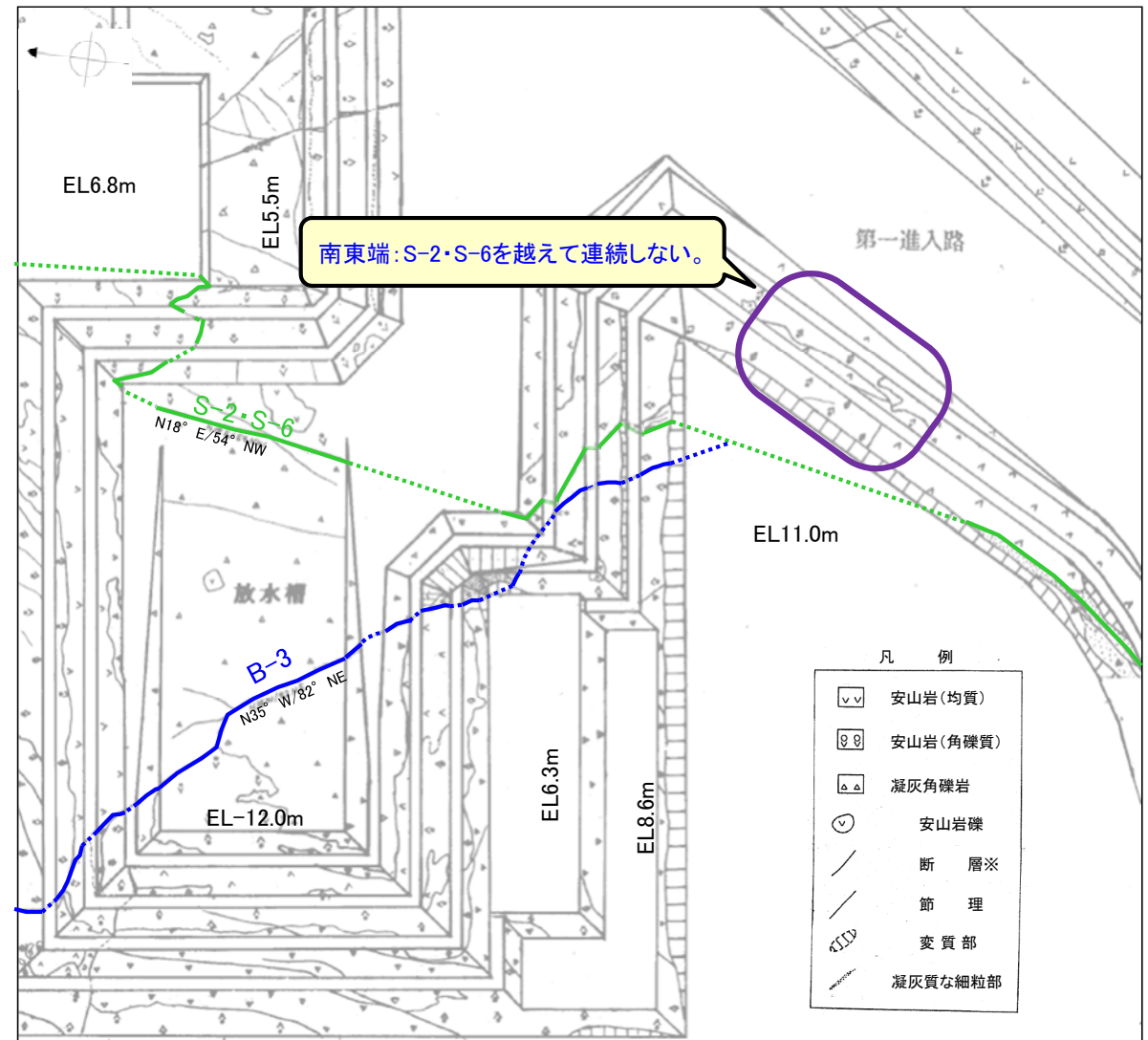
【B-3南東端の調査結果】

1号機基礎掘削面において、B-3はS-2・S-6を越えて連続しないことを確認。

※B-3は青、S-2・S-6は緑に着色



1号機基礎掘削面



拡大スケッチ

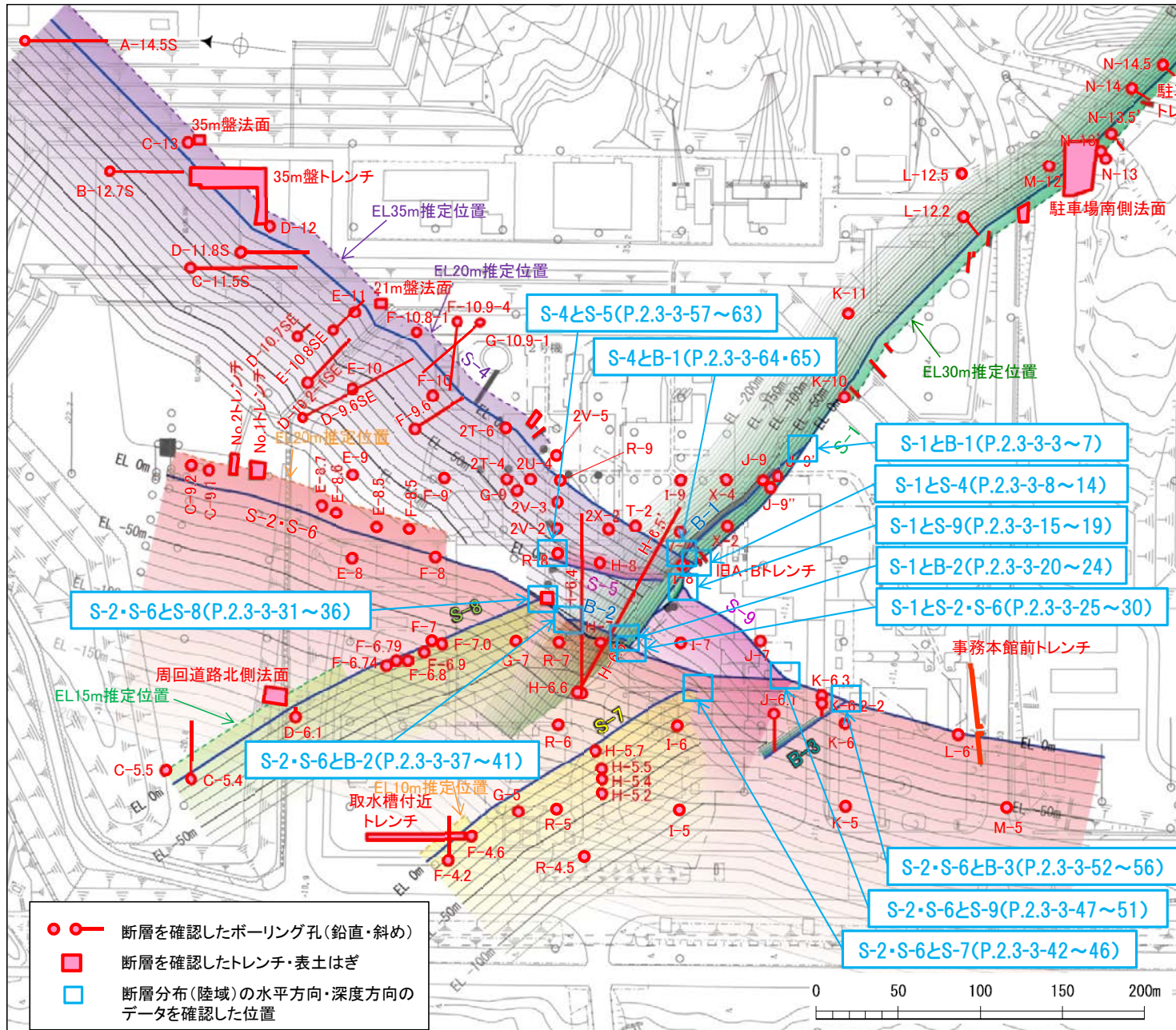


補足資料2. 3-3

断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ

断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータ ー位置図ー

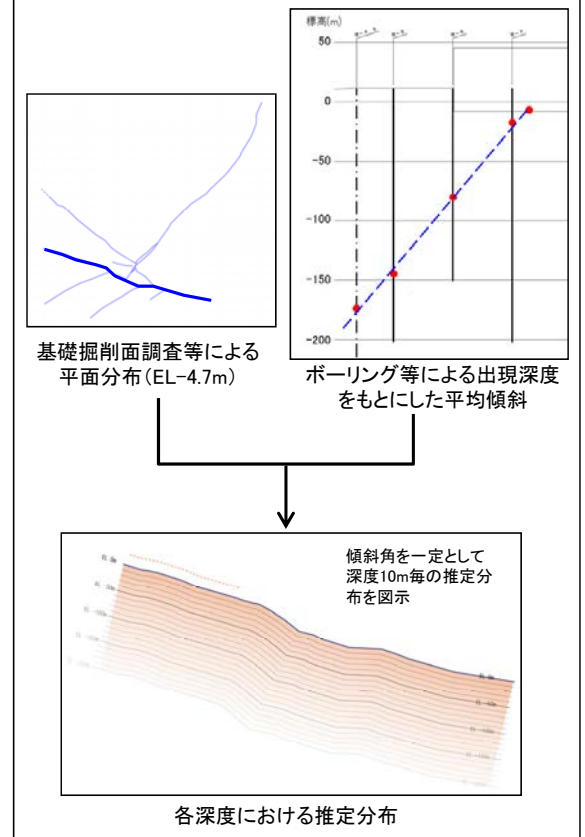
■断層分布(陸域)の水平方向・深度方向のデータを確認した位置(下図□)について、以下に示す。



位置図
(陸域の断層の3次元的な分布)

(作図方法)

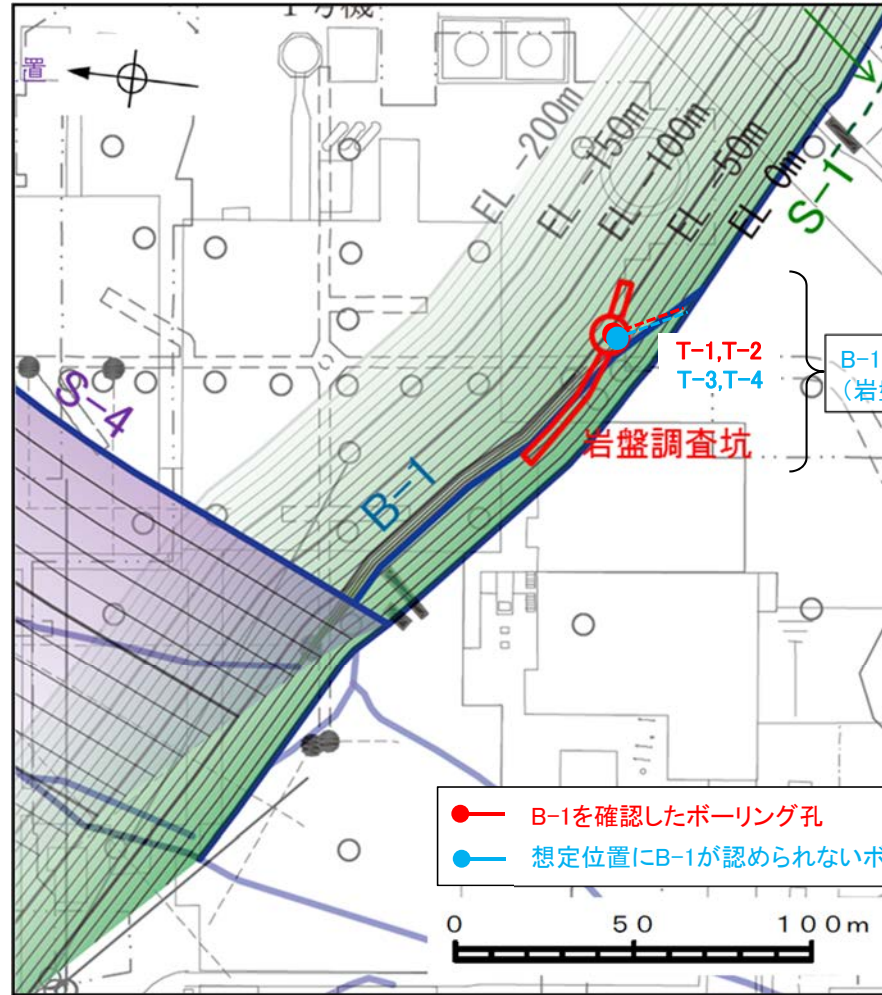
- ・この図は、2号機の基礎掘削面深度EL-4.7mを基準とした断層トレースをもとに、断層の傾斜角を一定として、EL0m以深の断層の推定分布を深度10m毎に図示したものである。
- ・各深度における断層分布の推定には、各ボーリング孔における出現深度をもとに求めた断層の平均的な傾斜角を用いた。
- ・このため、実際のボーリングコアでの断層出現標高とは異なる場合がある。



(1) S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

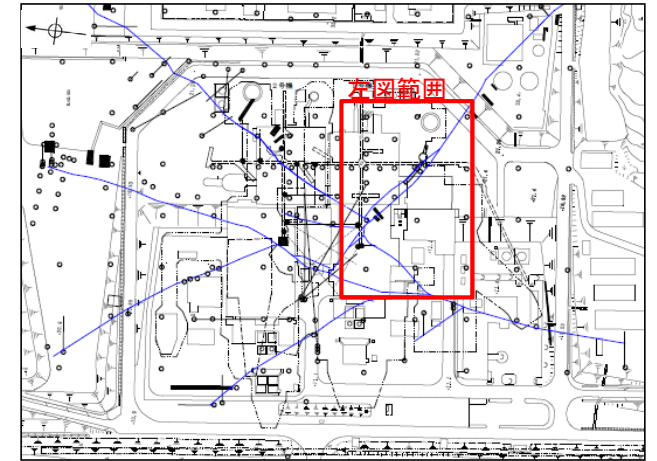
S-1とB-1の水平方向・深度方向のデータ

OB-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない
(岩盤調査坑及びボーリング断面P.2.3-3-5~7)

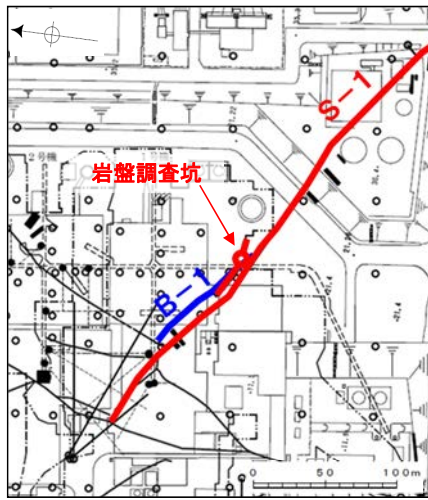
- B-1を確認したボーリング孔
- 想定位置にB-1が認められないボーリング孔



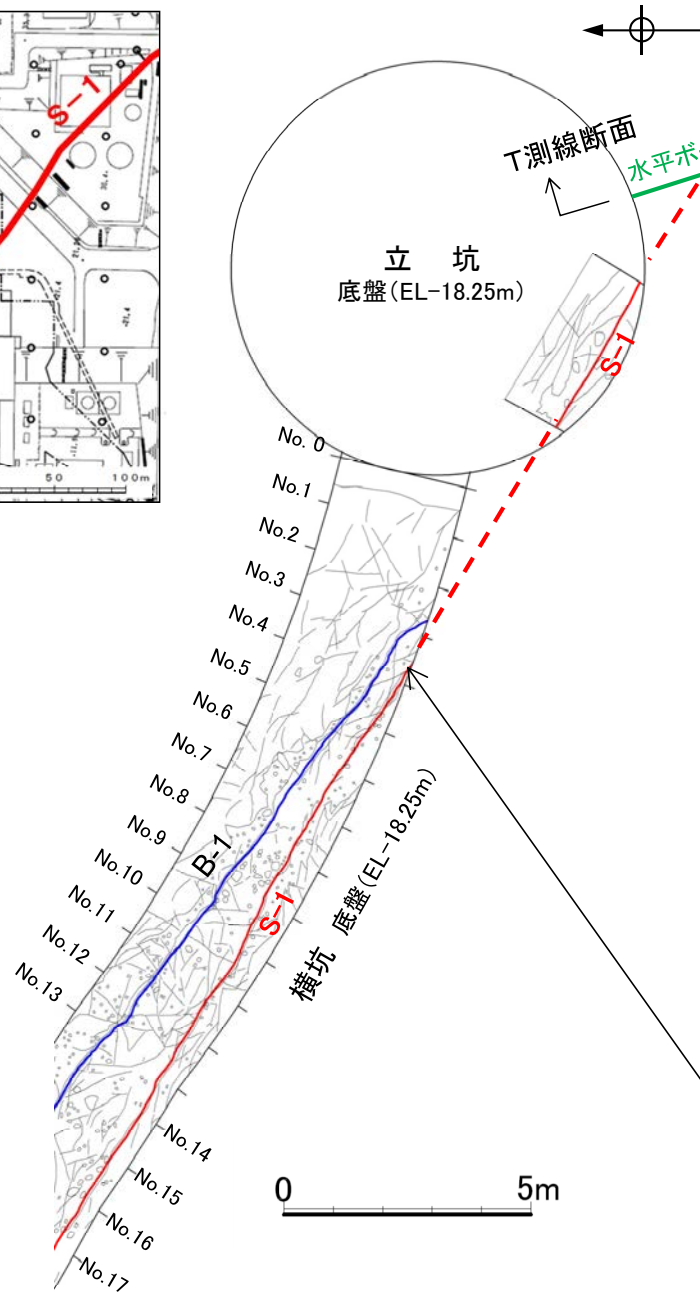
位置図

S-1とB-1の関係

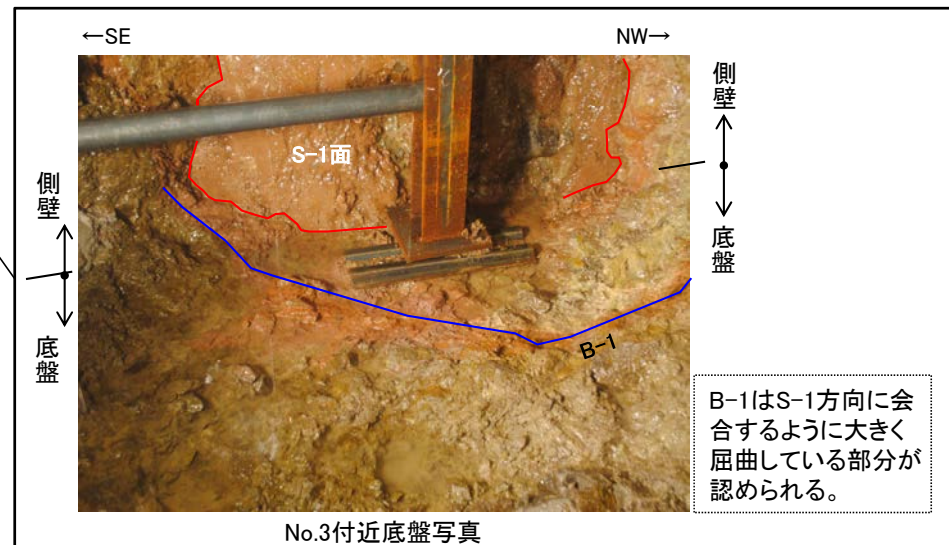
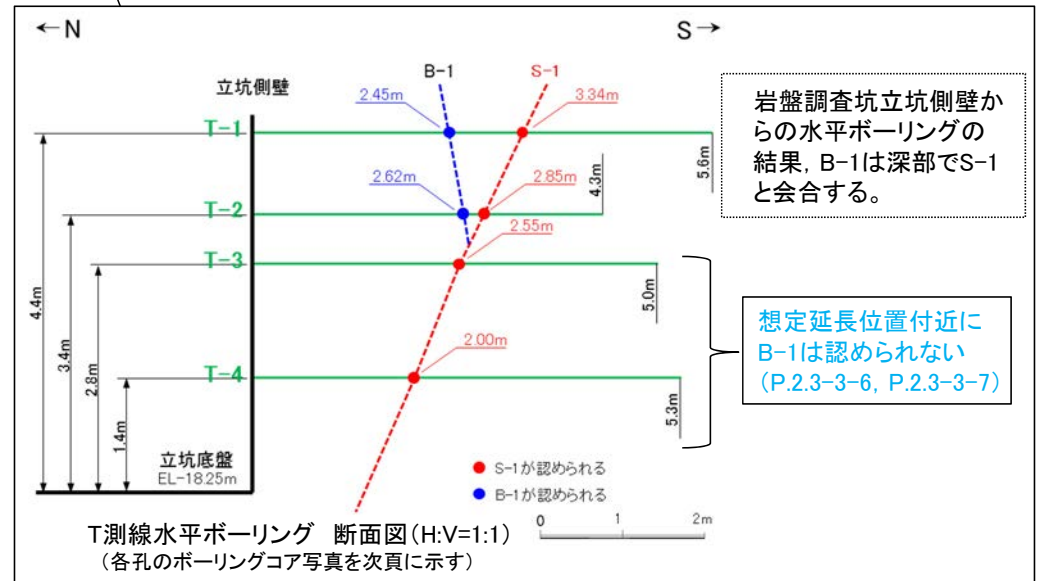
○岩盤調査坑及びボーリング断面において、B-1は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

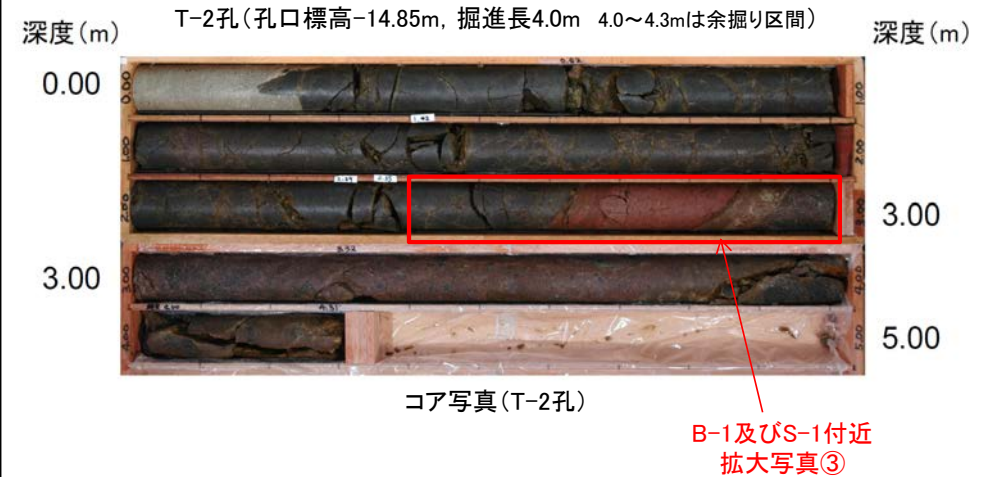
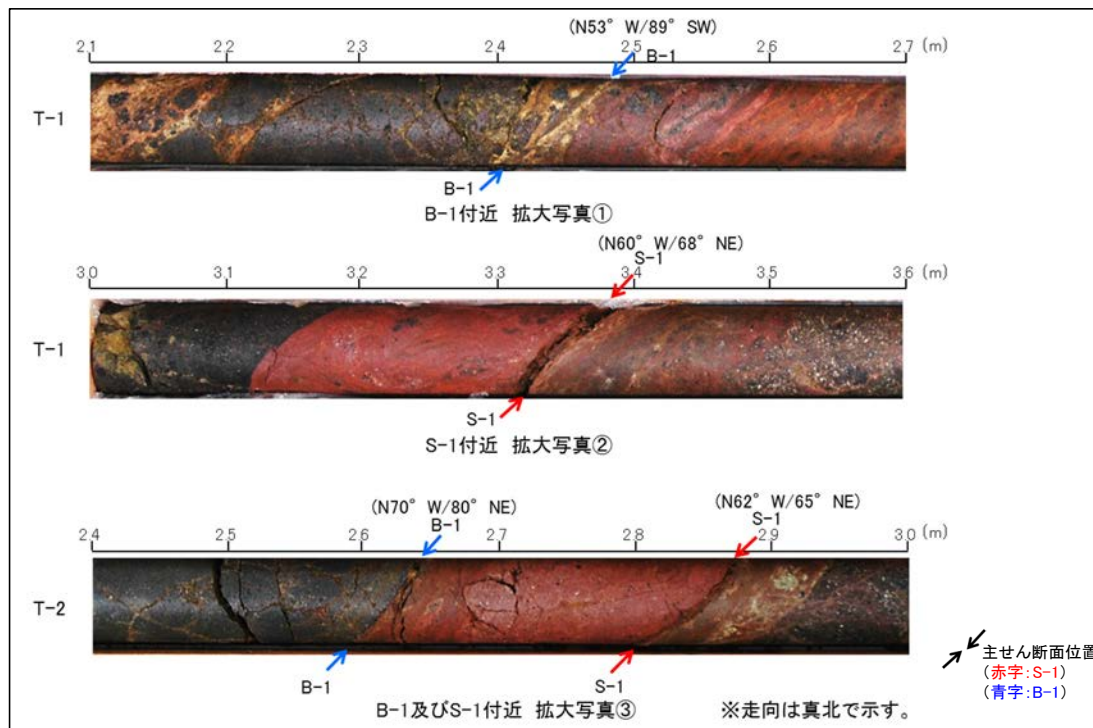
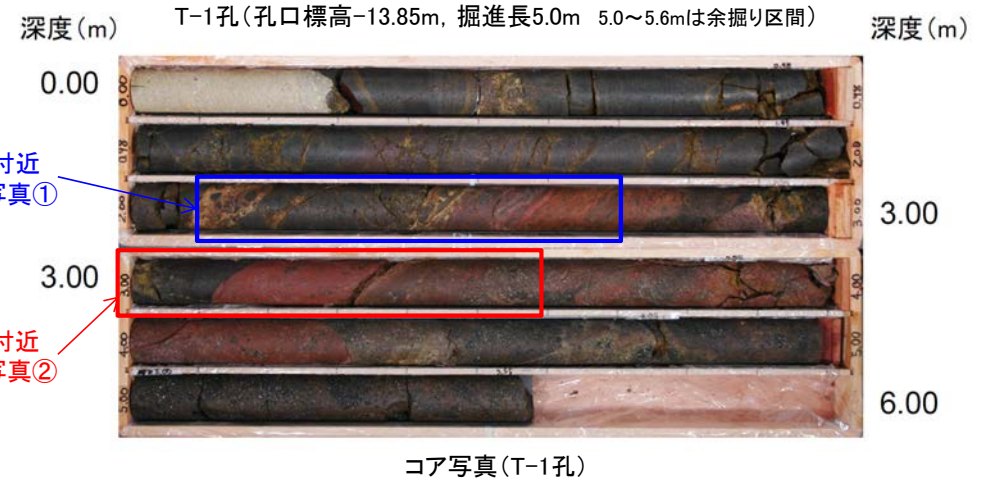
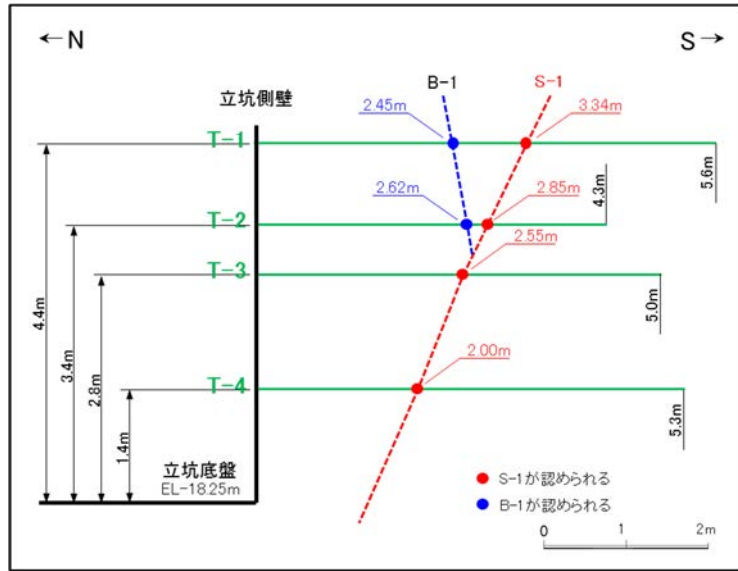


岩盤調査坑
ボーリング調査位置図



水平ボーリング(T-1孔, T-2孔) コア写真

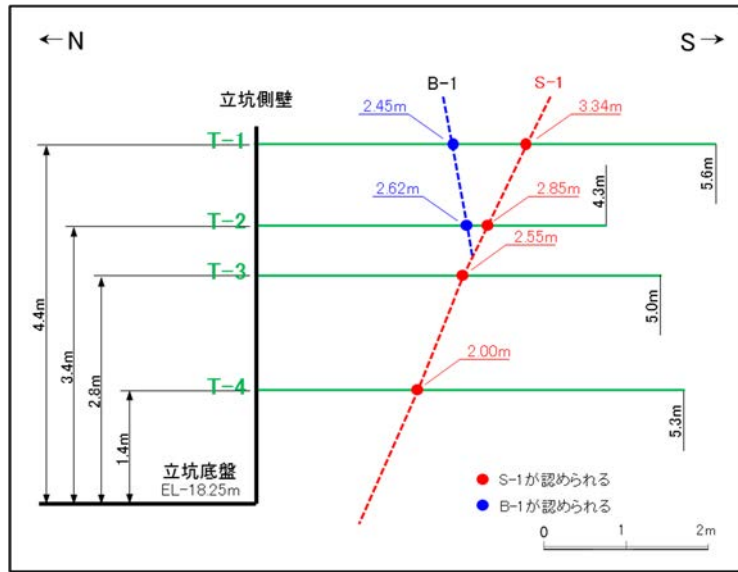
柱状図はデータ集1 P.10-9-3~4



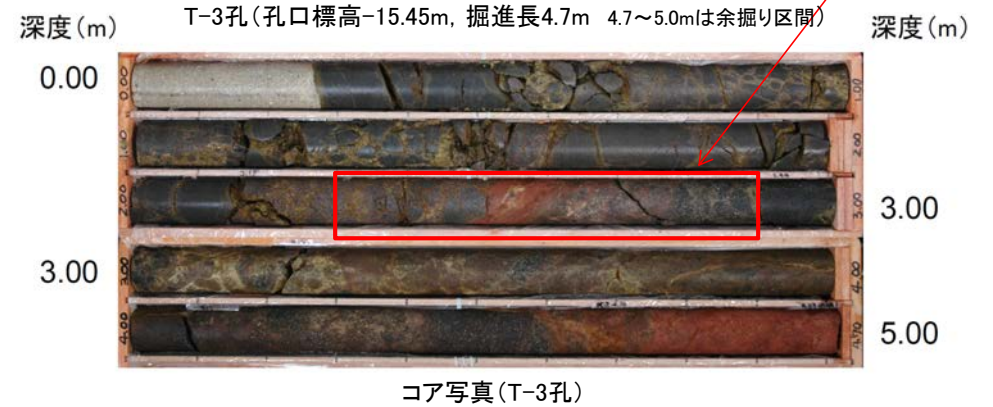
T-1, T-2孔においてS-1とその上盤側にB-1が認められる。

水平ボーリング(T-3孔, T-4孔) コア写真

柱状図はデータ集1 P.10-9-5~6



S-1付近
拡大写真④

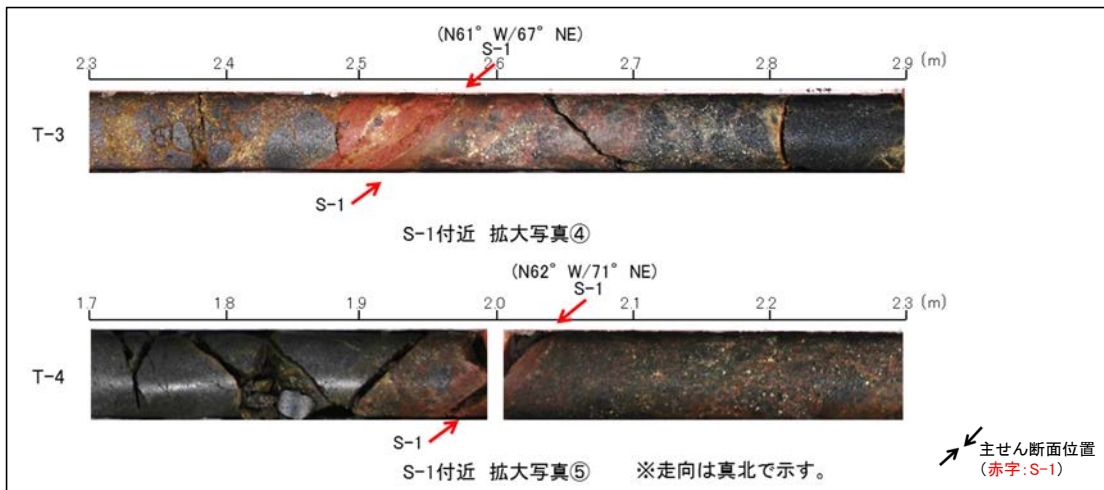


コア写真(T-3孔)

S-1付近
拡大写真⑤



コア写真(T-4孔)

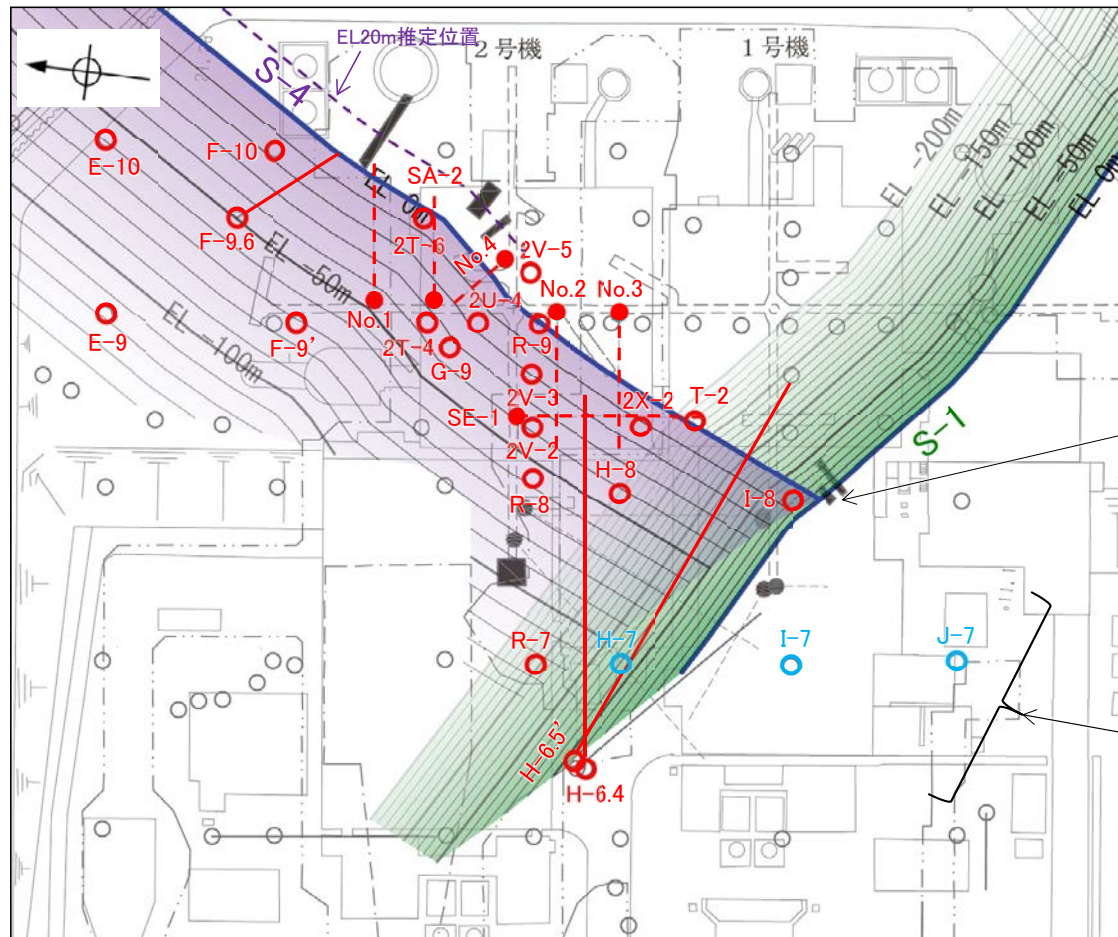
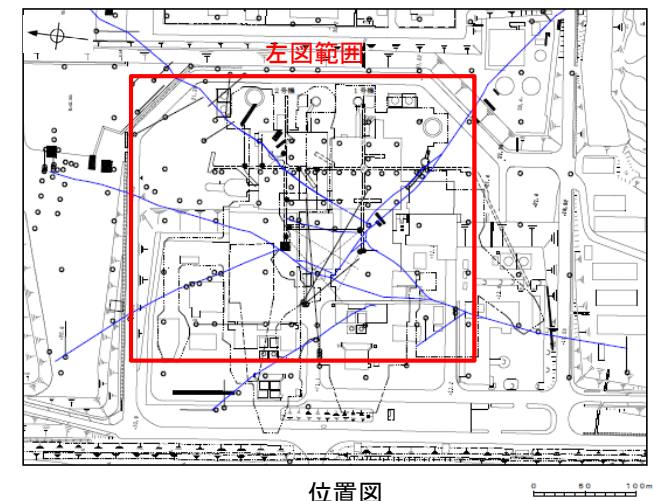


T-3, T-4孔においてS-1が認められるものの、その下盤側にB-1は認められない。

(2) S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

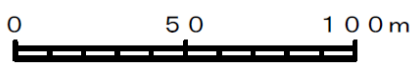
S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ

OS-4は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない
(基礎掘削面P.2.3-3-10)

S-4は、深度方向にS-1を越えて連続しない
(ボーリング断面P.2.3-3-11~14)

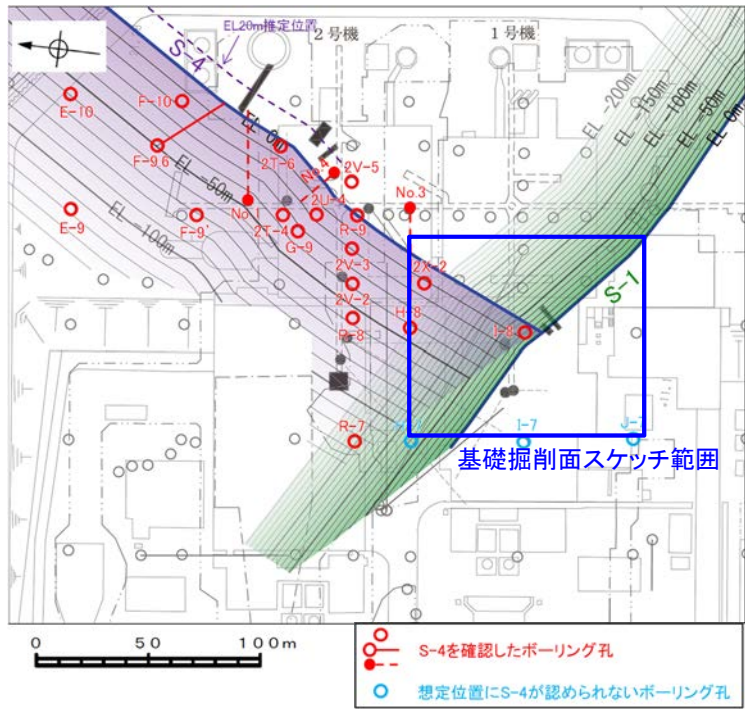


- S-4を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-4が認められないボーリング孔

S-1とS-4の関係

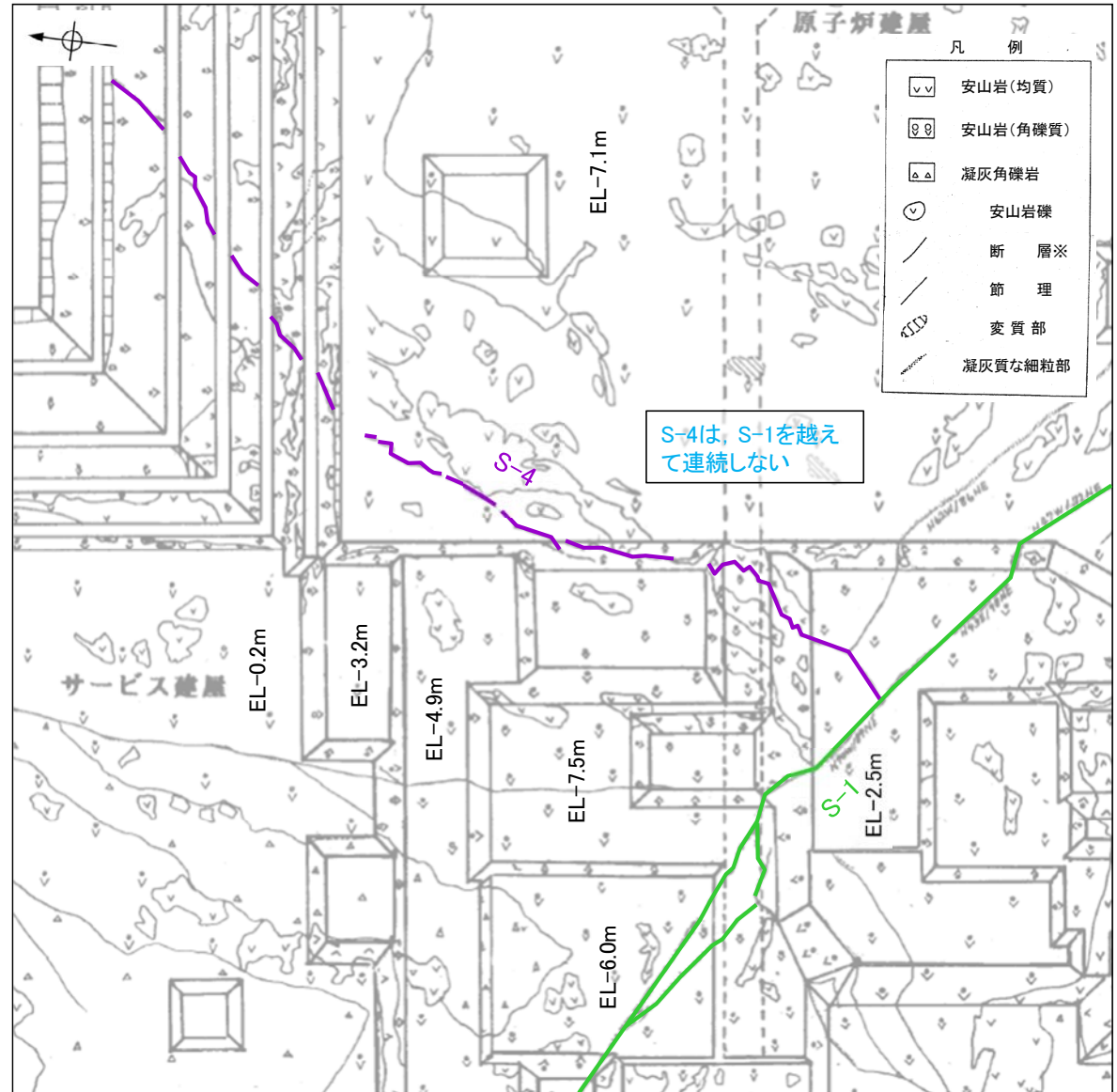
S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ ー基礎掘削面ー

○基礎掘削面において、S-4は、水平方向にS-1を越えて連続しない。



位置図

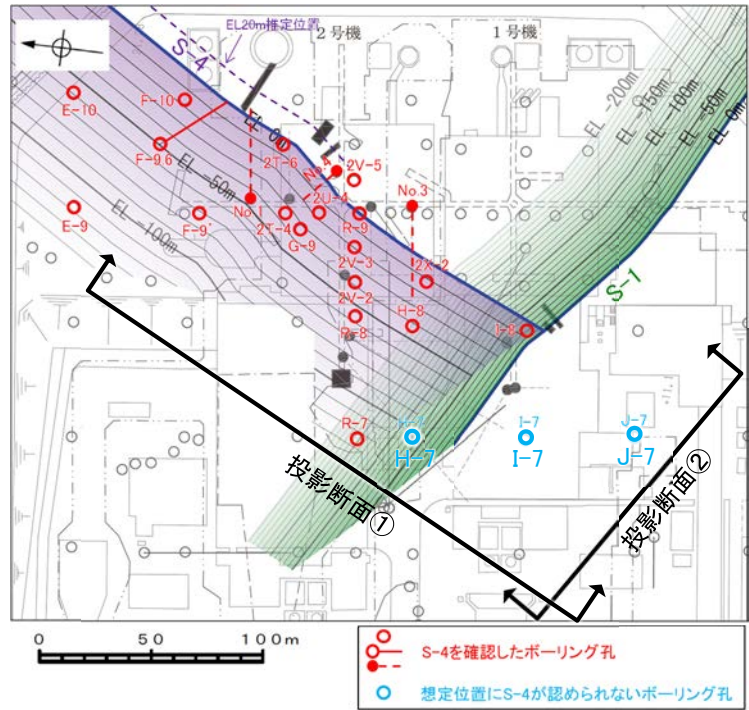
※S-4は紫, S-1は緑に着色



基礎掘削面スケッチ

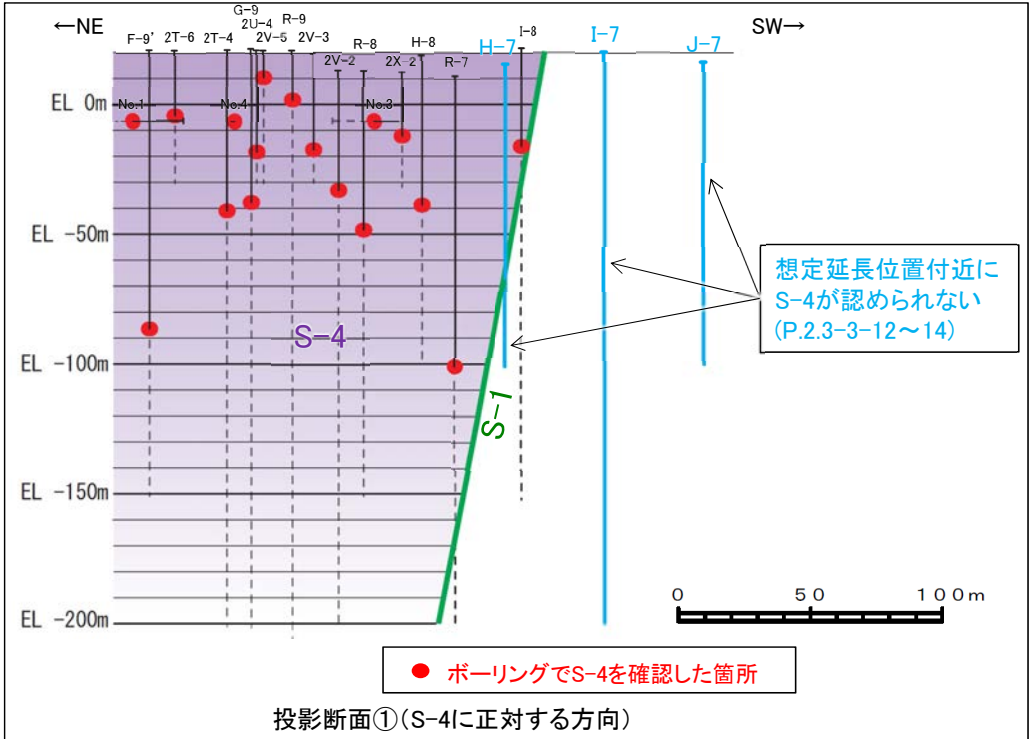
S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ -ボーリング断面①-

○ボーリング断面において、S-4は、S-1を越えて連続しない。

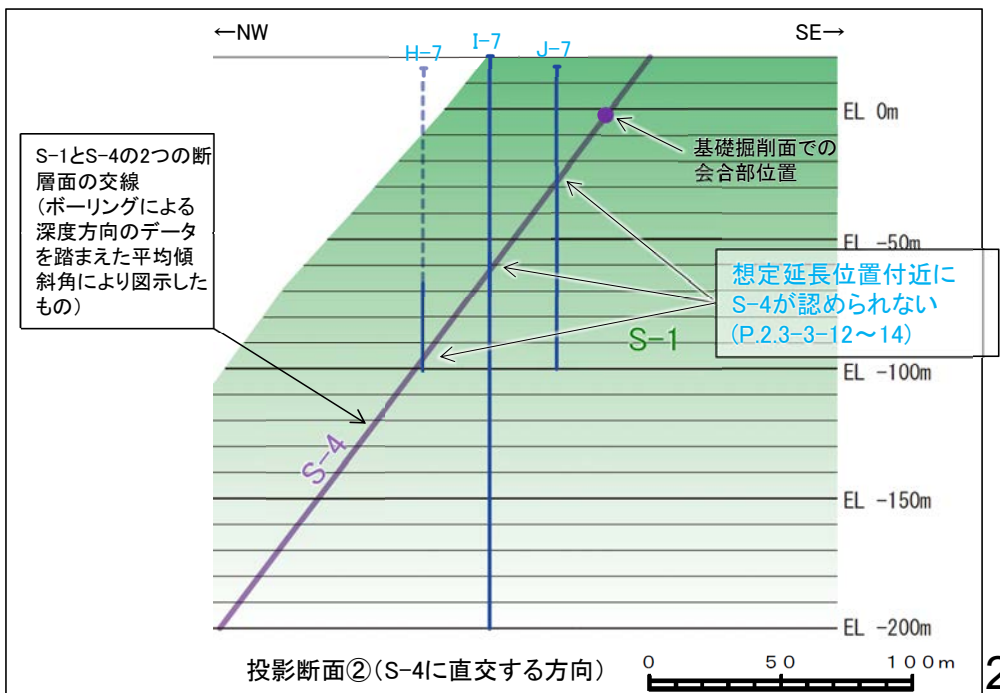


位置図

S-4は、S-1断層面より南西側のボーリングH-7孔、I-7孔及びJ-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より北東側にのみ認められる。



投影断面①(S-4に正対する方向)



投影断面②(S-4に直交する方向)

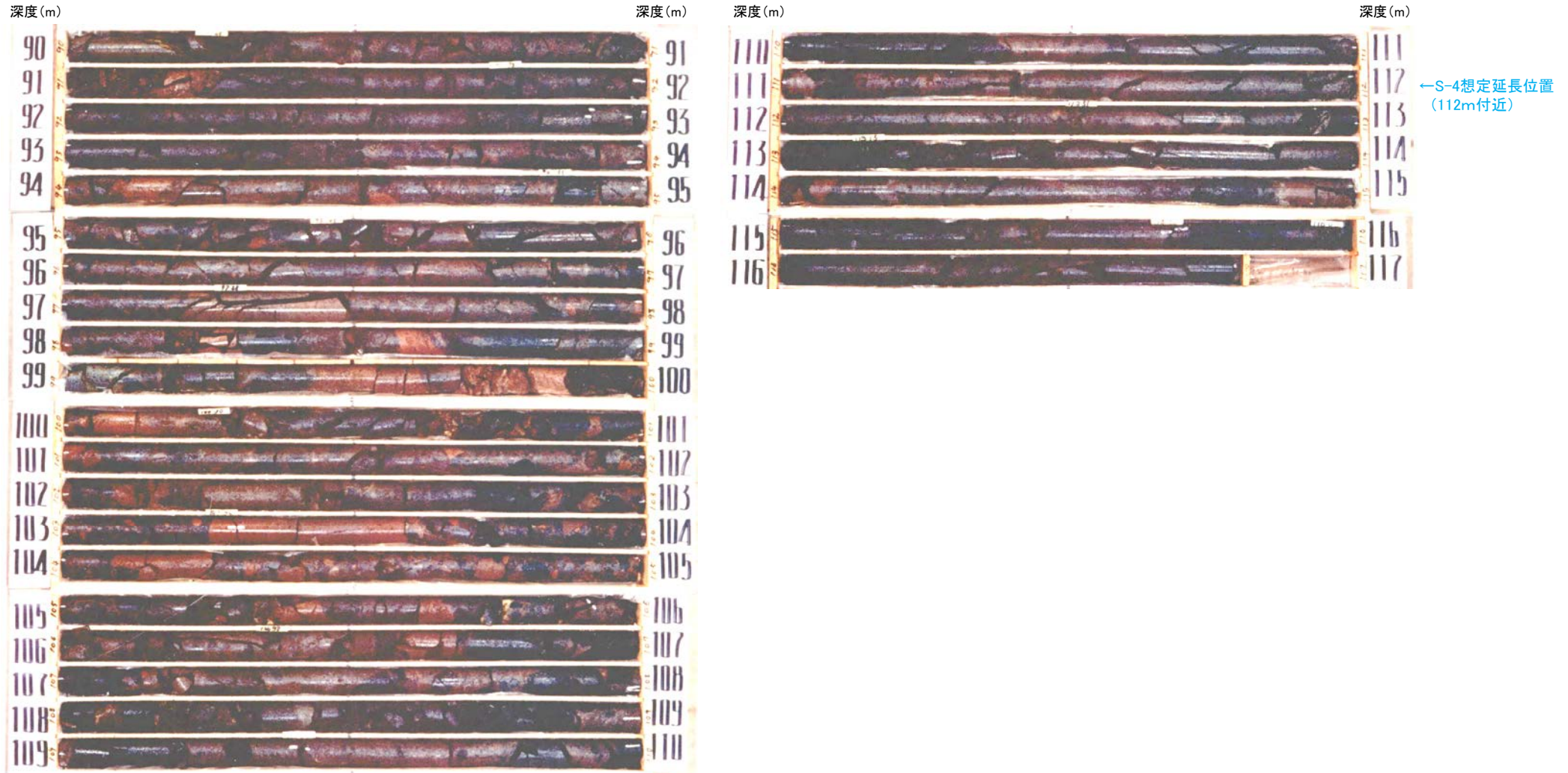
S-1とS-4の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

■H-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-4-123~125

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

H-7孔(孔口標高15.92m, 掘進長116.80m, 鉛直)



コア写真(深度90~116.8m)

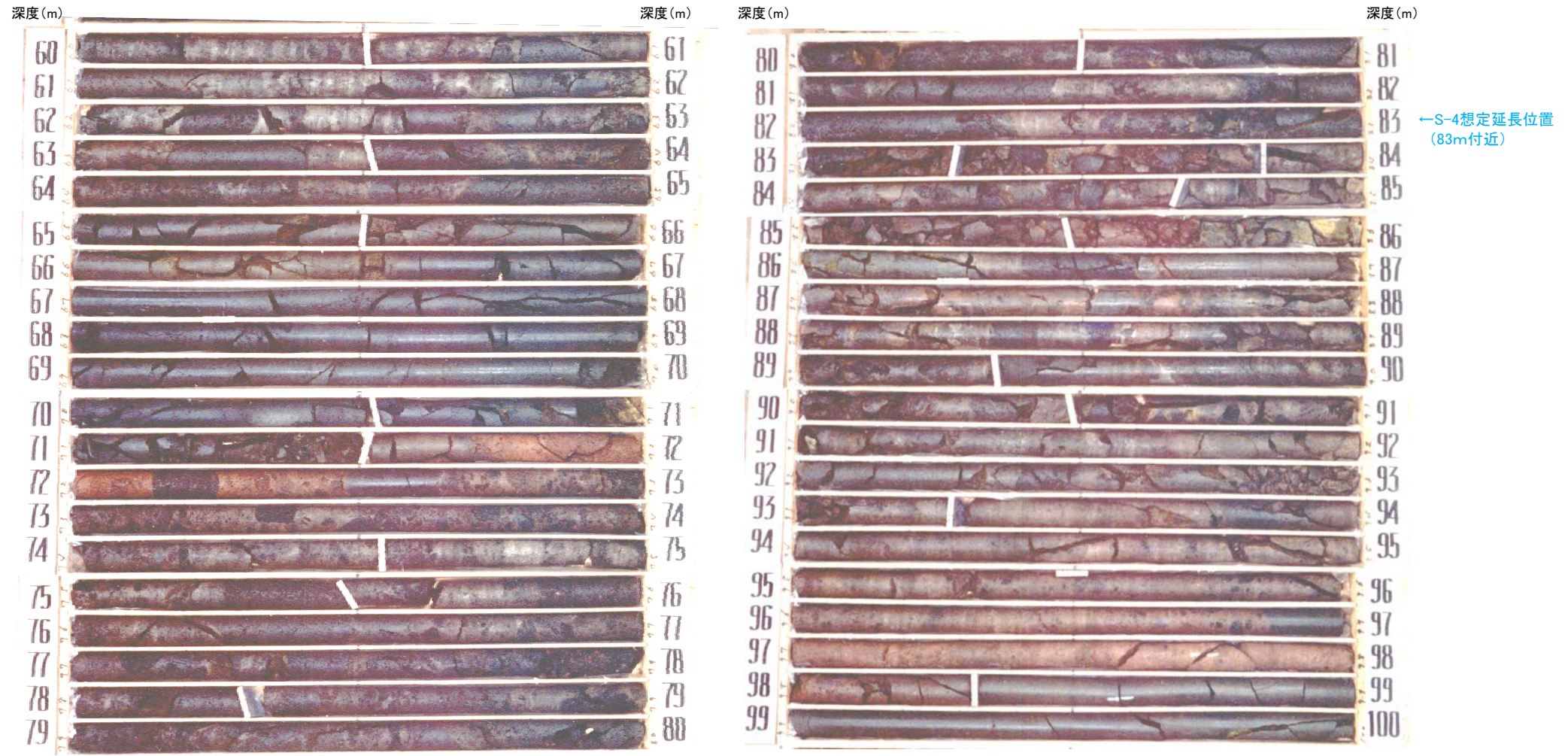
H-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

■I-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-4-126~131

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

I-7孔(孔口標高20.47m, 掘進長220.68m, 鉛直)



コア写真(深度60~100m)

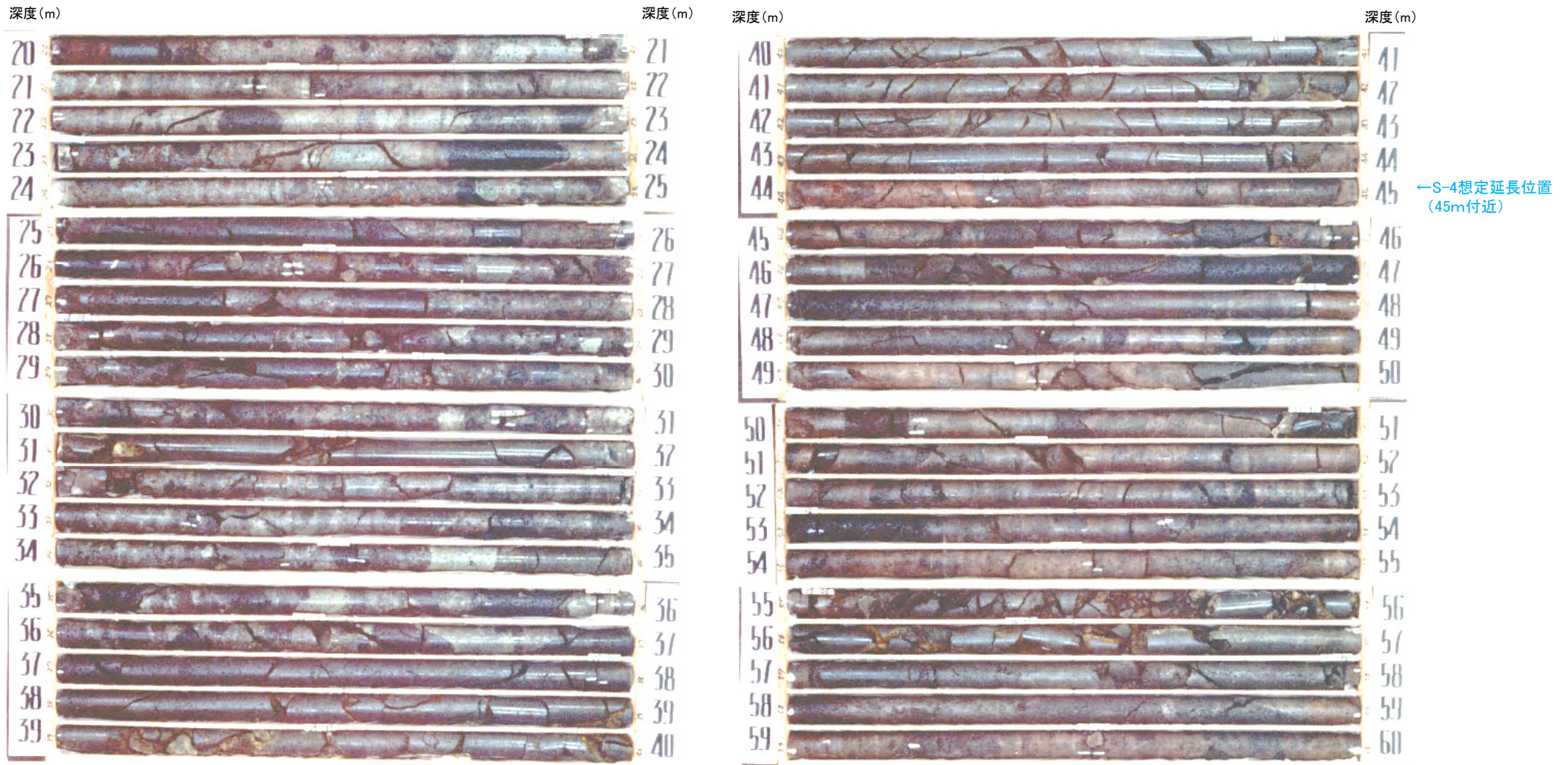
I-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

■ J-7孔のS-4の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-4-132~134

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

J-7孔(孔口標高16.48m, 掘進長116.55m, 鉛直)



コア写真(深度20~60m)

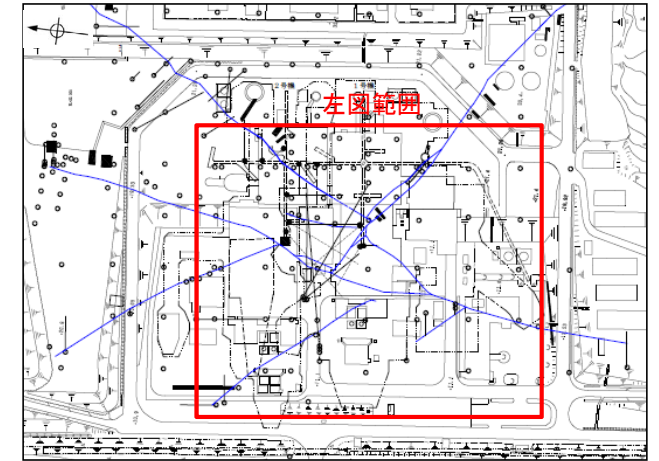
J-7孔において、想定延長位置付近にS-4は認められない。

(3) S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

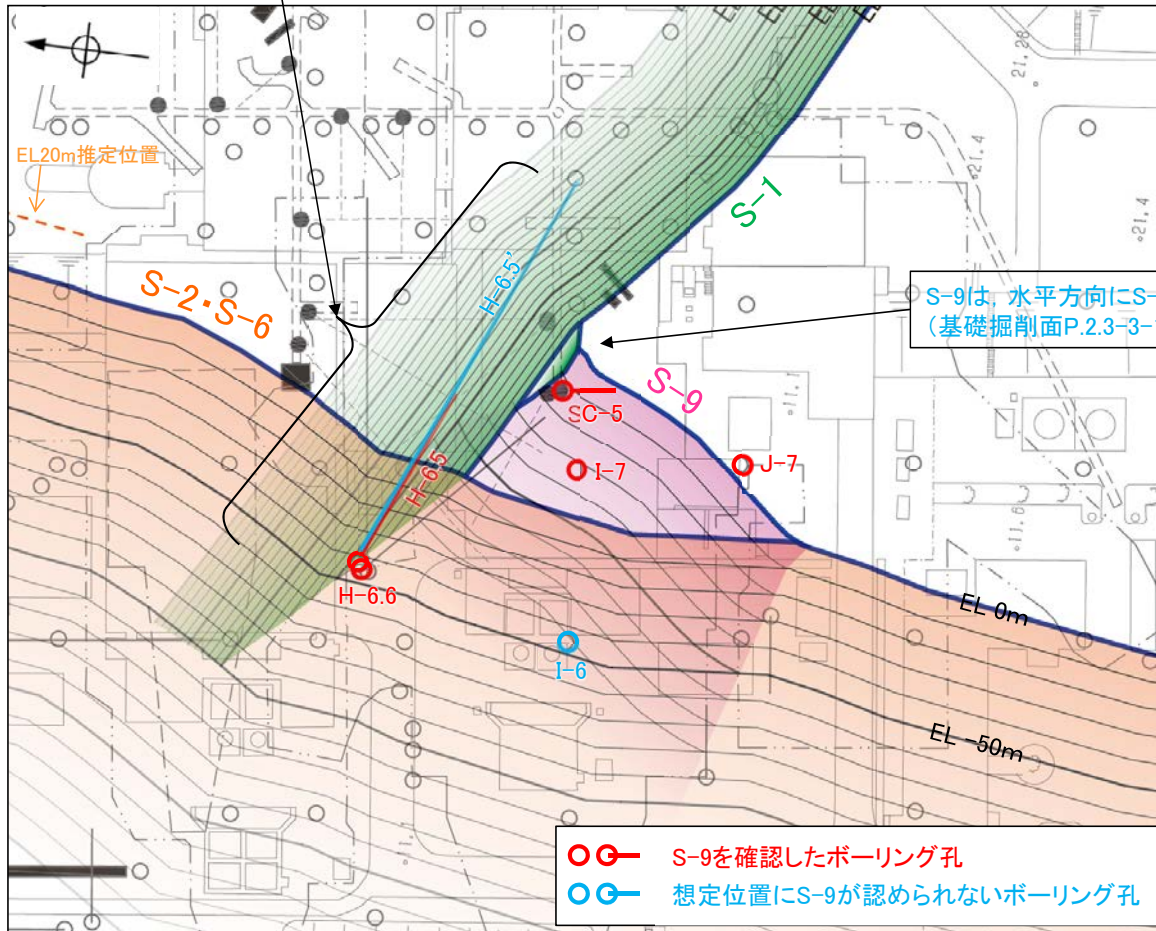
S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ

OS-9は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。

S-9は、深度方向にS-1を越えて連続しない
(ボーリング断面P.2.3-3-18・19)



位置図



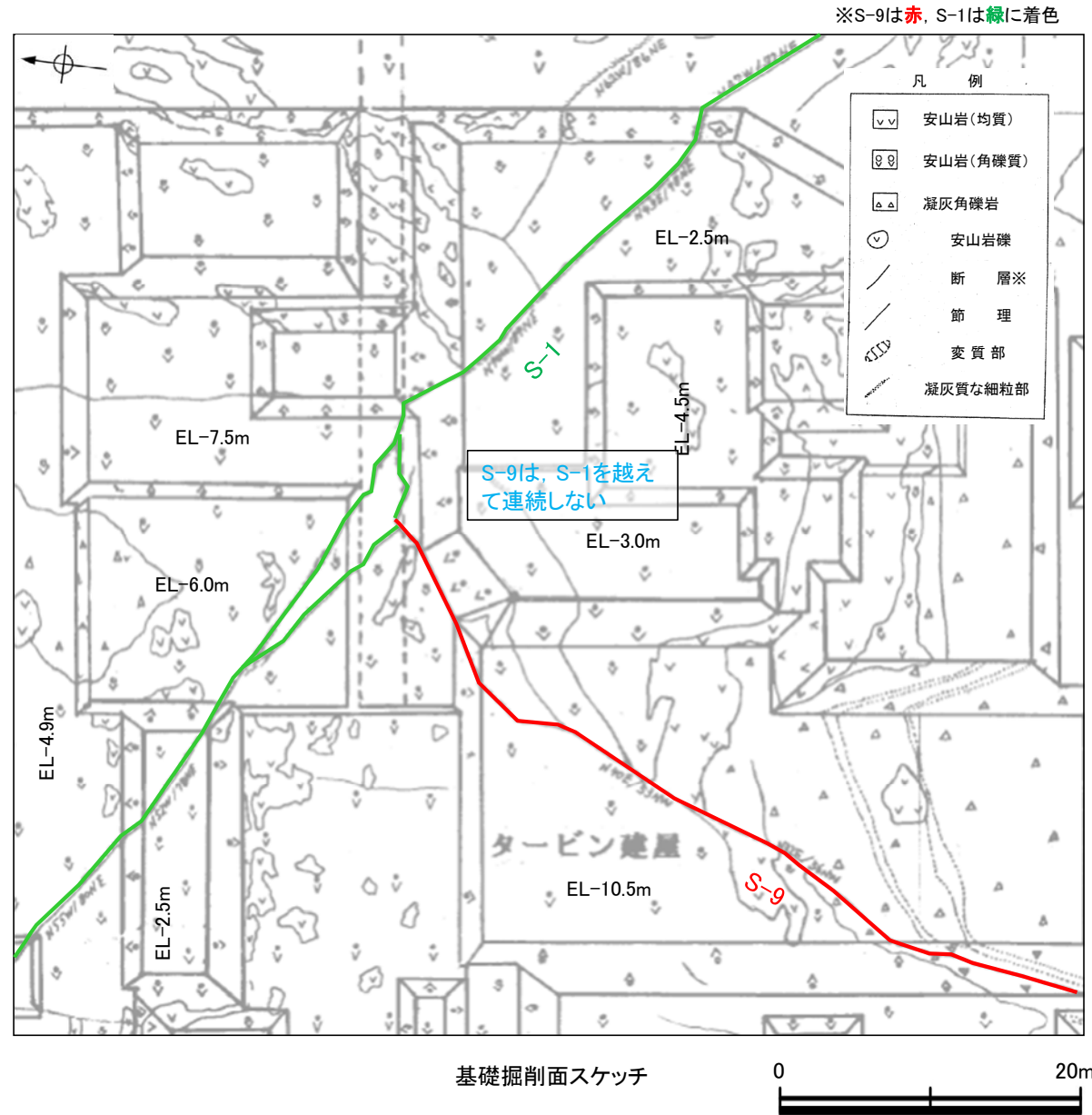
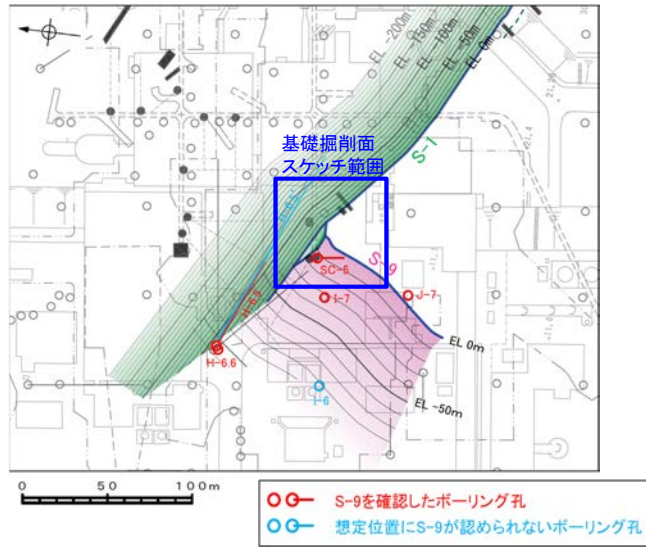
S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない
(基礎掘削面P.2.3-3-17)

- S-9を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

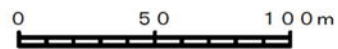
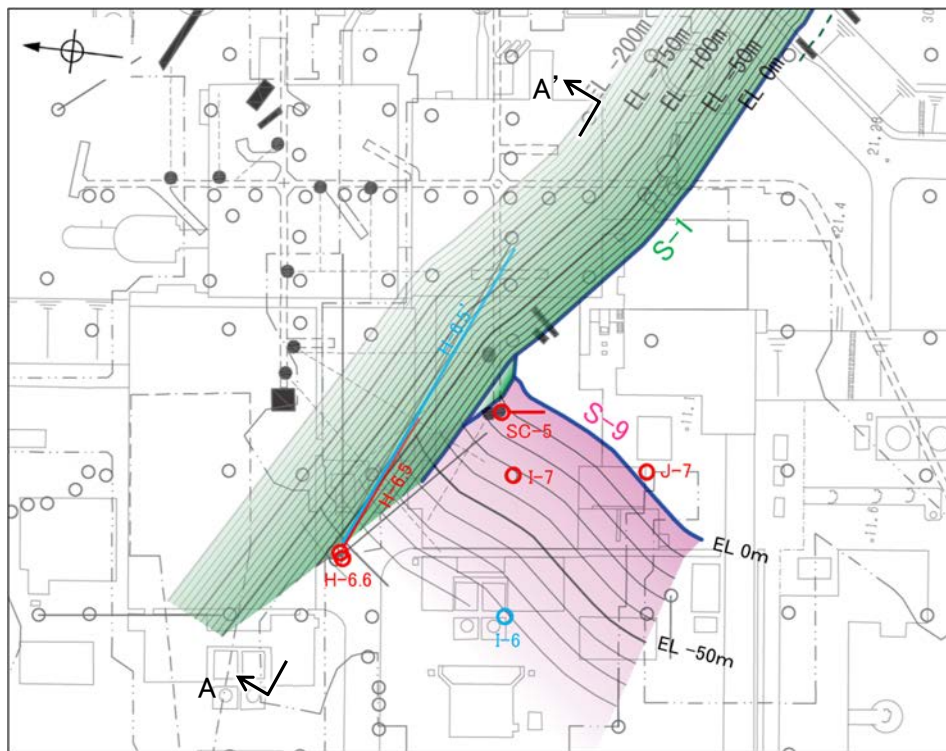
S-1とS-9の関係

S-1とS-9の水平方向・深度方向のデータ —基礎掘削面—

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-1を越えて連続しない。



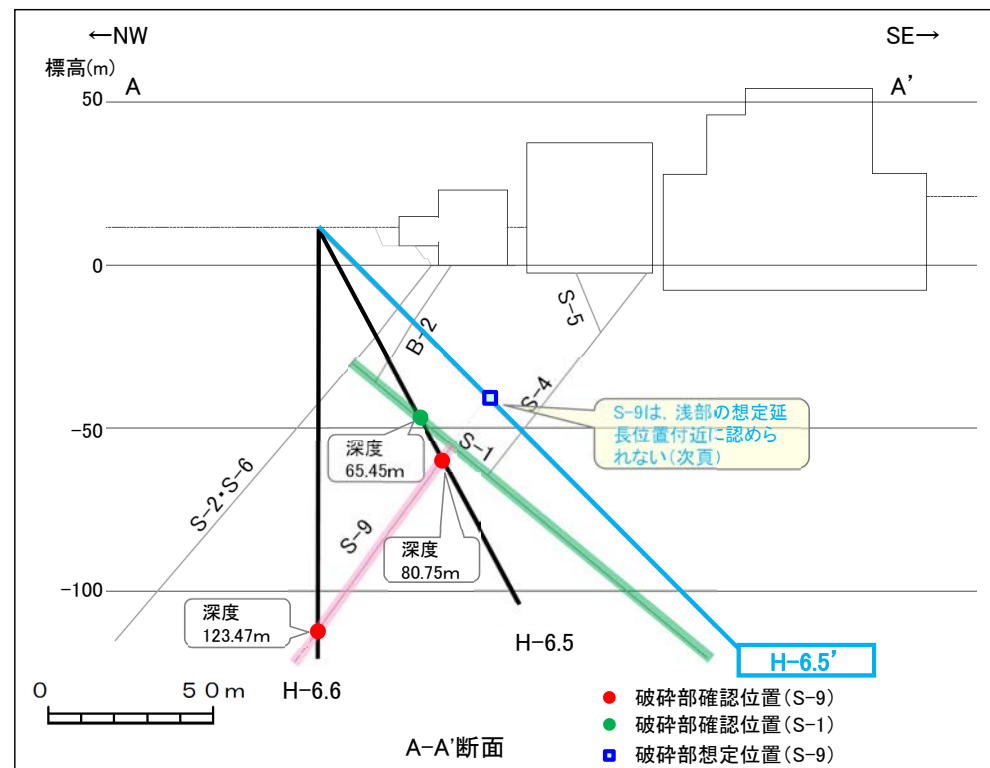
○ボーリング断面において、S-9は、S-1を越えて連続しない。



○● S-9を確認したボーリング孔
○● 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

断面位置

位置図

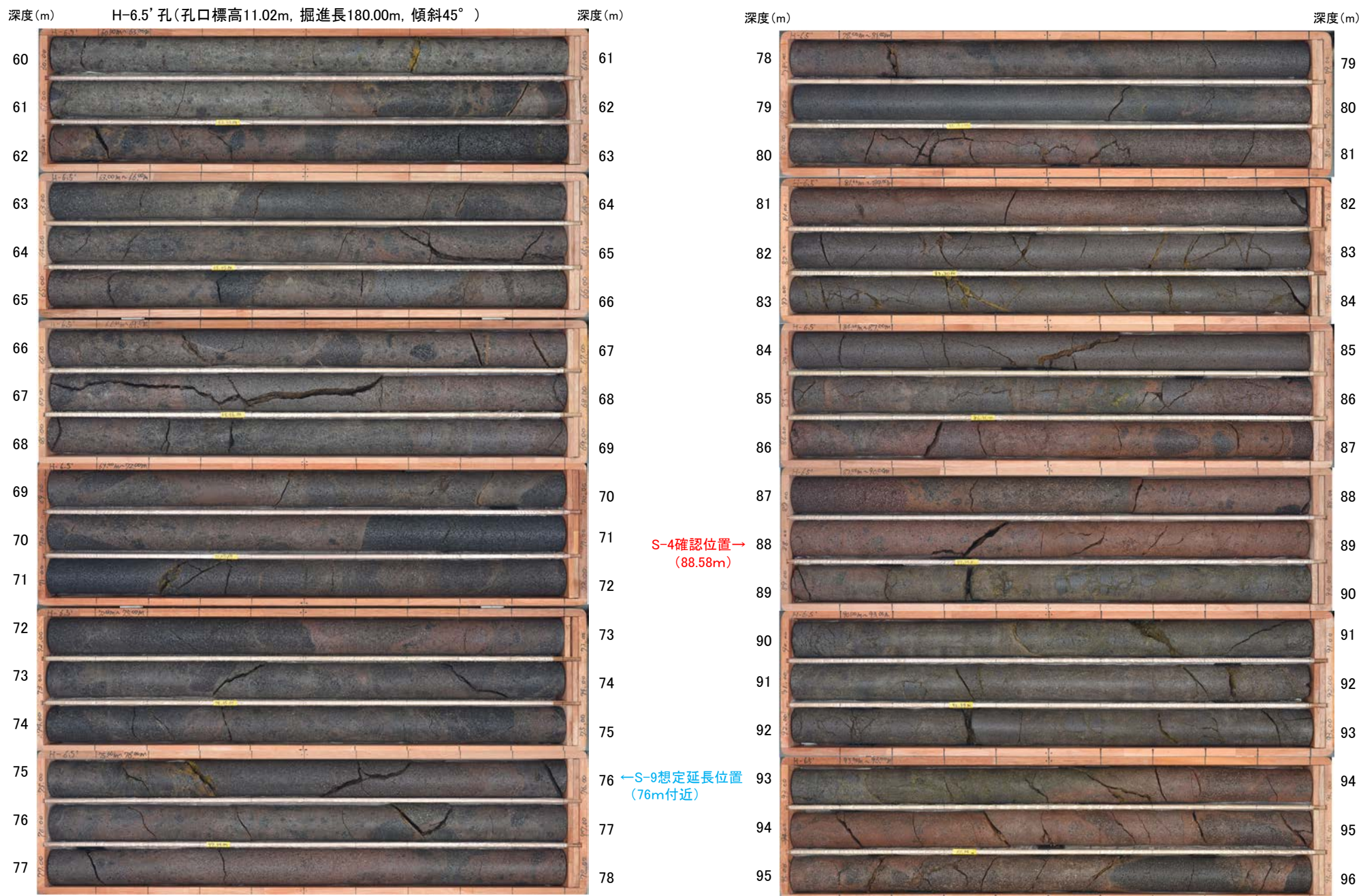


この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

S-9は、S-1断層面より北東側のボーリングH-6.5'孔において想定延長位置付近に認められず、S-1断層面より南西側にのみ認められる。

■H-6.5'孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-8-21~25



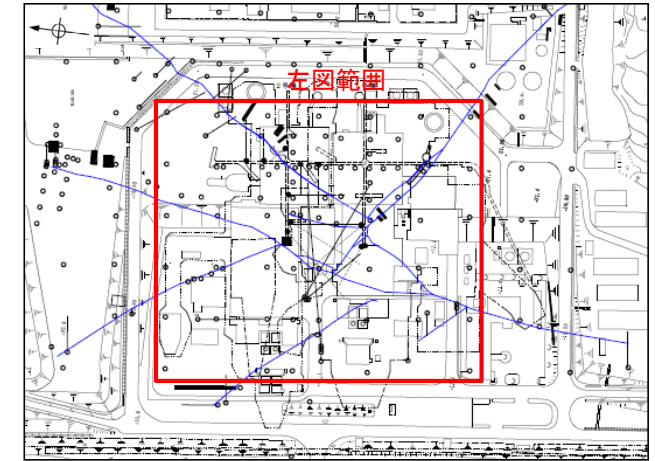
コア写真(深度60~96m)

H-6.5'孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

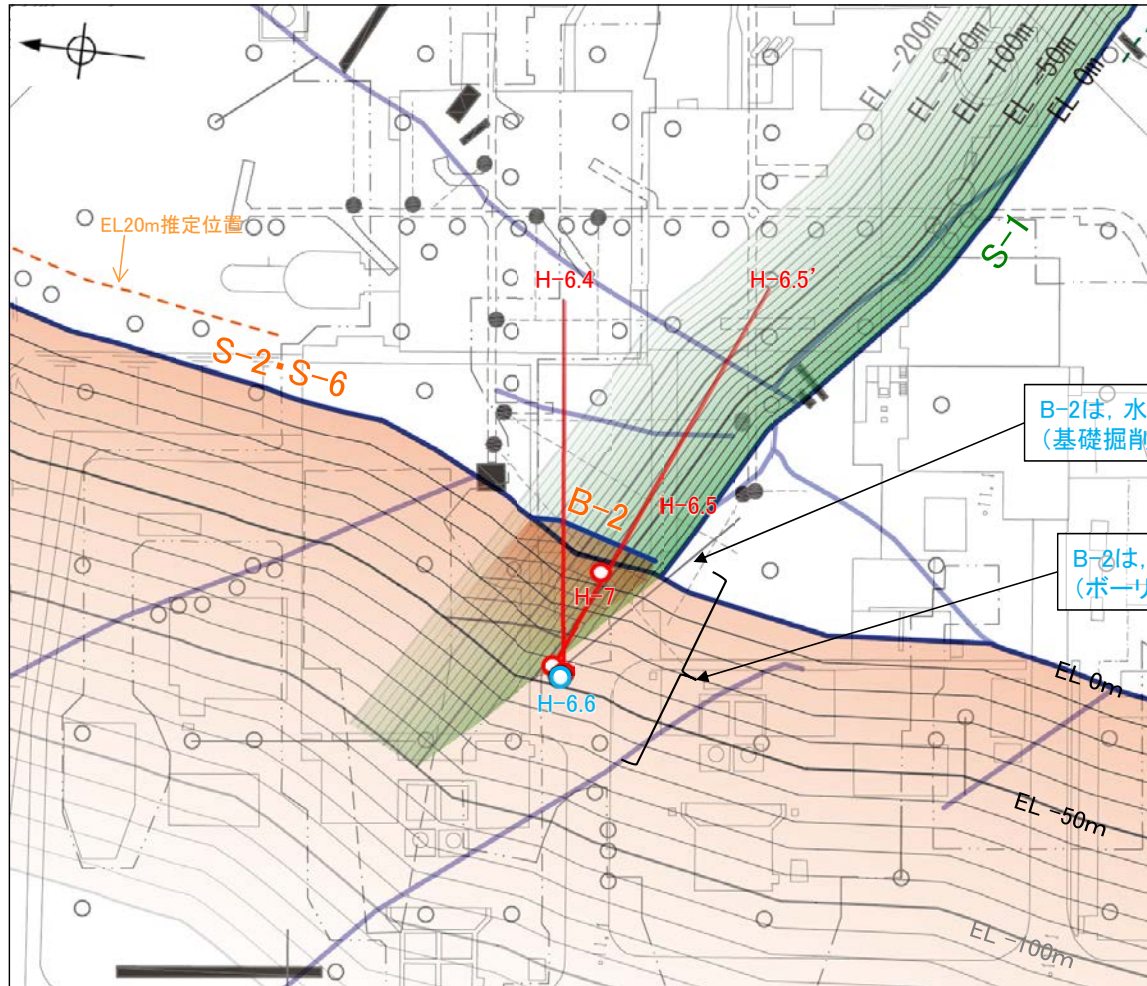
(4) S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

S-1とB-2の水平方向・深度方向のデータ

○B-2は、水平方向・深度方向にS-1を越えて連続しない。



位置図



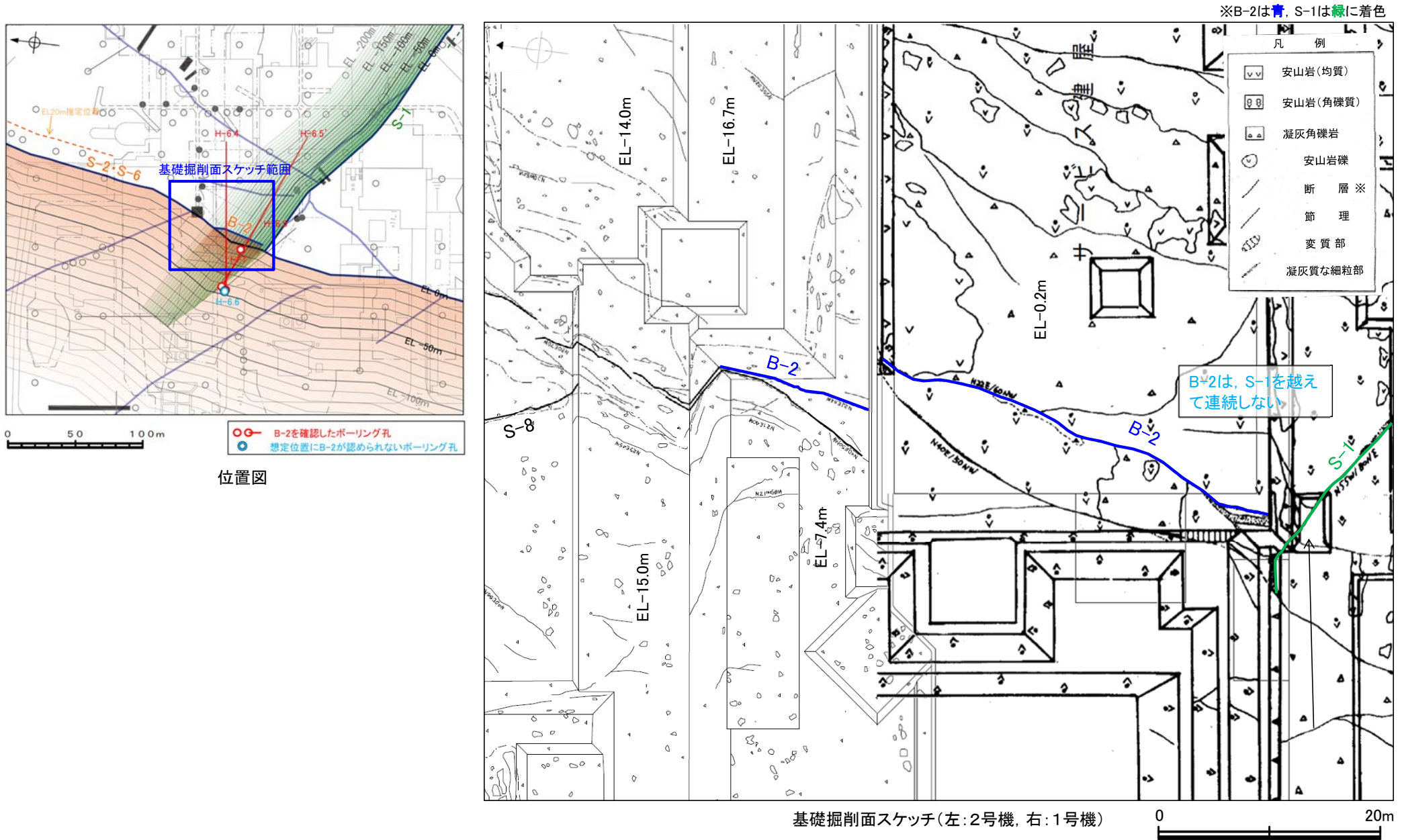
B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない
(基礎掘削面P.2.3-3-22)

B-2は、深度方向にS-1を越えて連続しない
(ボーリング断面P.2.3-3-23・24)

- B-2を確認したボーリング孔
- 想定位置にB-2が認められないボーリング孔

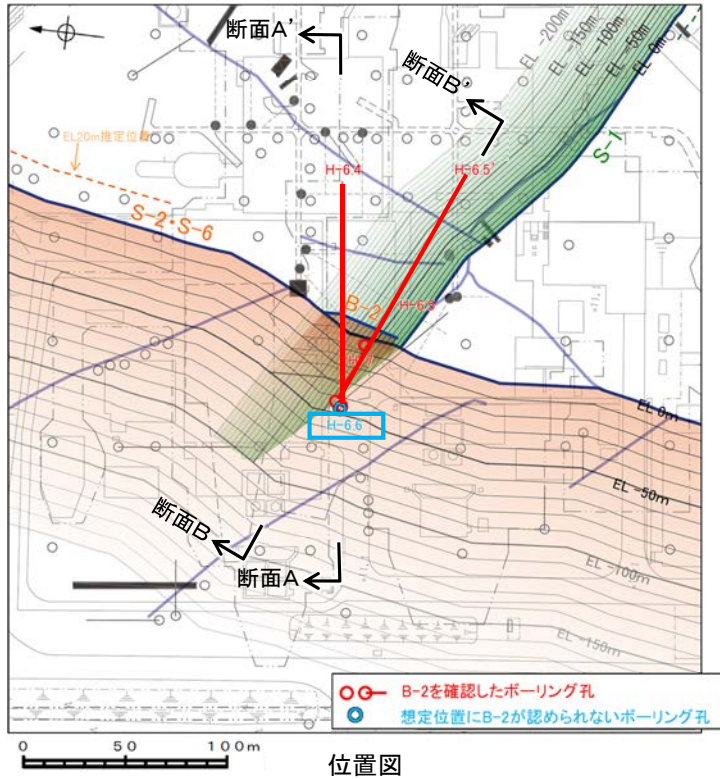
S-1とB-2の関係

○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-1を越えて連続しない。

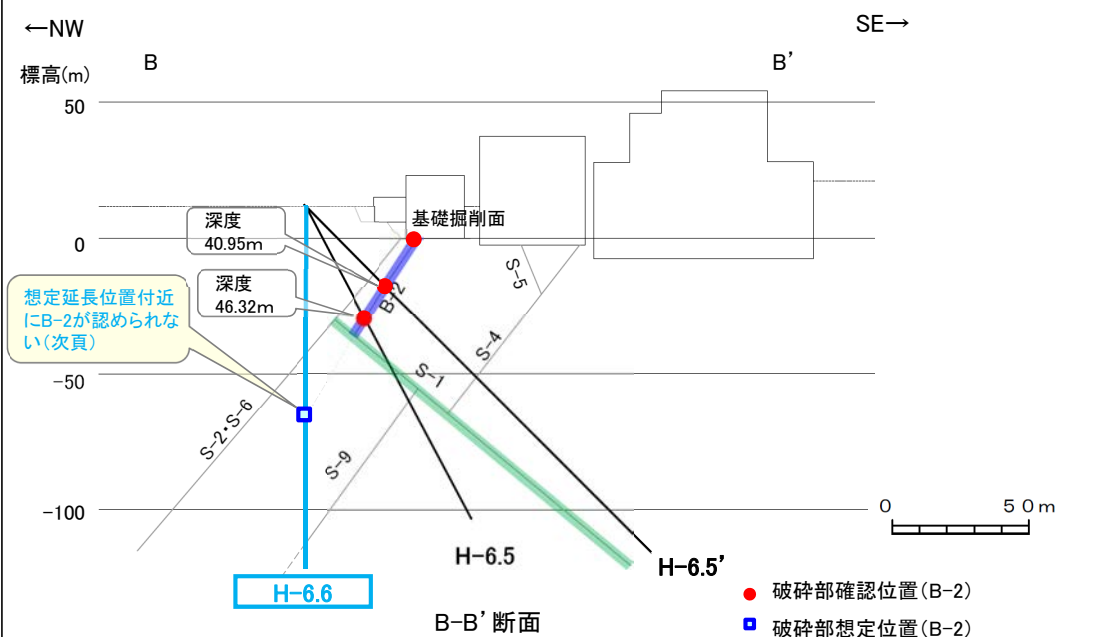
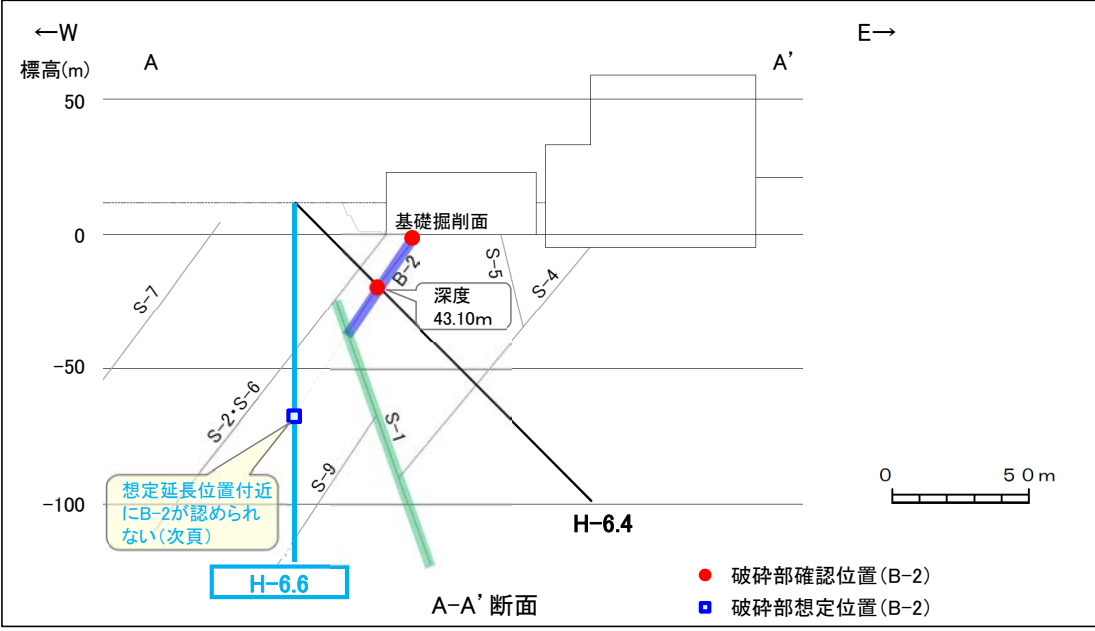


○ボーリング断面において、B-2は、S-1を越えて連続しない。

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

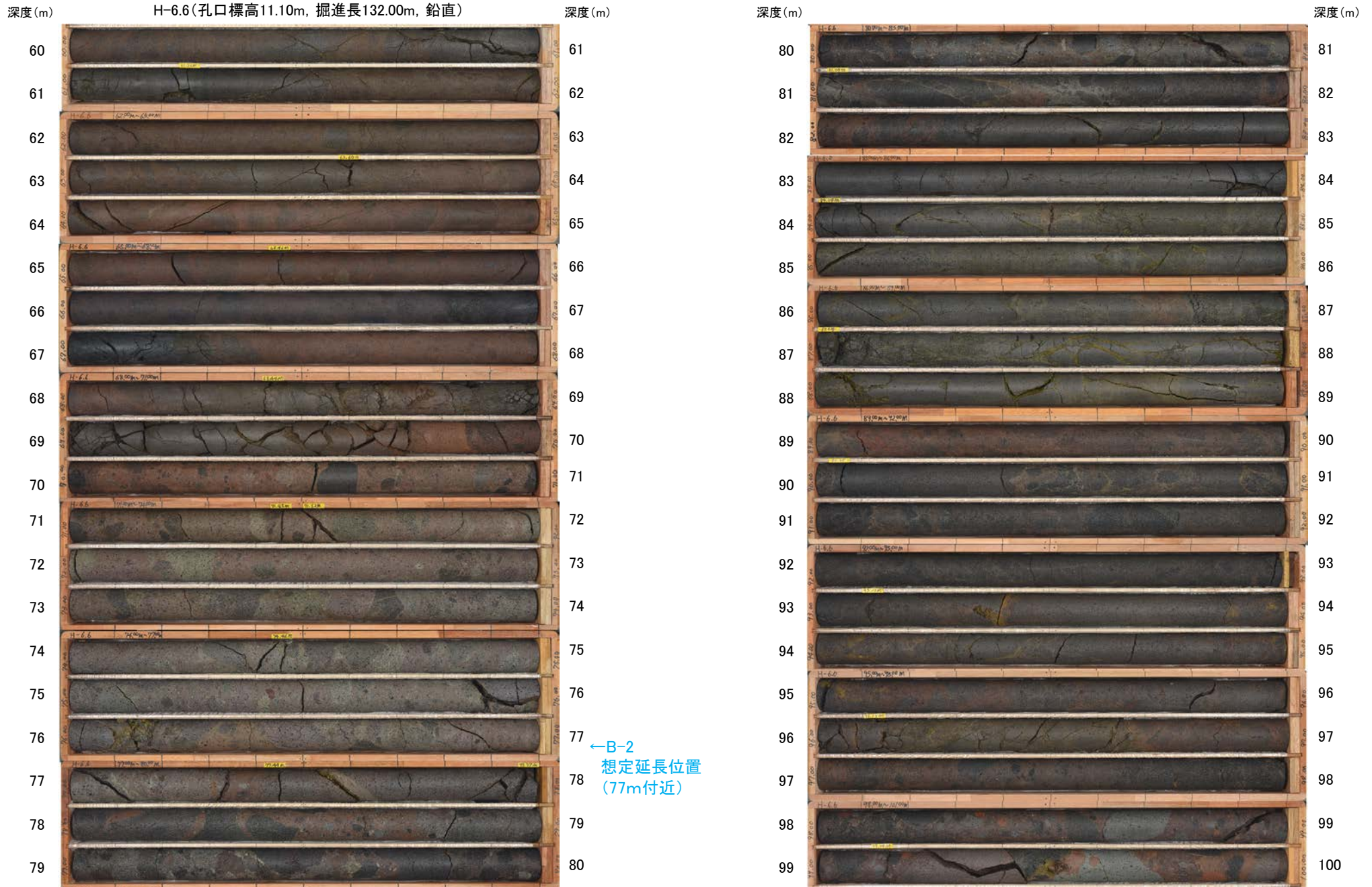


・B-2は、H-6.6孔において想定延長位置付近に認められない。
・北東傾斜であるS-1と北西傾斜であるB-2は、深部で会合する関係にあり、B-2はS-1を越えて連続しない。



■H-6.6孔のB-2の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-10-19~22



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破砕部ではない。なお、走向傾斜はN33° E/59° SEであり、B-2と対応しない。

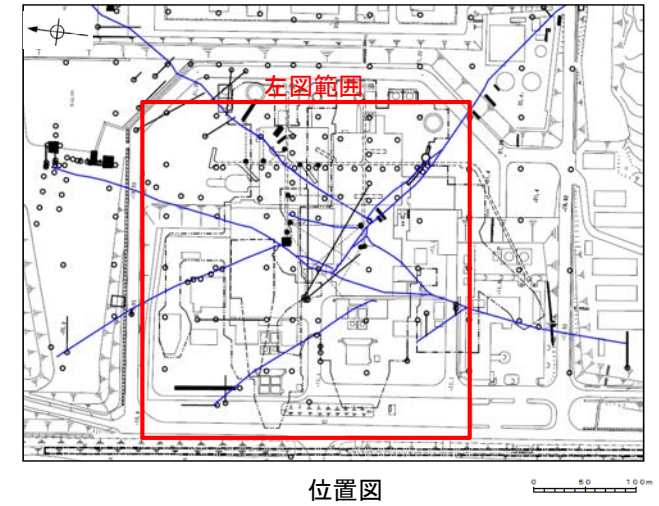
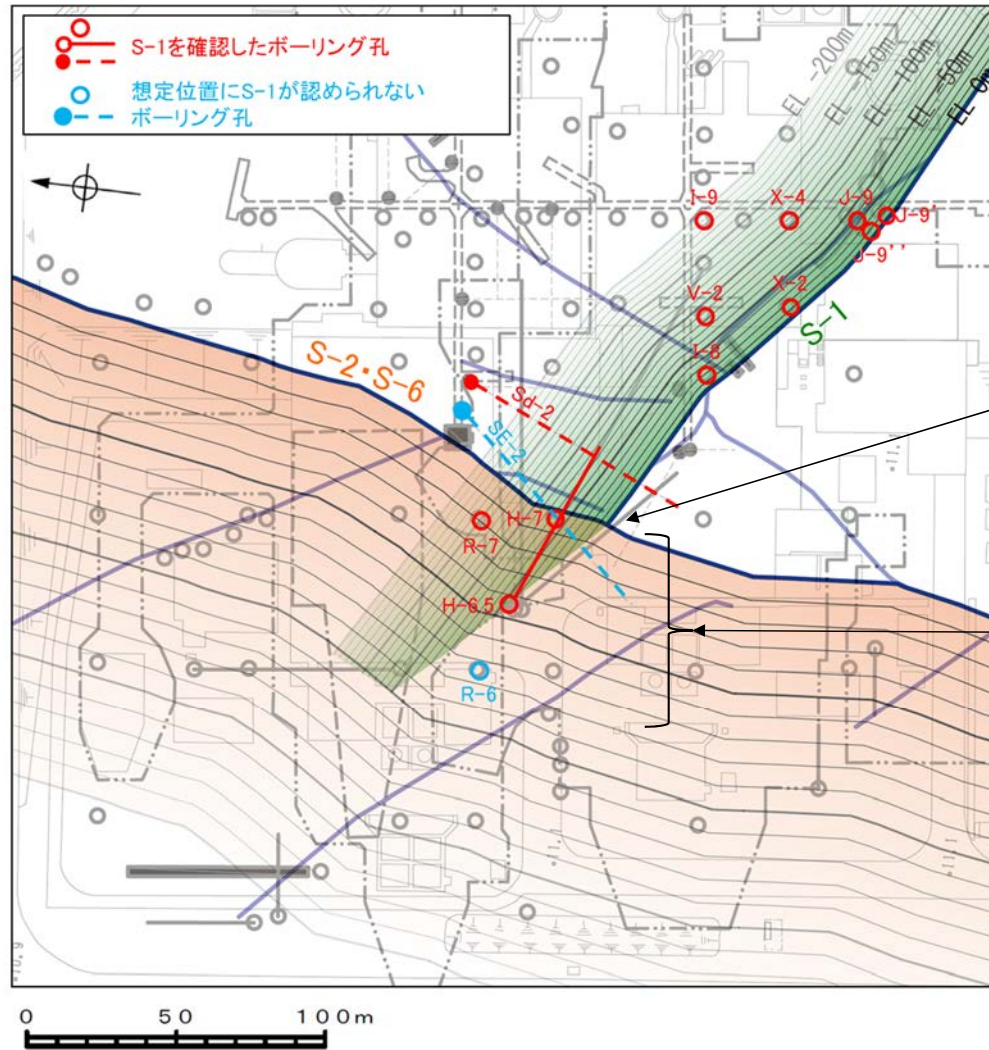
コア写真(深度60~100m)

H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

(5) S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ

OS-1は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

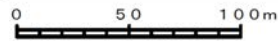
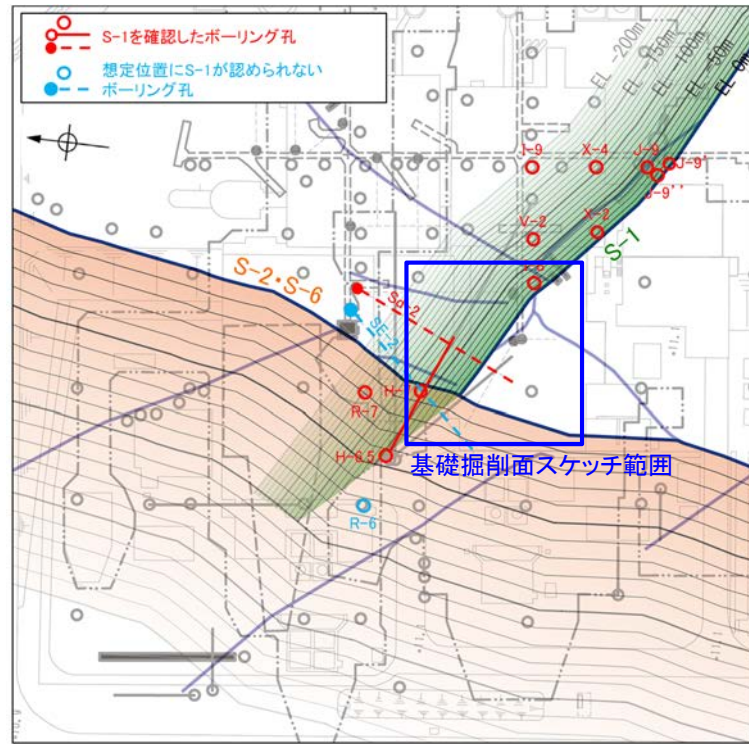


S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(基礎掘削面P.2.3-3-27)

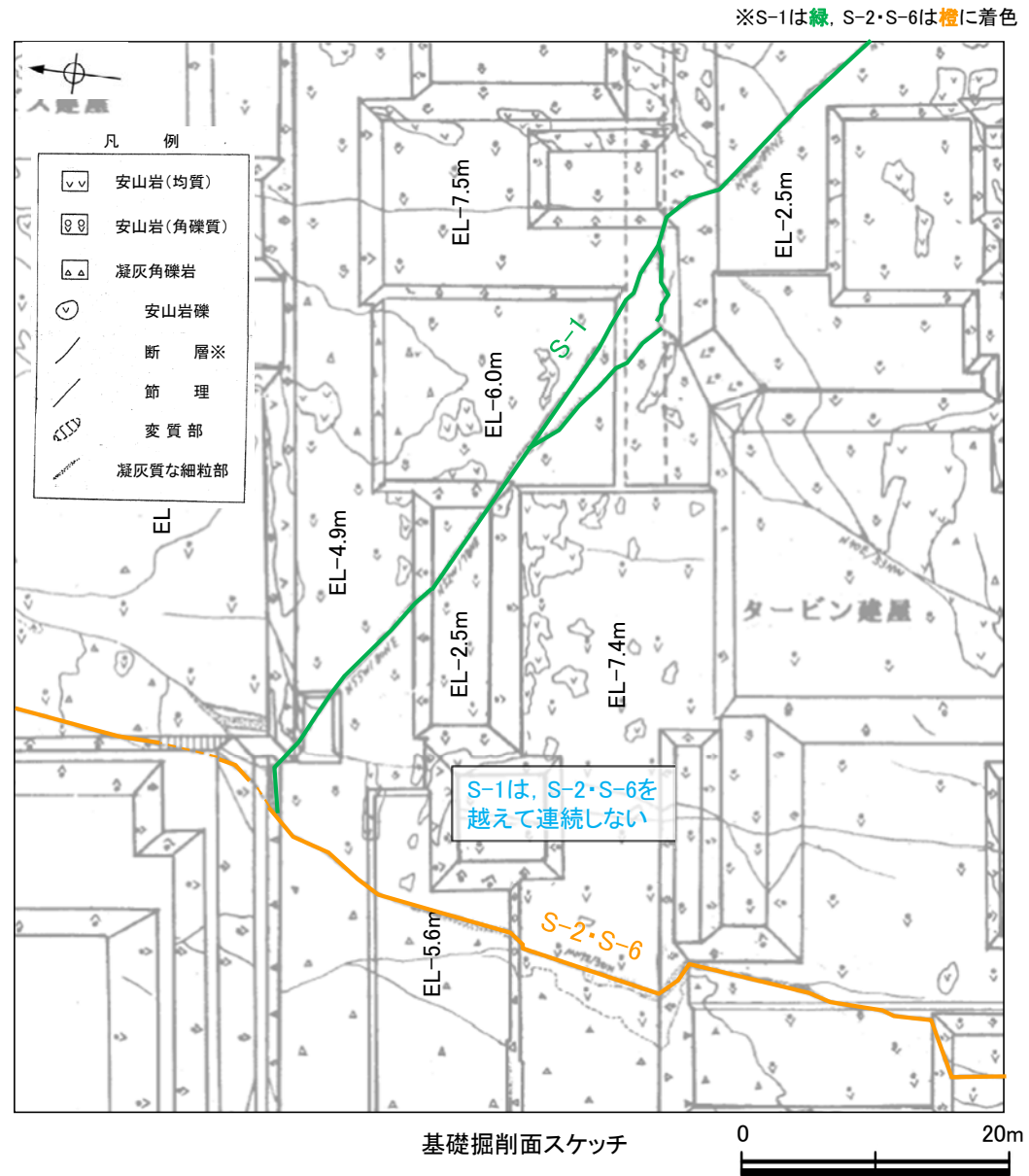
S-1は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(ボーリング断面P.2.3-3-28~30)

S-1とS-2・S-6の関係

○基礎掘削面において、S-1は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



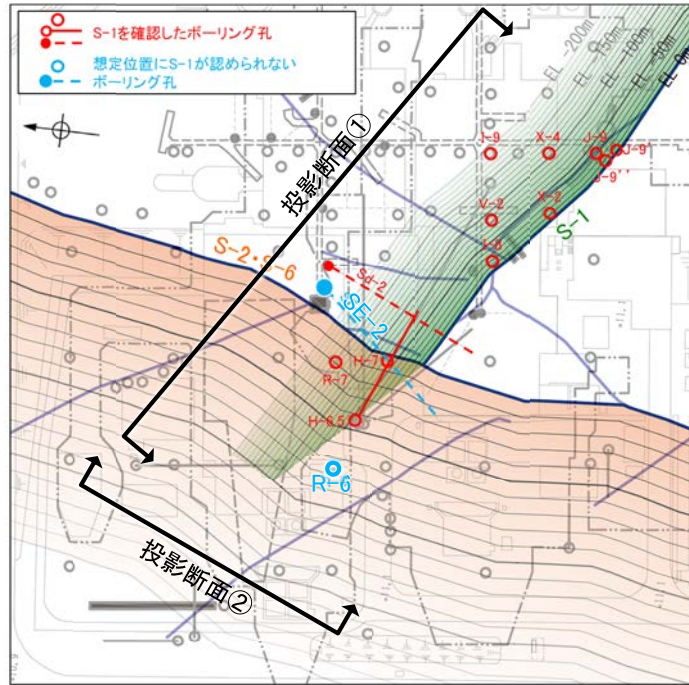
位置図



※S-1は緑、S-2・S-6は橙に着色

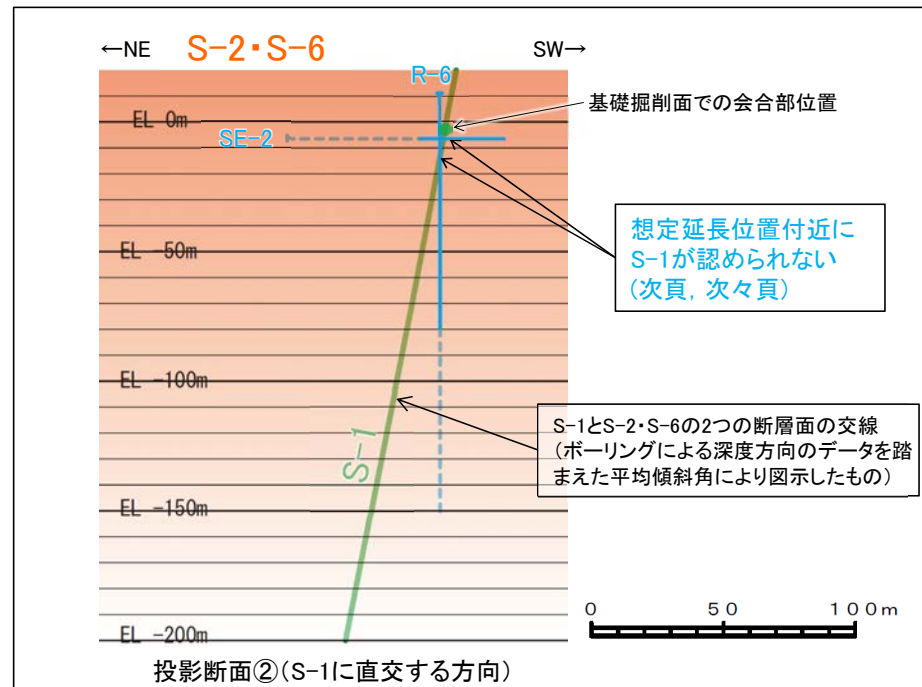
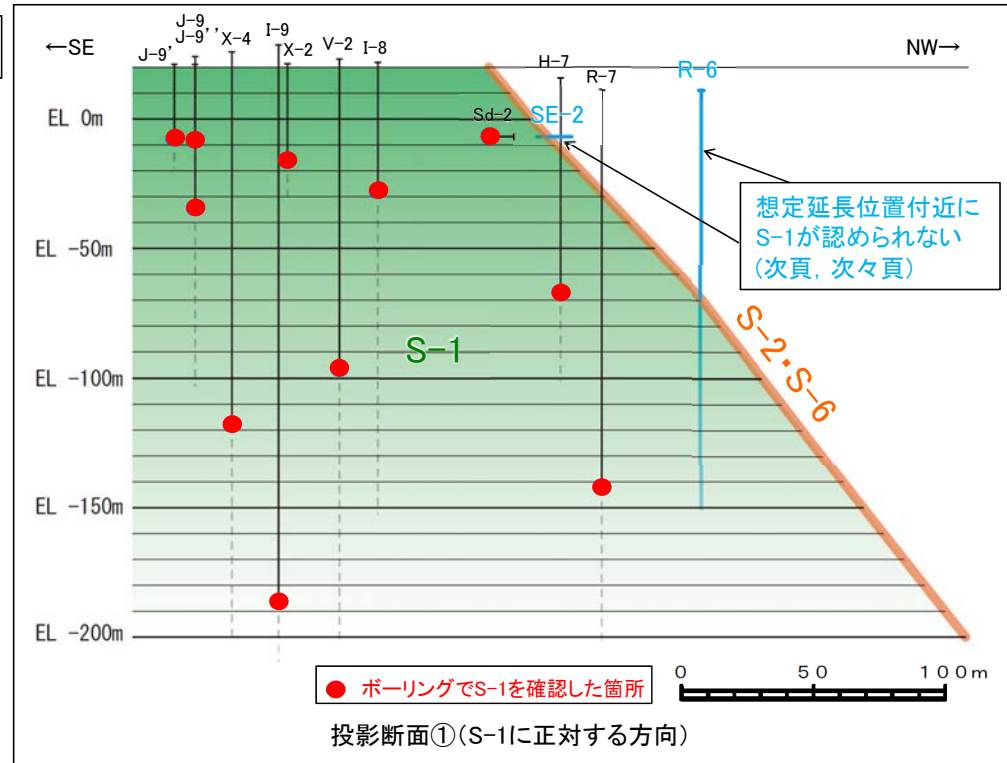
S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ –ボーリング断面①–

○ボーリング断面において、S-1は、S-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-1は、S-2・S-6断層面より北西側のSE-2孔及びR-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側へのみ認められる。



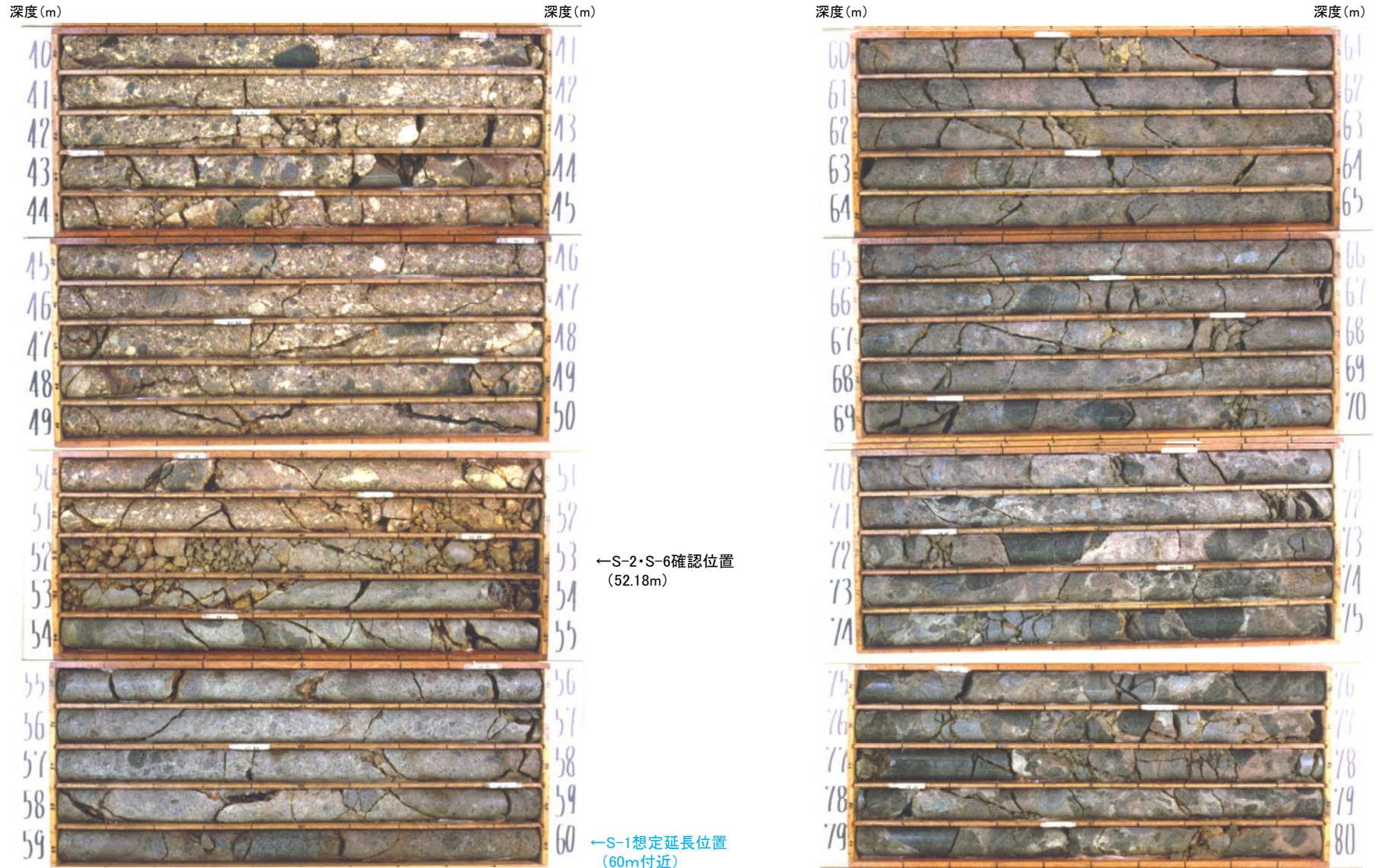
S-1とS-2・S-6の水平方向・深度方向のデータ ーボーリング断面②ー

■SE-2孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-2-113~115

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

SE-2孔(孔口標高-6.46m, 掘進長85.00m, 水平)



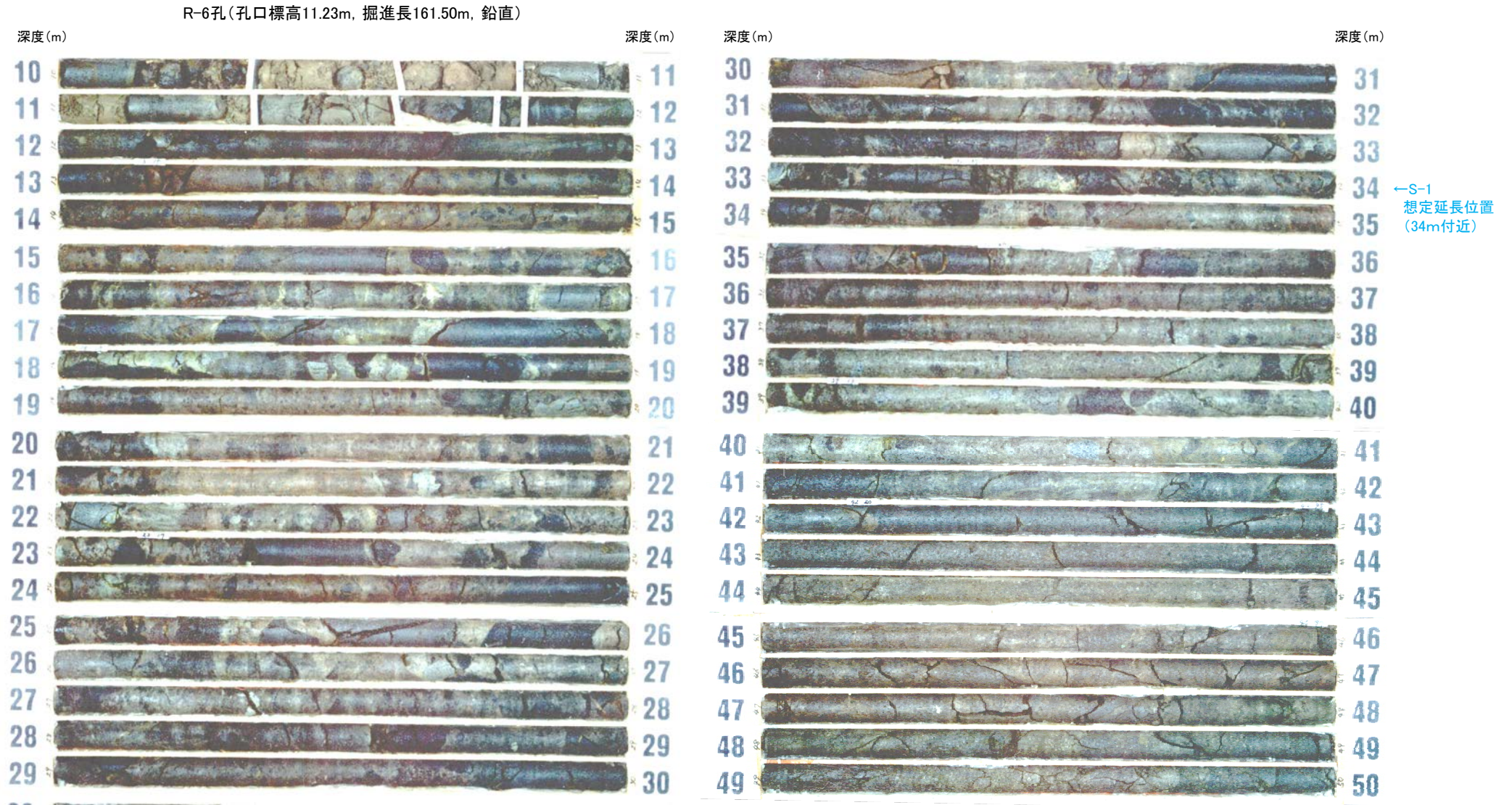
コア写真(深度40~80m)

SE-2孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

■R-6孔のS-1の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-2-108~112

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



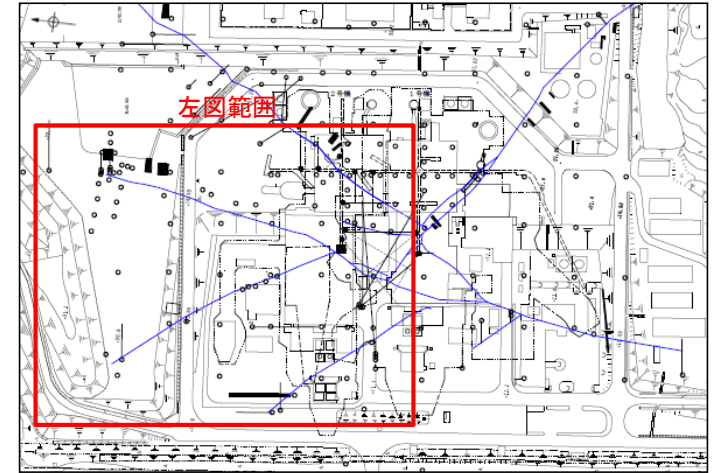
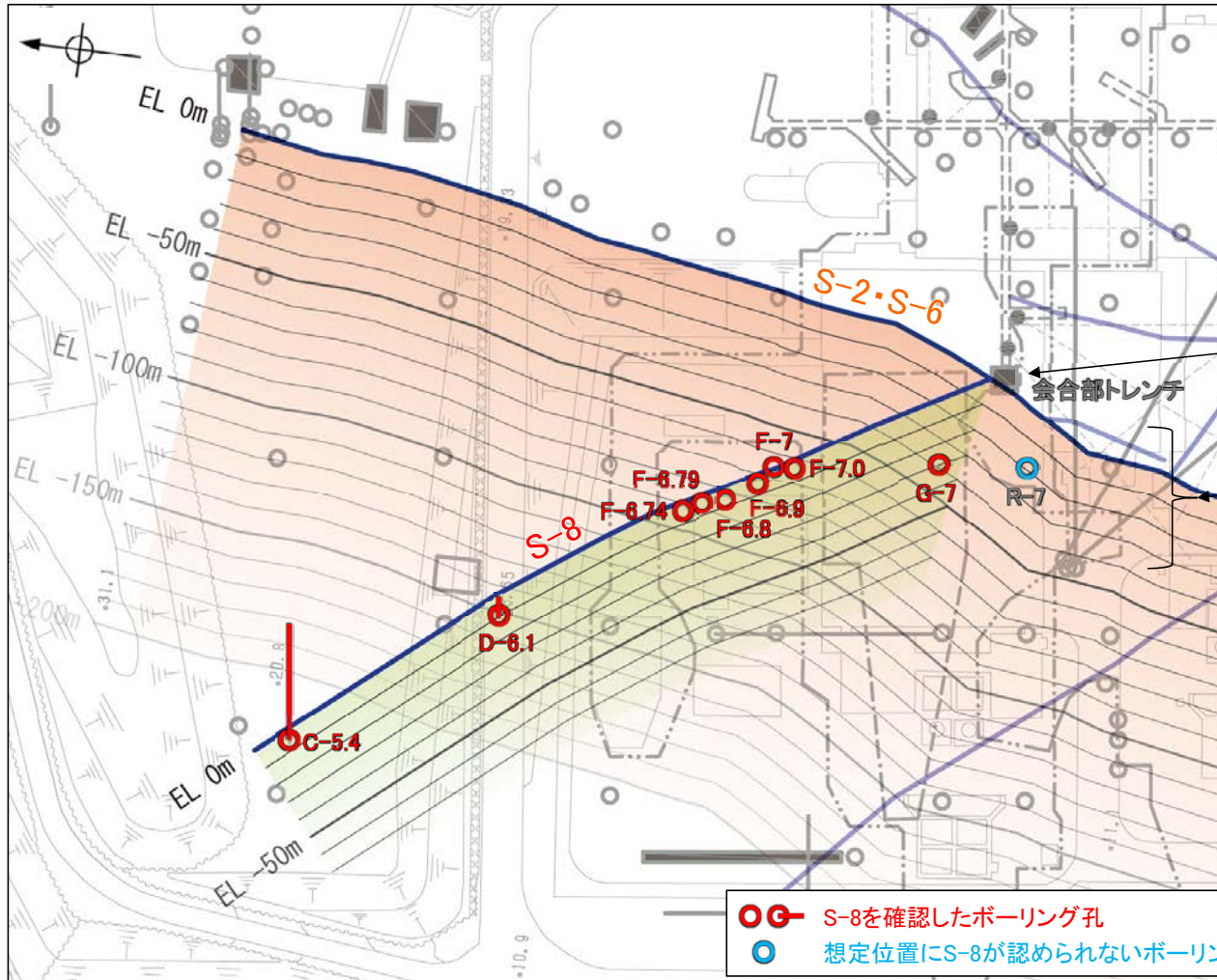
コア写真(深度10~50m)

R-6孔において、想定延長位置付近にS-1は認められない。

(6) S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とS-8の水平方向・深度方向のデータ

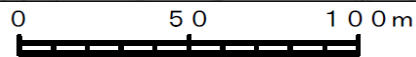
OS-8は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

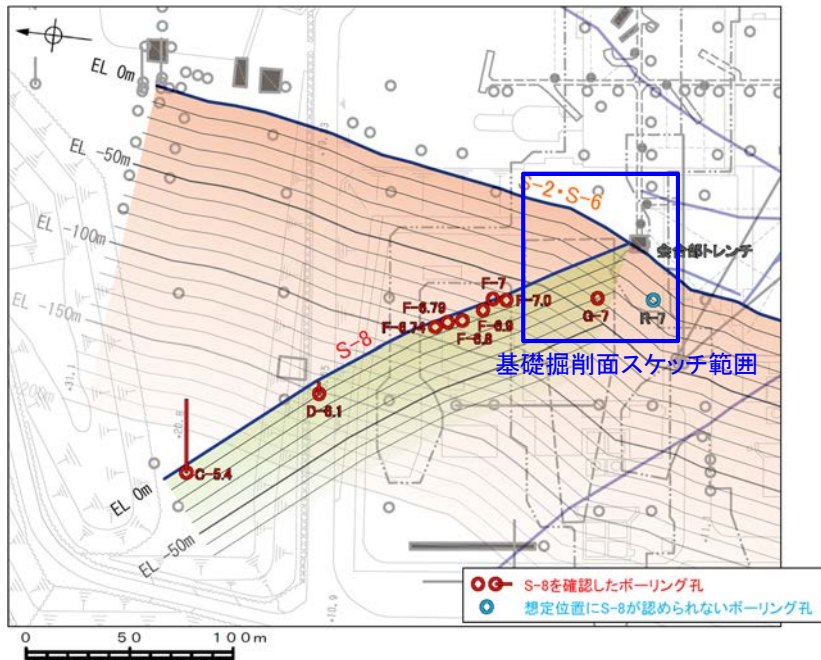
S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない(基礎掘削面P.2.3-3-33, 会合部トレンチP.2.3-3-34)

S-8は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない(ボーリング断面P.2.3-3-35・36)

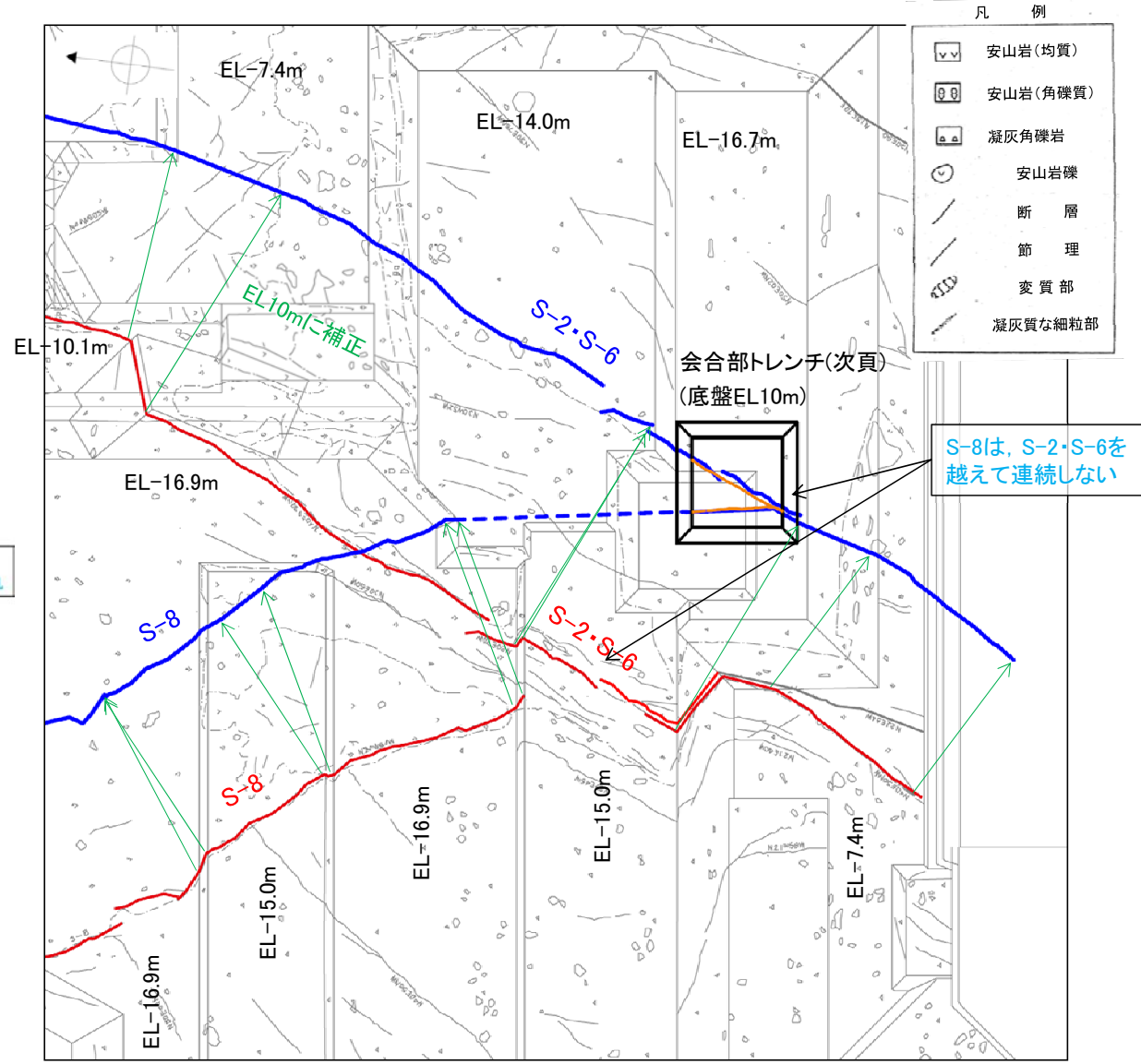


S-2・S-6とS-8の関係

○基礎掘削面において、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



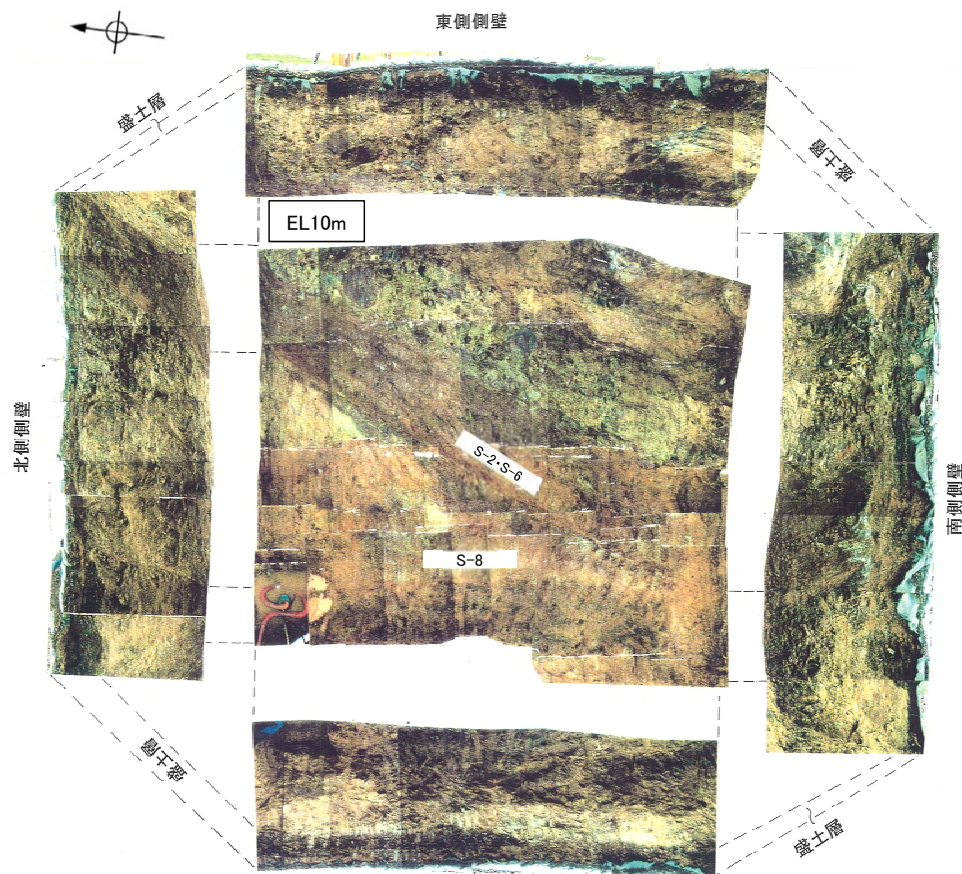
位置図



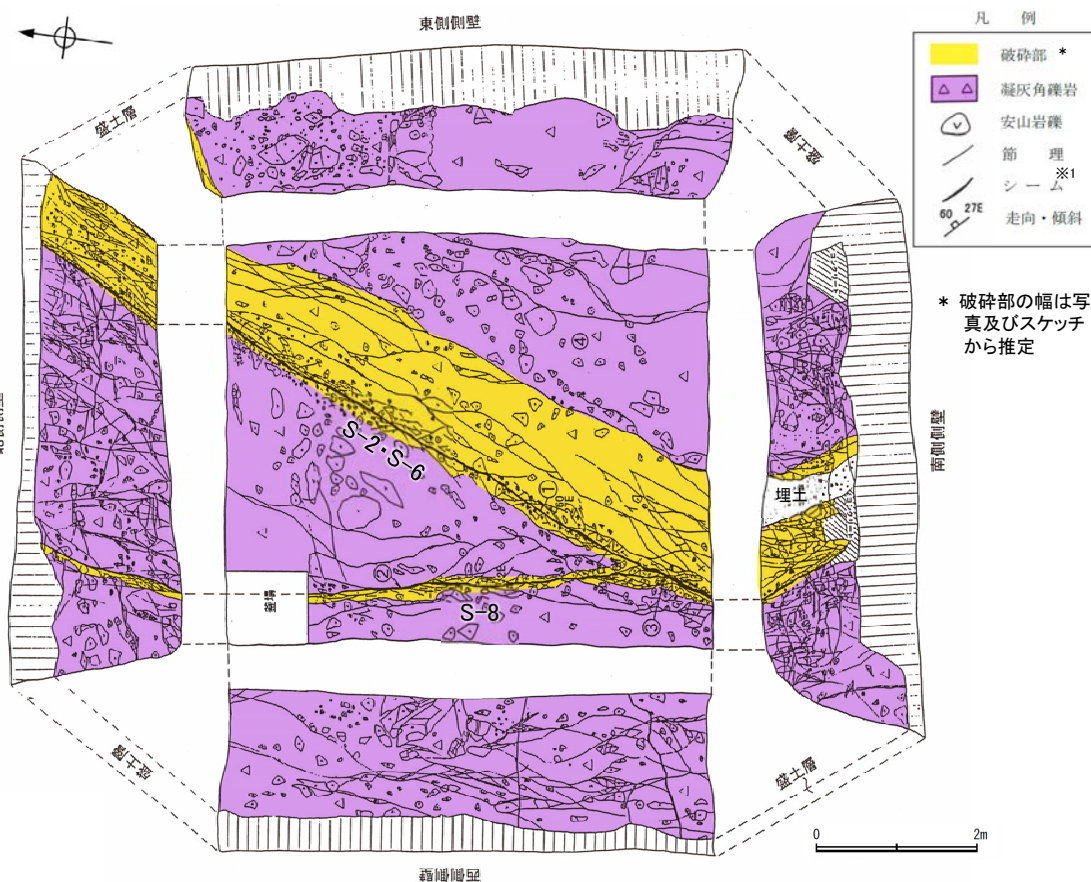
— 断層(EL10m盤トレース(投影)) 基礎掘削面スケッチ
— 断層(トレンチ底盤)
— 断層(基礎掘削面レベル)



○会合部トレンチにおいて、S-8は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



露崎側壁
トレンチ写真(展開図)



凡例

黄色	破碎部 *
紫△	凝灰角礫岩
○	安山岩礫
—	節理
—	シーム ※1
60 27E	走向・傾斜

* 破碎部の幅は写真及びスケッチから推定

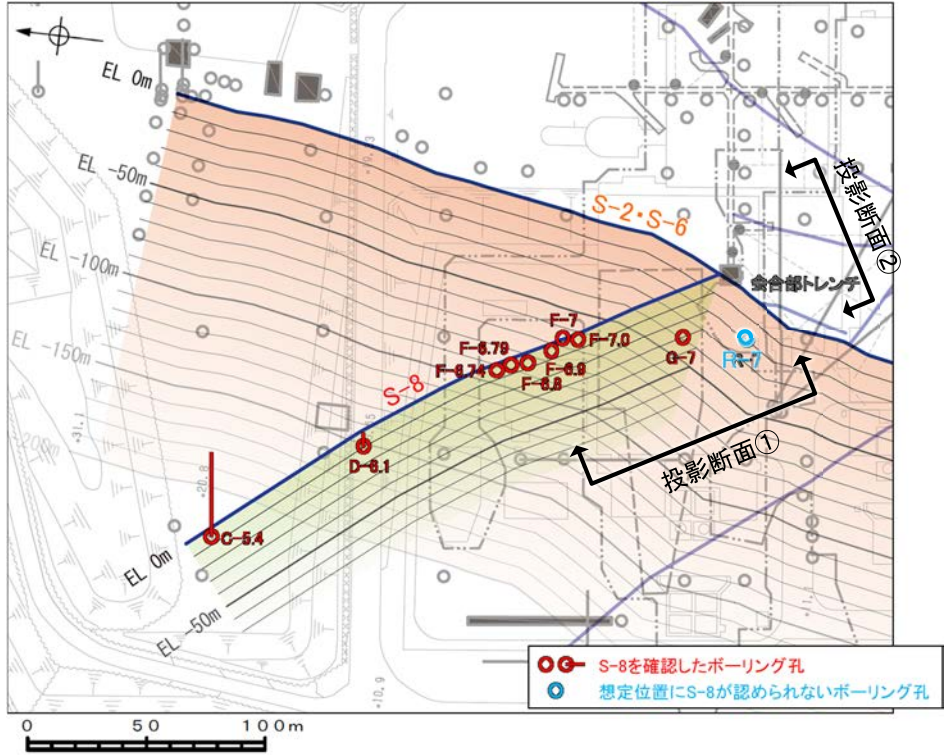
- ① S-2・S-6
厚さ0.5~5cmの赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。
走向・傾斜 N27° E/60° NW※2
(※2: N19° E/60° NW(真北補正))
比較的明瞭な面が直線的に連続している。
- ② S-8
厚さ0.5~1cmの暗赤褐色ないし黄褐色岩片混じり粘土からなり、シーム※1に接する面の一部には鏡肌・条線が認められる。
走向・傾斜 N2° E~N6° W/70° ~80° W※3
(※3: N6° W~N14° W/70° ~80° W(真北補正))

- ③ S-2・S-6とS-8の会合部
S-8はS-2・S-6に近づくにつれて、その走向方向がS-2・S-6の方向に近似するようになり、やがてはS-2・S-6に収束する。
- ④ 凝灰角礫岩
硬質礫の分布は少なく、全体的にやや軟質である。構成礫径は5~10cm大のものが多く、シーム※1に沿って幅1m程で全体に赤褐色を帯び、シーム※1にほぼ平行な節理が認められやや軟質である。部分的に黄白色礫が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。
「粘土状破碎部」に対応する。

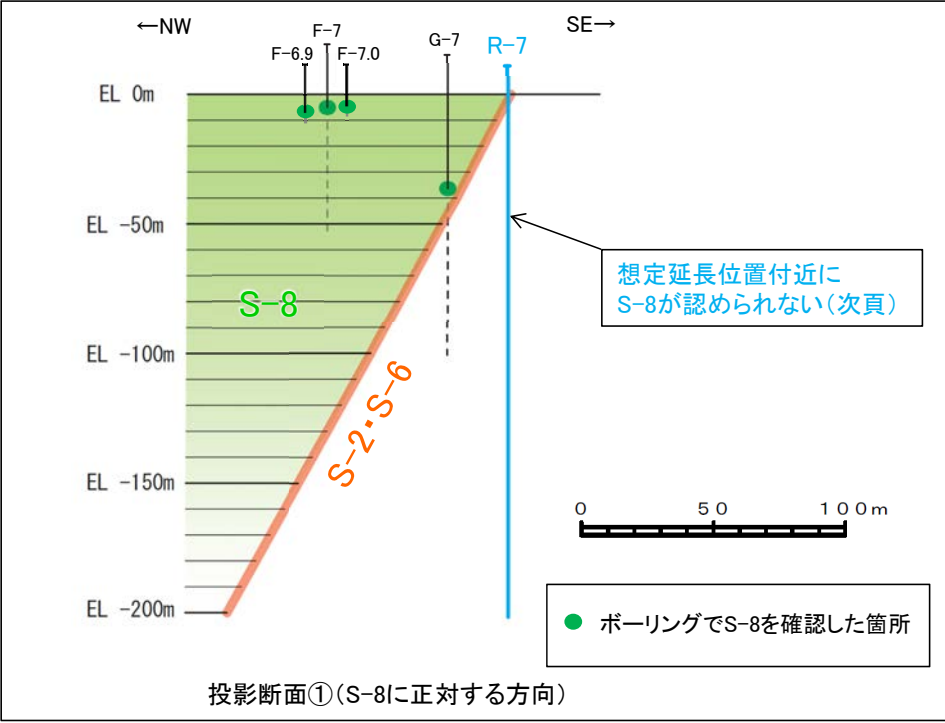
トレンチスケッチ(展開図)
S-2・S-6とS-8の会合部の状況

○ボーリング断面において、S-8は、S-2・S-6を越えて連続しない。

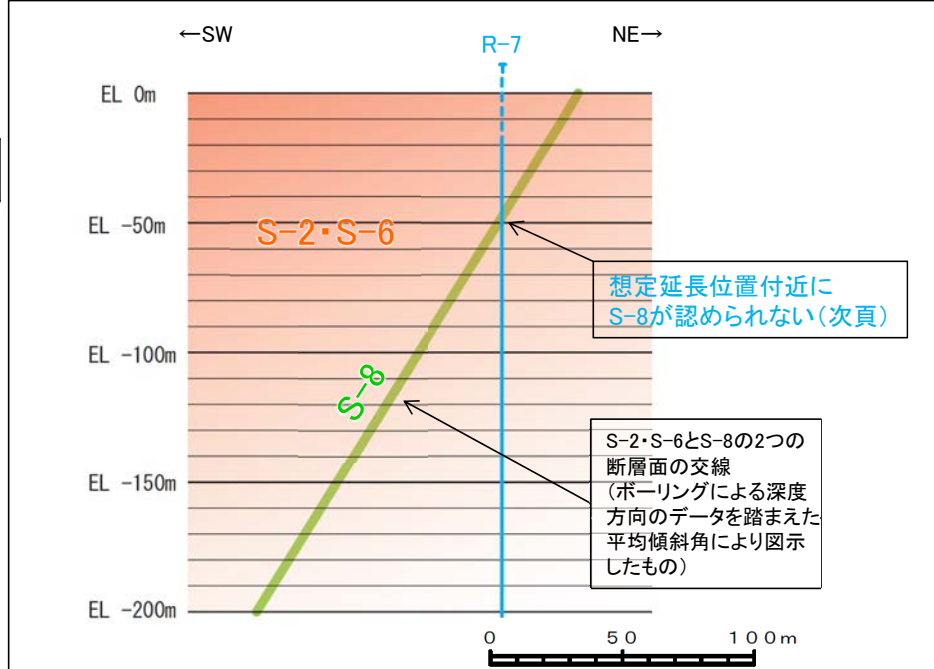


位置図

S-8は、S-2・S-6断層面より南東側のR-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。



投影断面①(S-8に正対する方向)



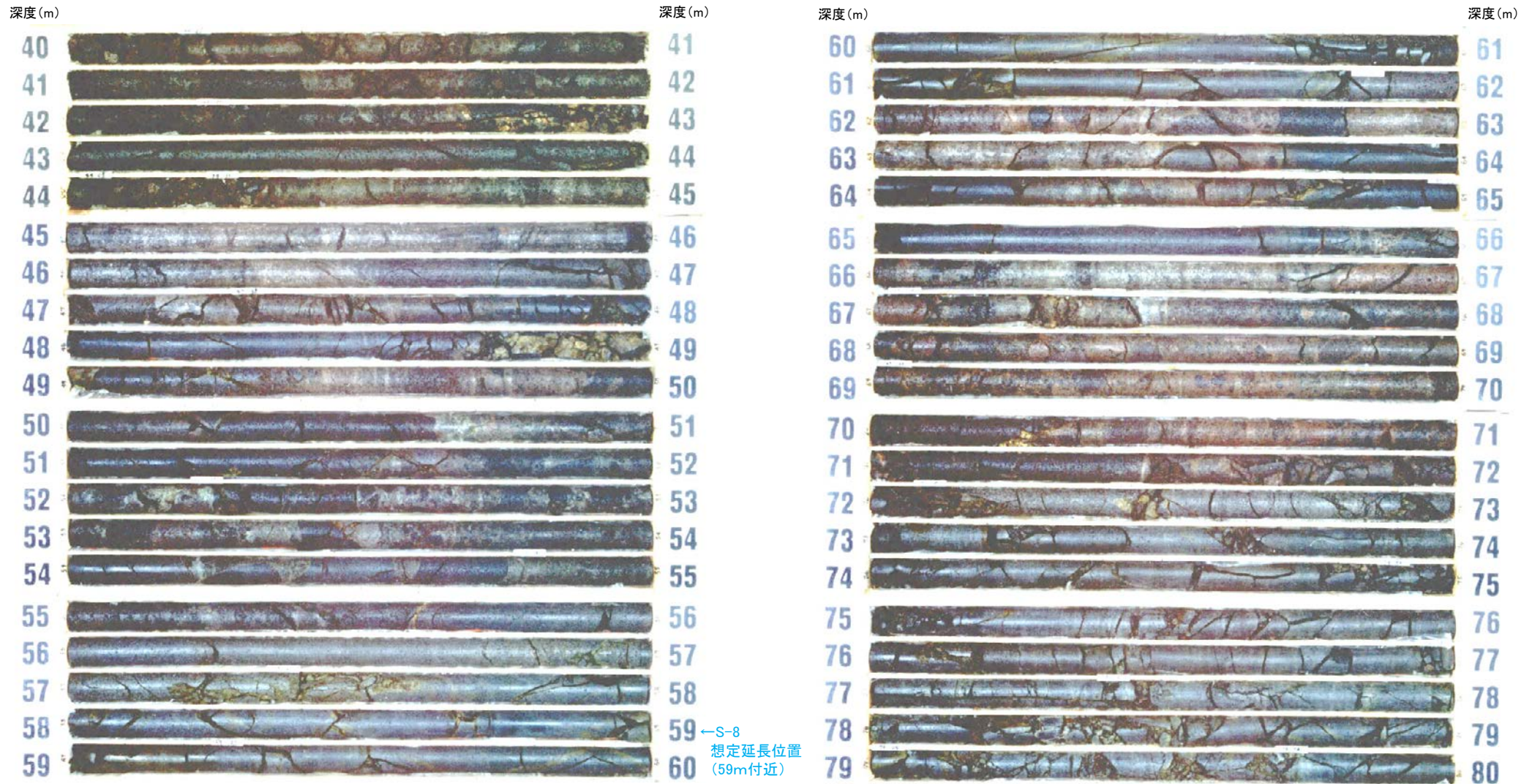
投影断面②(S-8に直交する方向)

ボーリング(R-7孔) S-8想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1 P.10-7-17~22

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整

R-7孔(孔口標高11.28m, 掘進長213.00m, 鉛直)



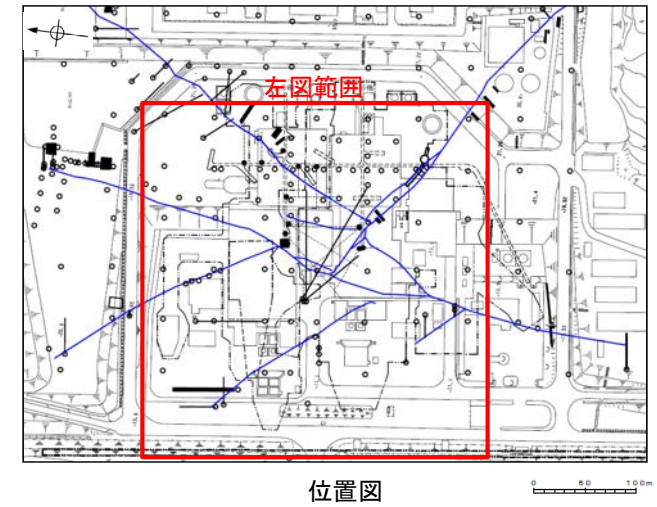
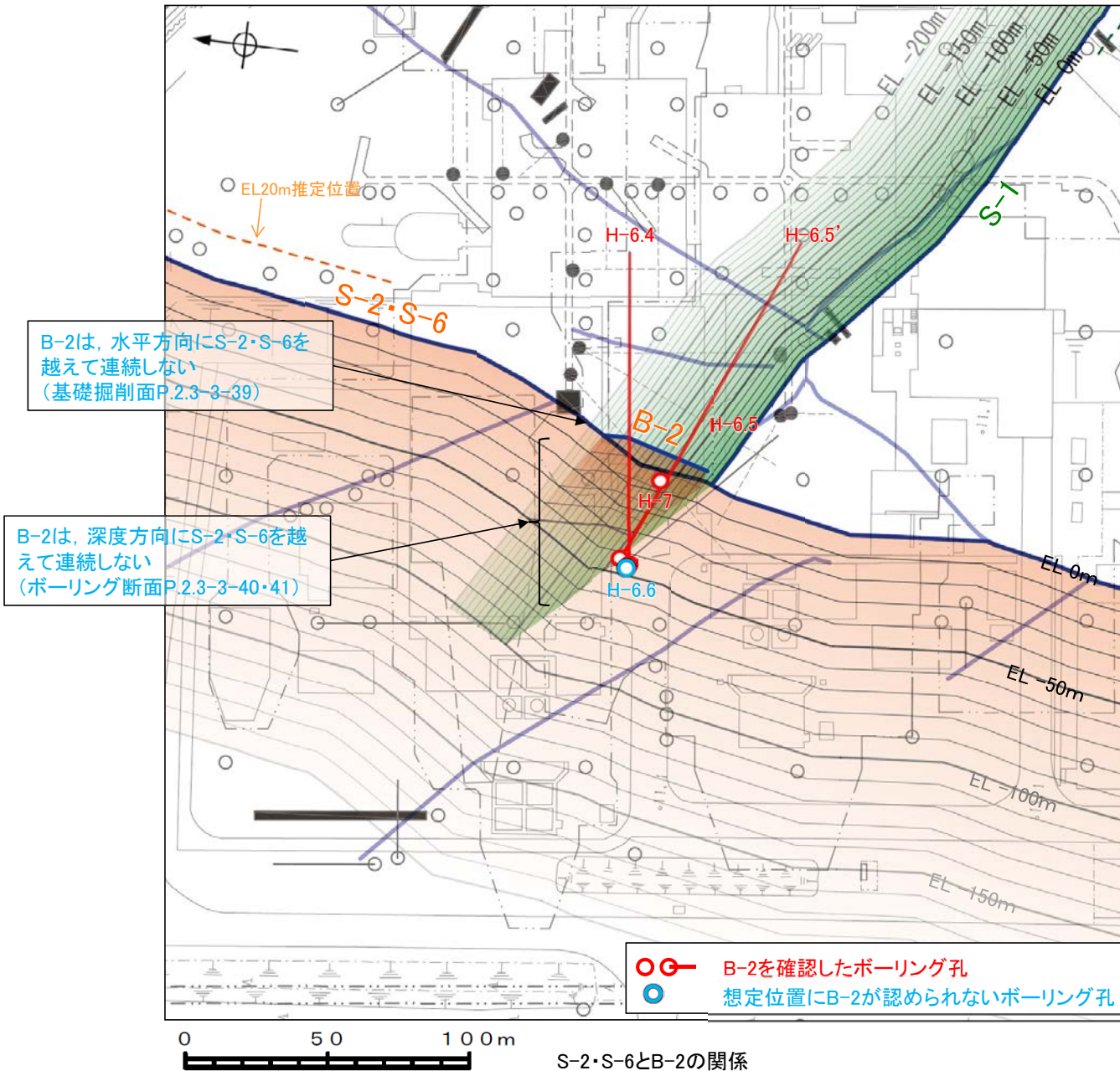
コア写真(深度40~80m)

R-7孔において、想定延長位置付近にS-8は認められない。

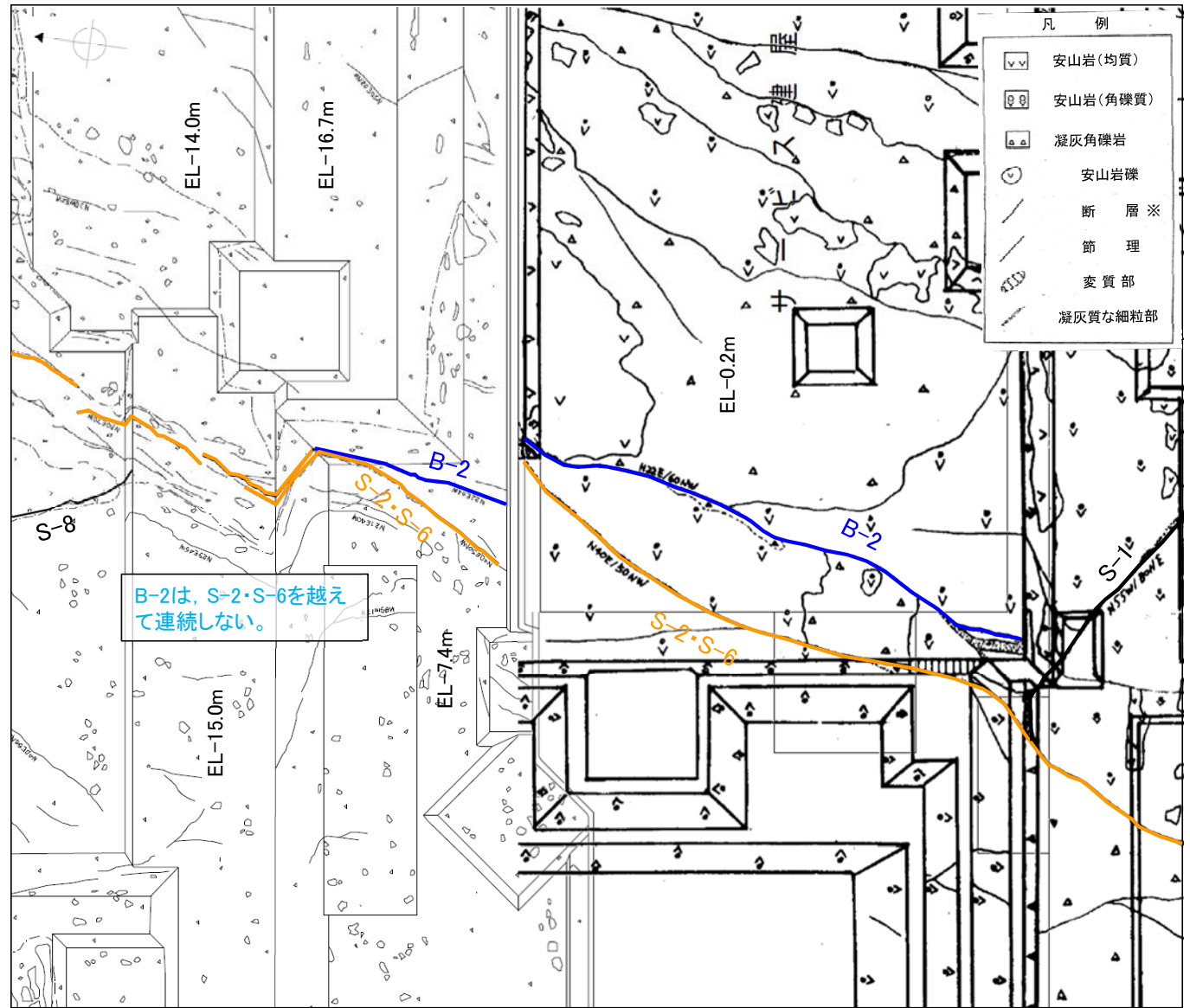
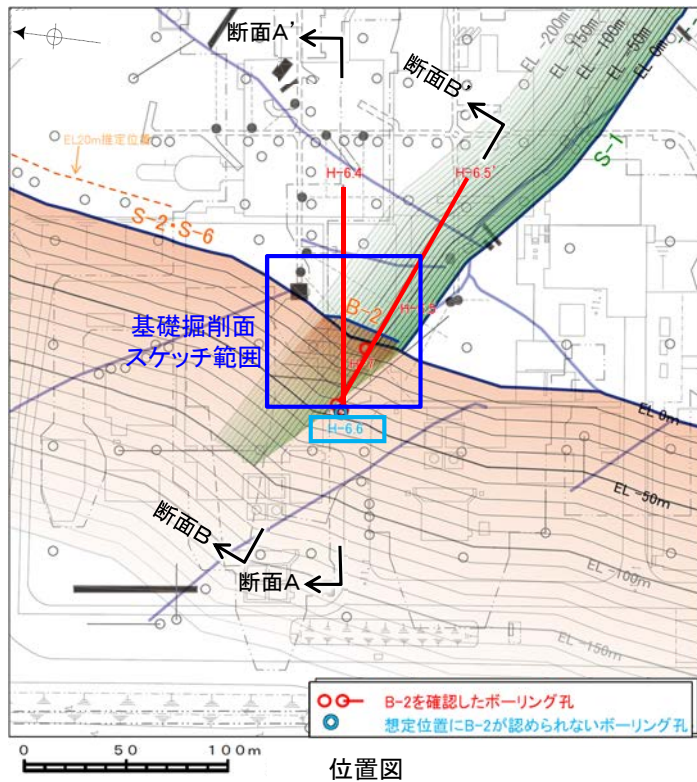
(7) S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とB-2の水平方向・深度方向のデータ

OB-2は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



○基礎掘削面において、B-2は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



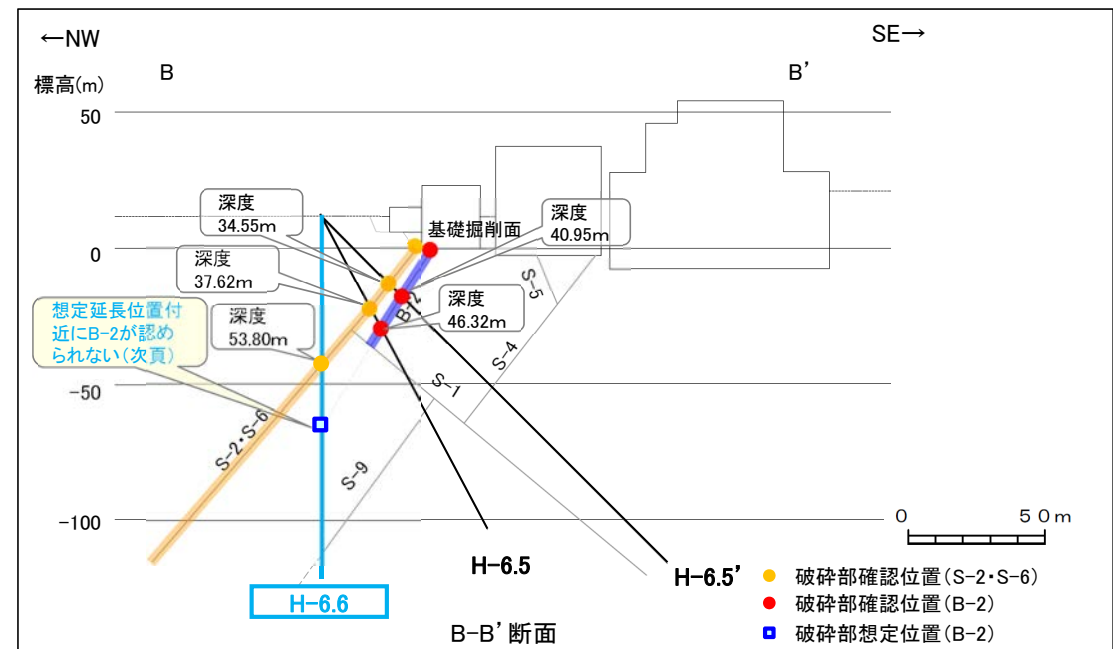
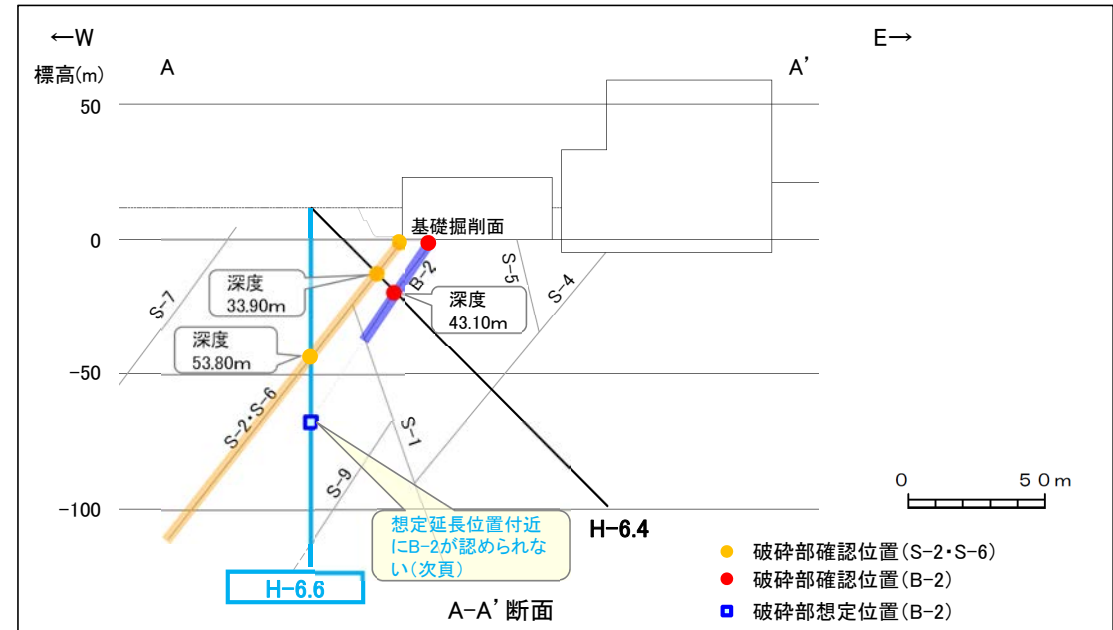
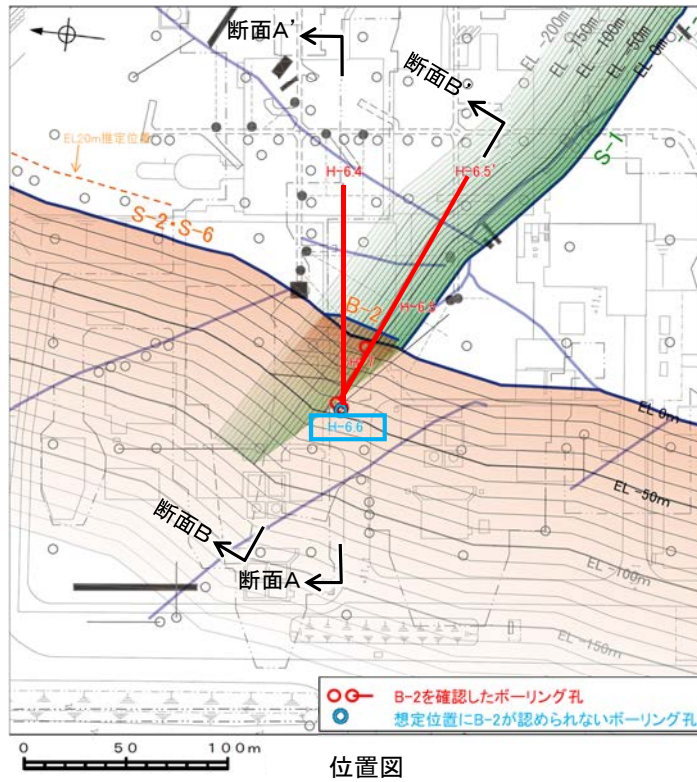
※B-2は青, S-2・S-6は橙に着色

凡 例

	安山岩(均質)
	安山岩(角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	断 層 ※
	節 理
	変 質 部
	凝灰質な細粒部

○ボーリング断面において、B-2は、S-2・S-6を越えて連続しない。

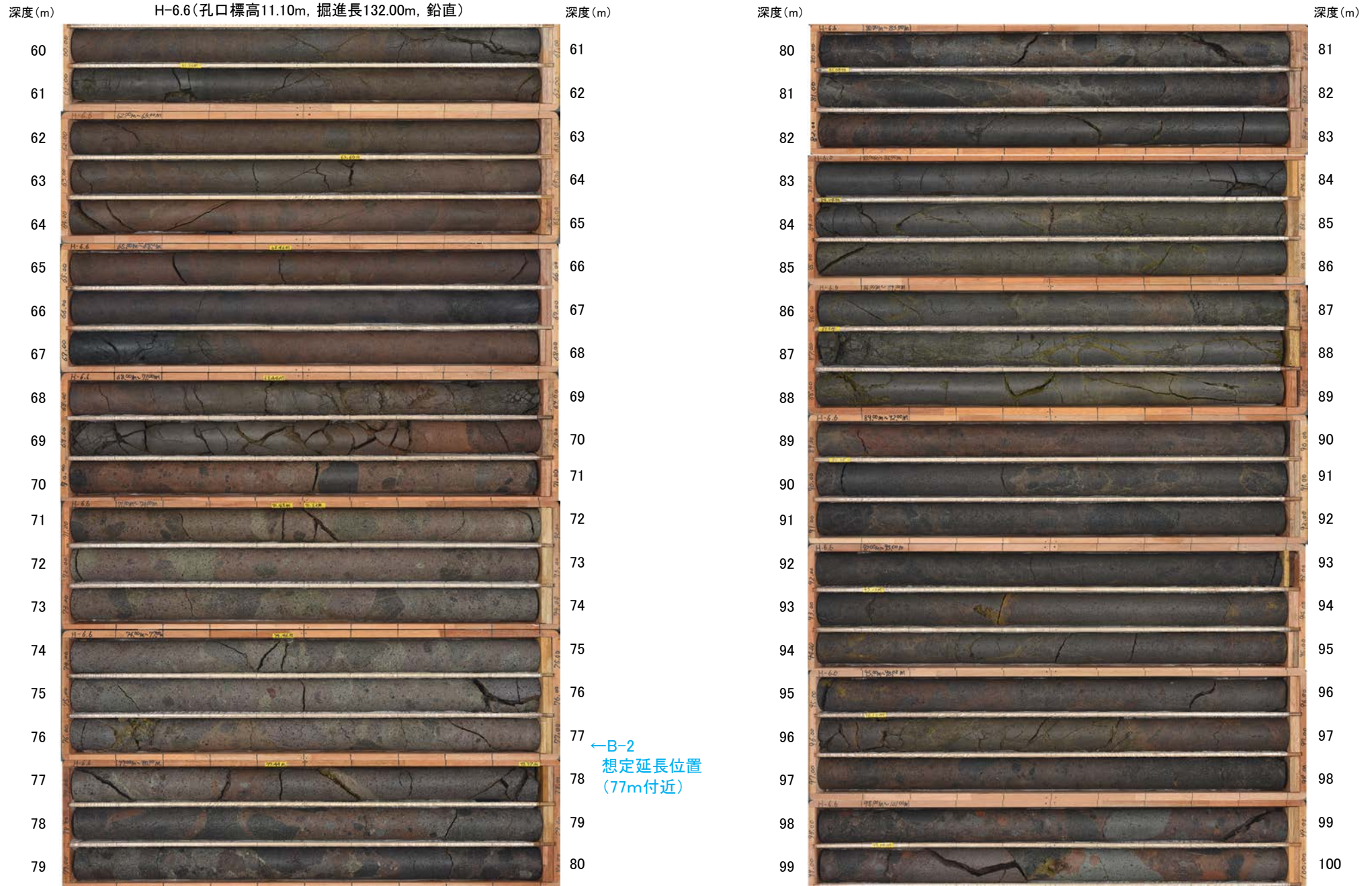
この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。



B-2は、ボーリングH-6.6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側のみ認められる。

ボーリング(H-6.6孔) B-2想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1 P.10-10-19~22



※深度77.60m付近に見られる割れ目は、その付近で変形構造は見られず、破砕部ではない。なお、走向傾斜はN33° E/59° SEであり、B-2と対応しない。

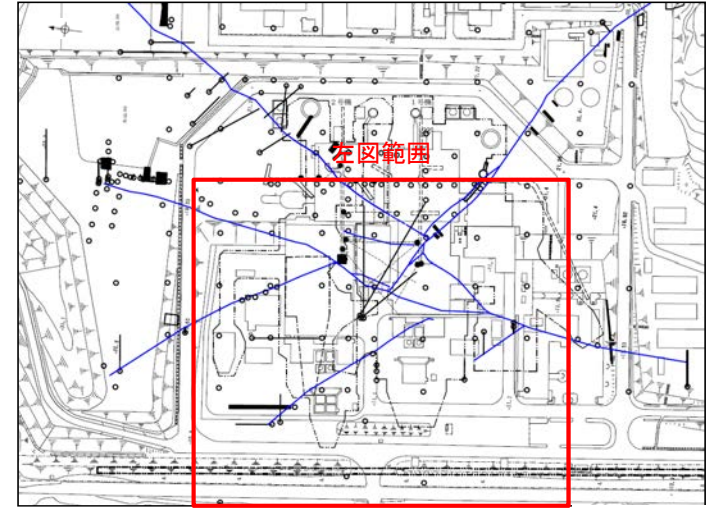
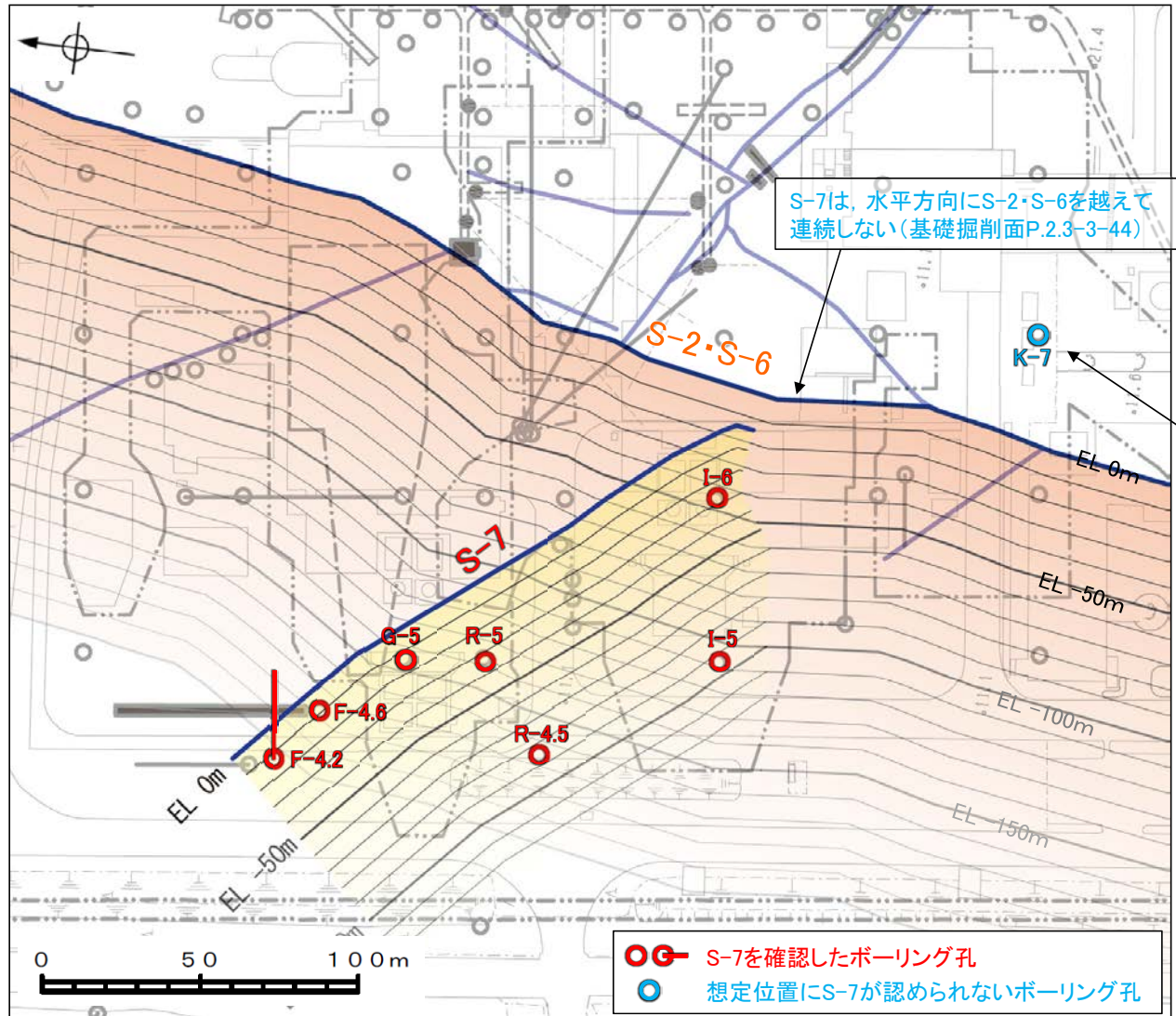
コア写真(深度60~100m)

H-6.6孔において、想定延長位置付近にB-2は認められない。

(8) S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とS-7の水平方向・深度方向のデータ

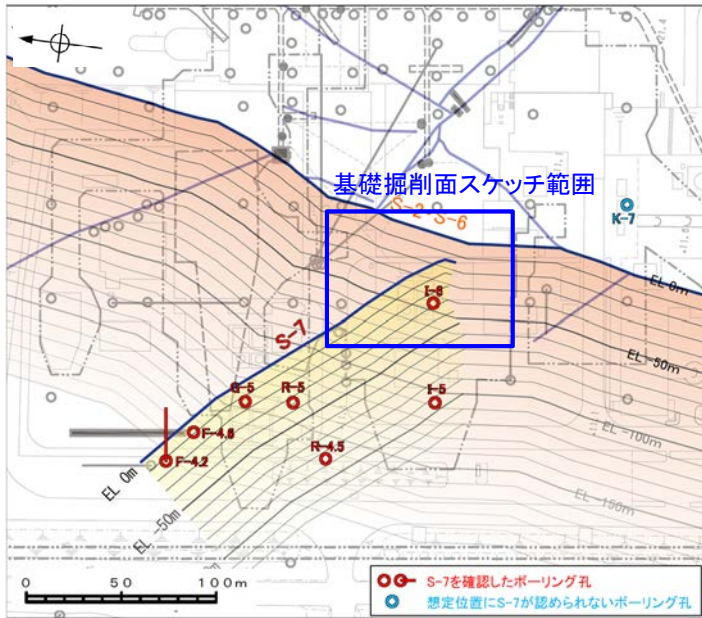
OS-7は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

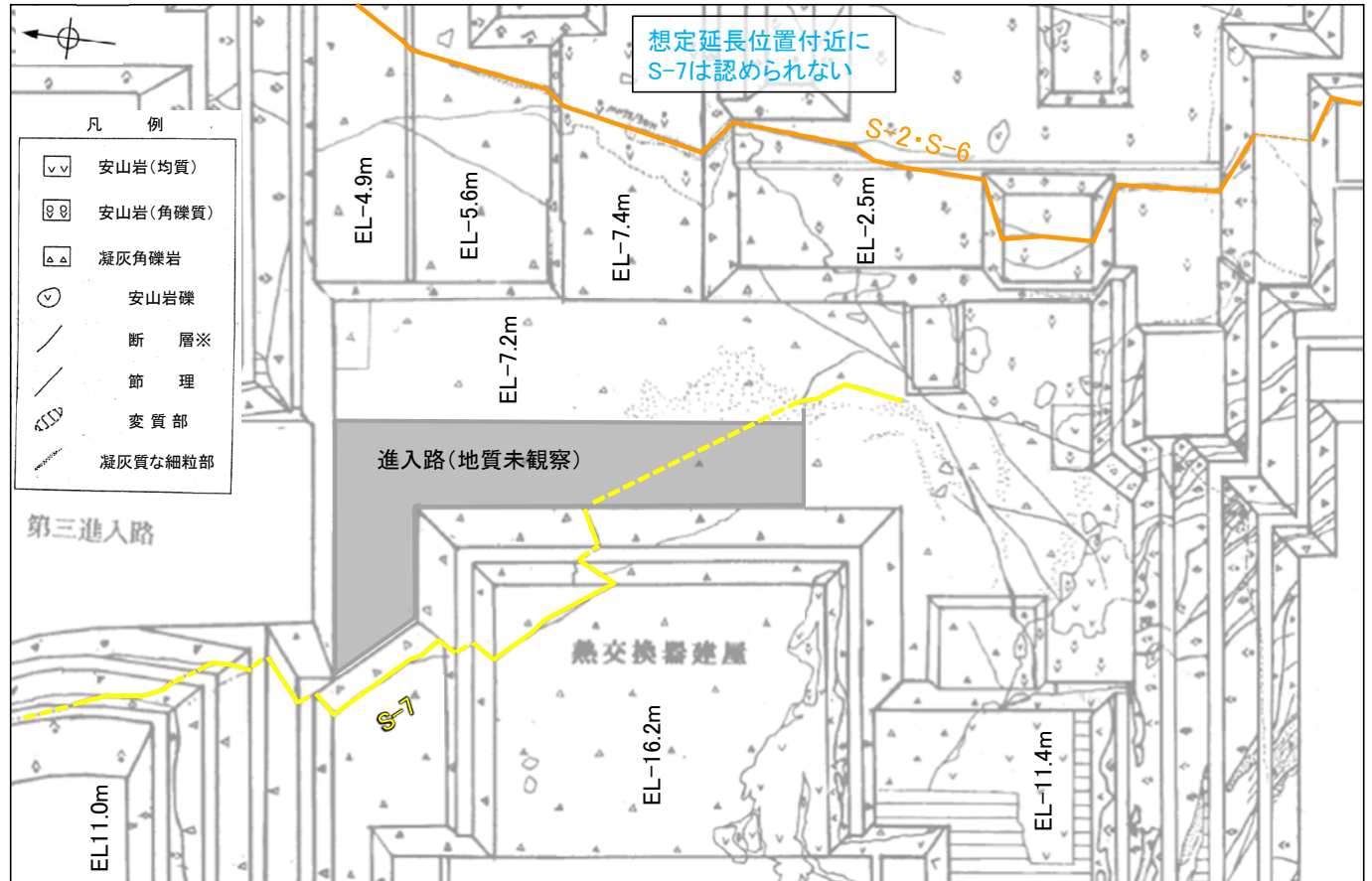
S-2・S-6とS-7の関係

○基礎掘削面において、S-7は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

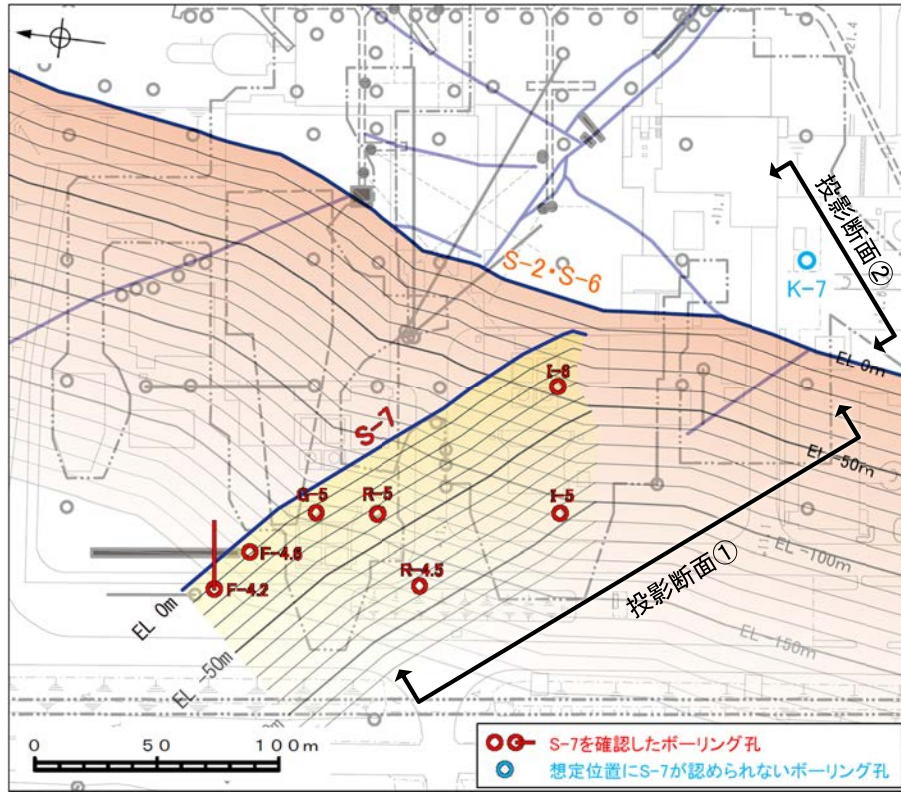
※S-7は黄, S-2・S-6は橙に着色



基礎掘削面スケッチ

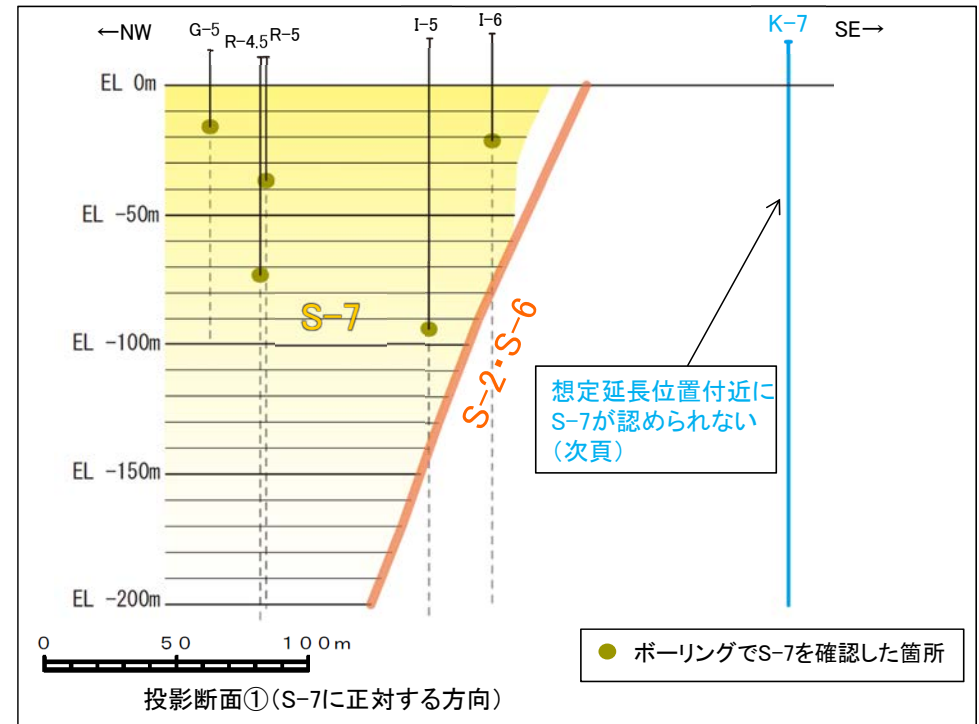


○ボーリング断面において、S-7は、S-2・S-6を越えて連続しない。

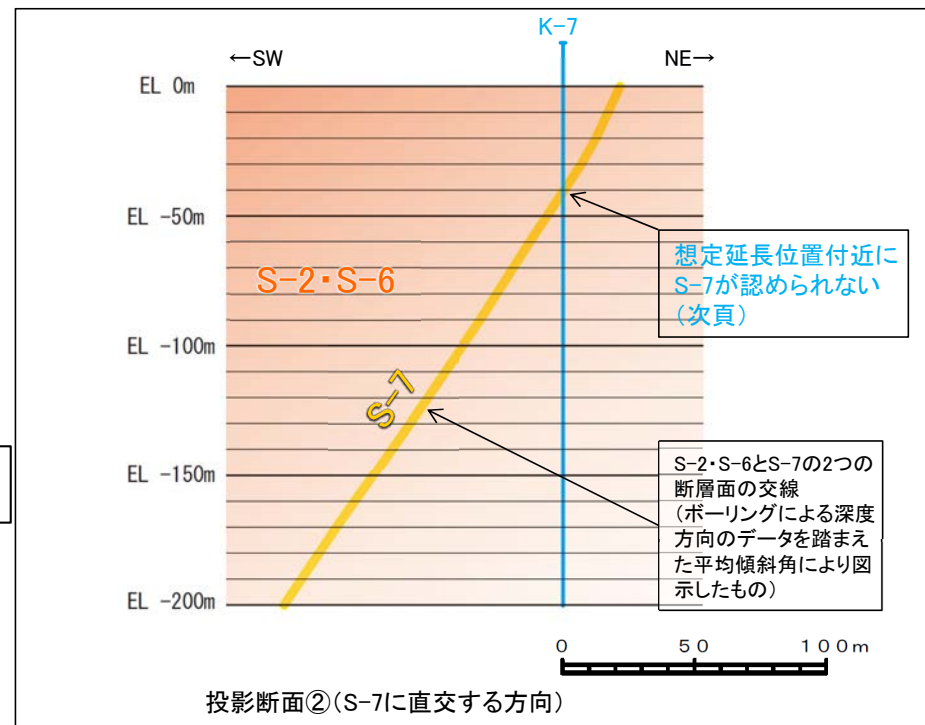


位置図

S-7は、S-2・S-6断層面より南東側のK-7孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より北西側にのみ認められる。



投影断面①(S-7に正対する方向)

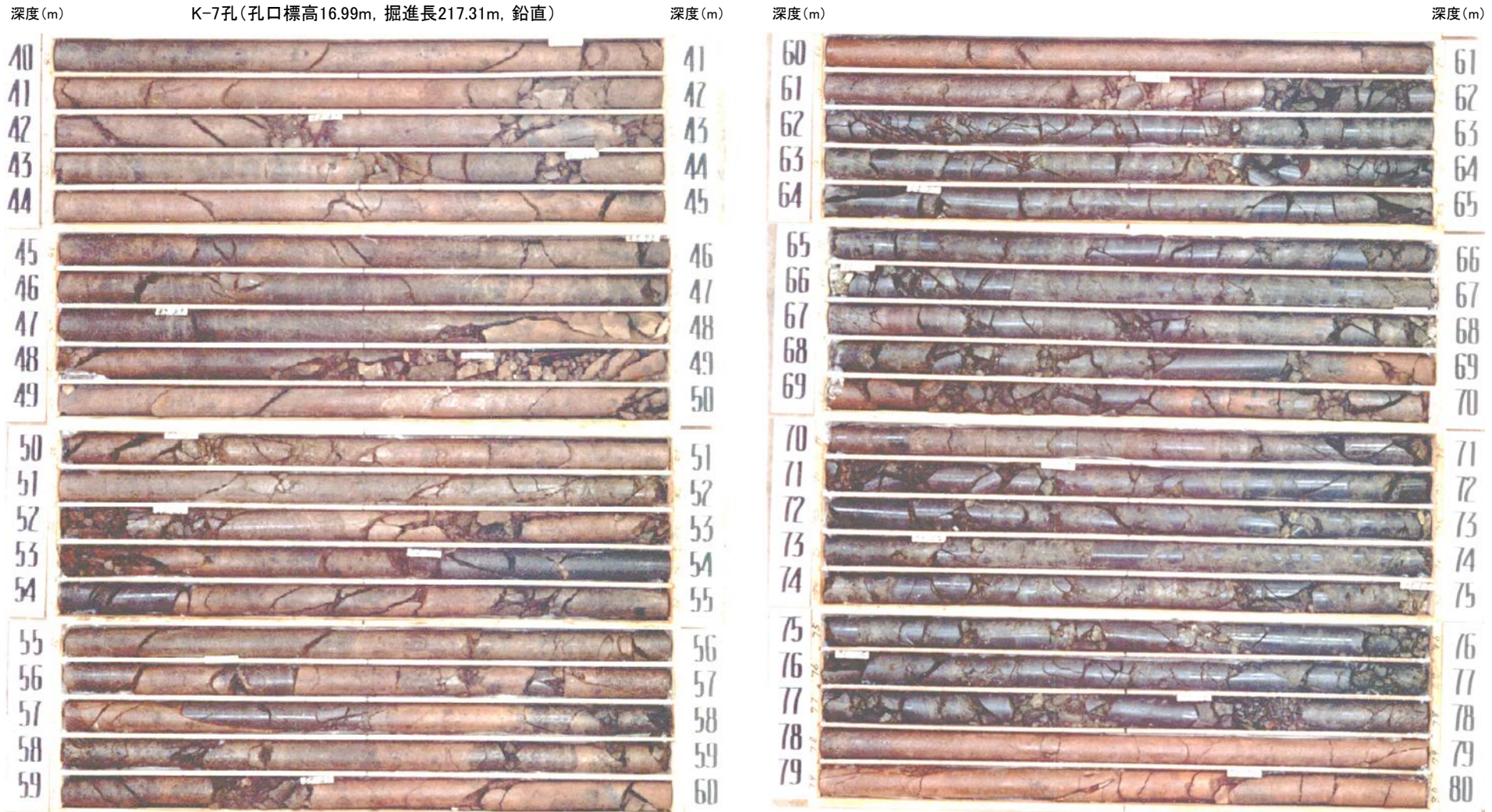


投影断面②(S-7に直交する方向)

ボーリング(K-7孔) S-7想定延長位置付近のコア写真

柱状図はデータ集1 P.10-6-40~45

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



コア写真(深度40~80m)

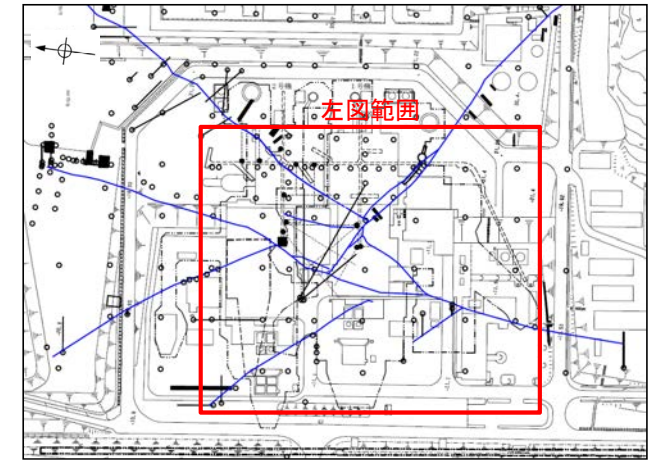
※ 61.7m付近に岩種境界が認められるが、その境界を含め、想定延長位置付近には破碎部は認められない。

K-7孔において、想定延長位置付近にS-7は認められない。

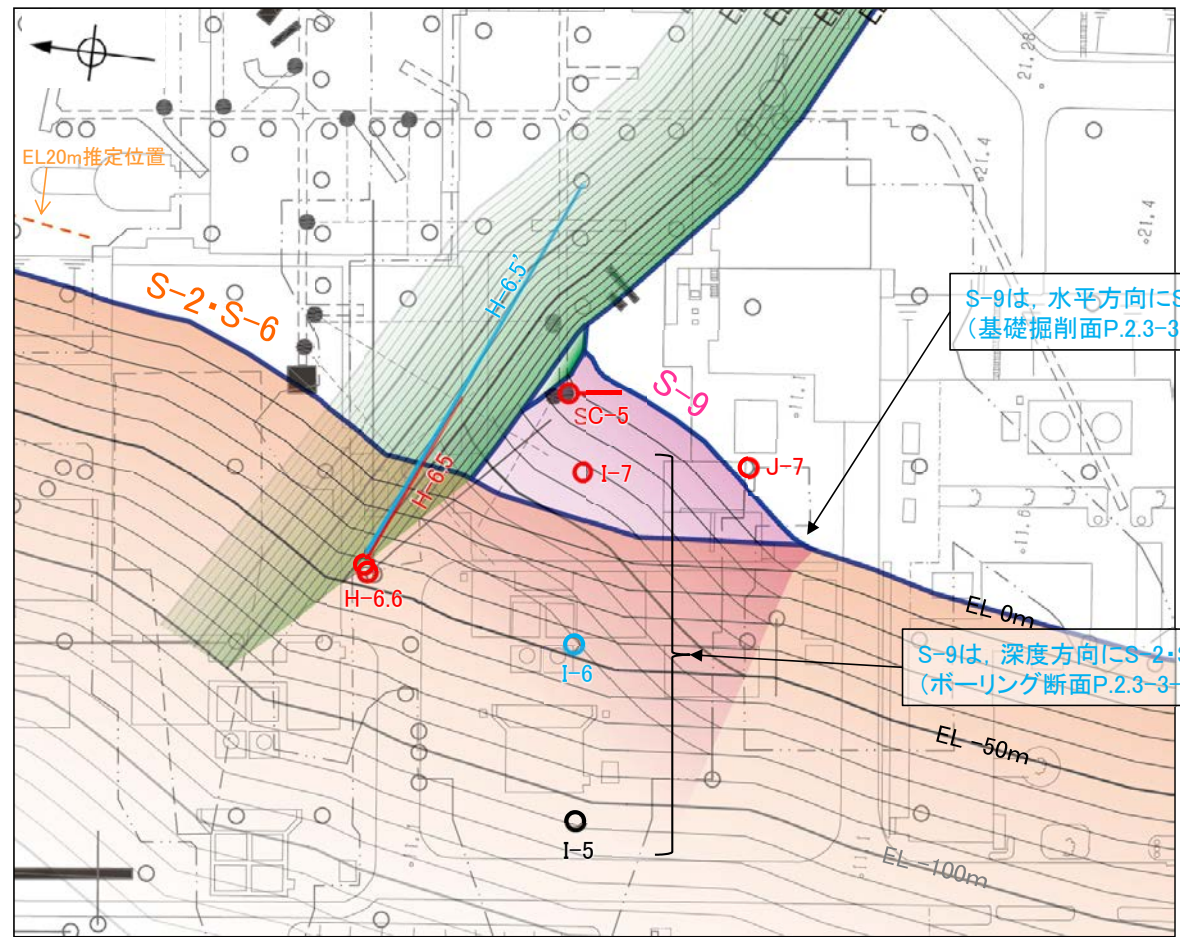
(9) S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とS-9の水平方向・深度方向のデータ

OS-9は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

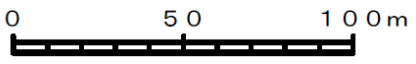


位置図



S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(基礎掘削面P.2.3-3-49)

S-9は、深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない
(ボーリング断面P.2.3-3-50・51)

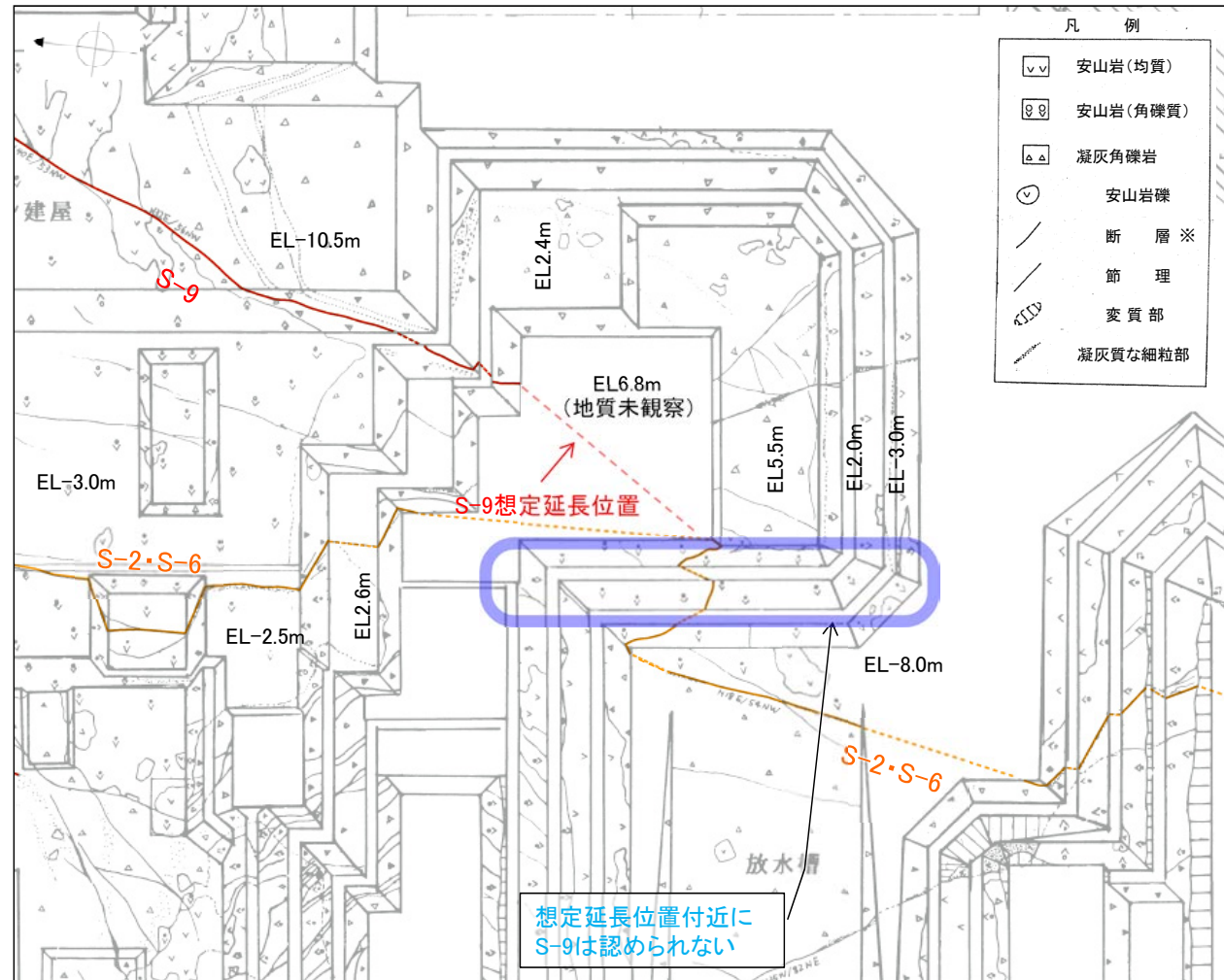
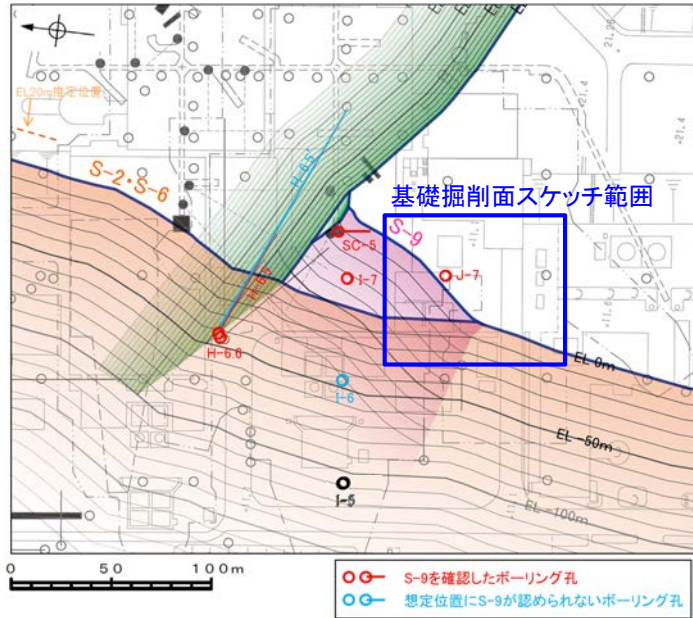


- S-9を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

S-2・S-6とS-9の関係

○基礎掘削面において、S-9は、水平方向にS-2・S-6を越えて連続しない。

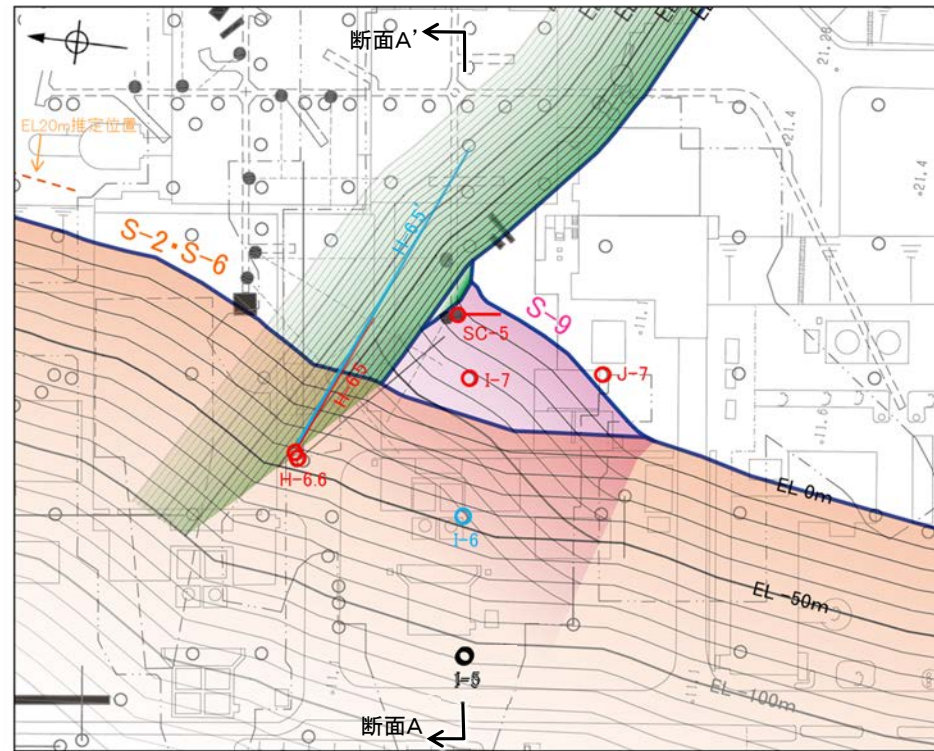
※: S-9は赤, S-2・S-6は橙に着色



基礎掘削面スケッチ



○ボーリング断面において、S-9は、S-2・S-6を越えて連続しない。

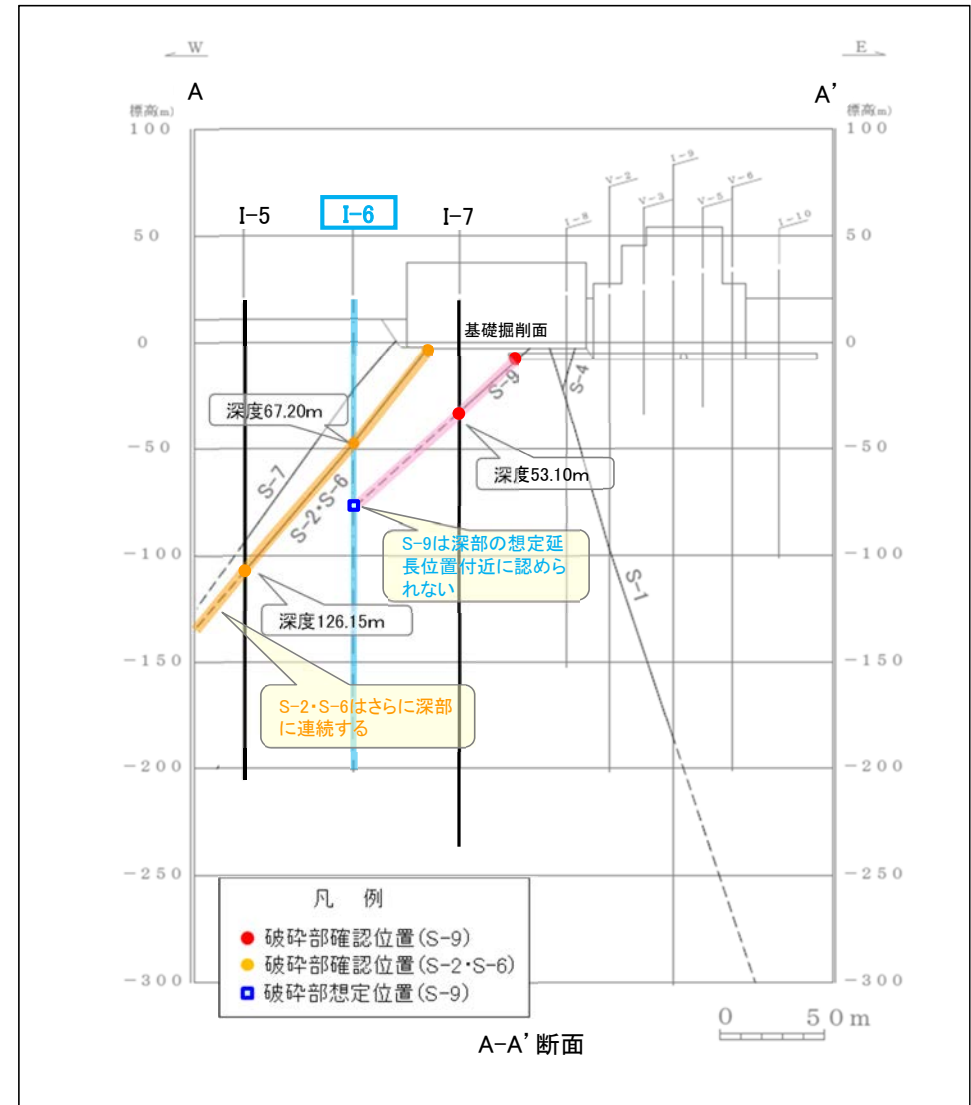


- S-9を確認したボーリング孔
- 想定位置にS-9が認められないボーリング孔

断面位置

位置図

S-9は、ボーリングI-6孔において想定延長位置付近に認められず、S-2・S-6断層面より南東側にのみ認められる。



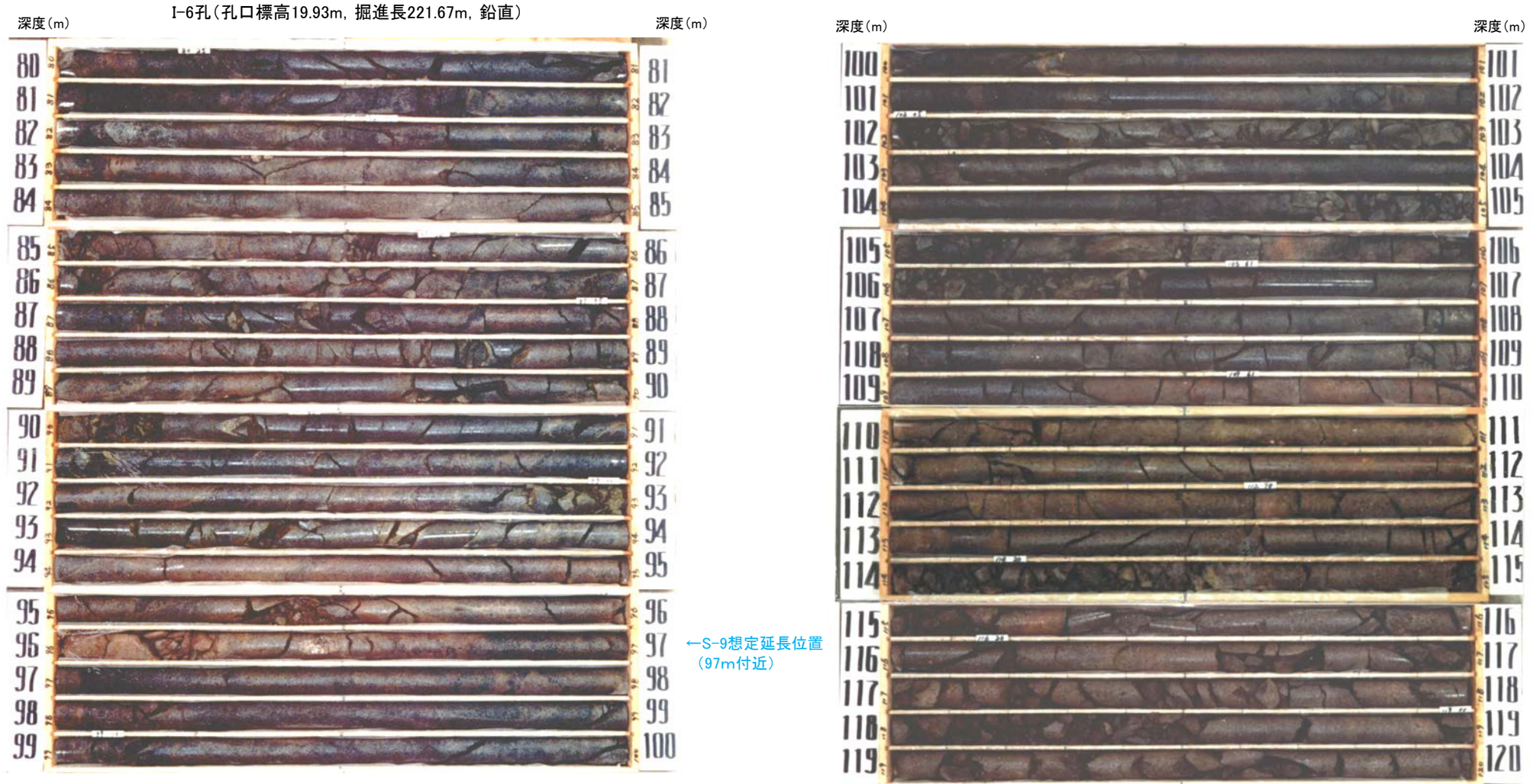
A-A' 断面

この図の断層線は、周辺ボーリングでの出現位置を基に直線的に描いている。

■I-6孔のS-9の想定延長位置付近のコア写真を示す。

柱状図はデータ集1 P.10-8-26～31

この写真は、層相の判断を行うため、明度を調整



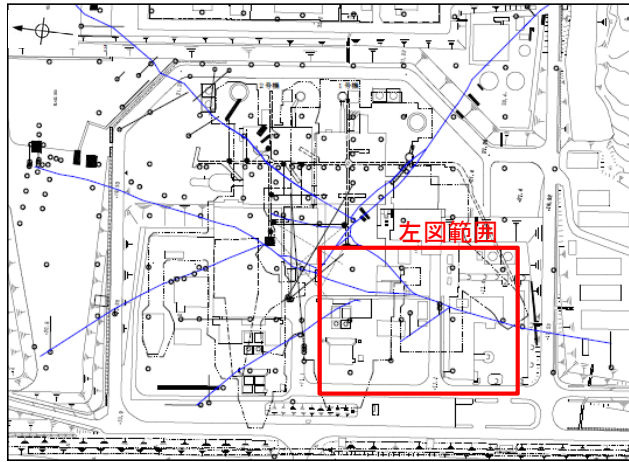
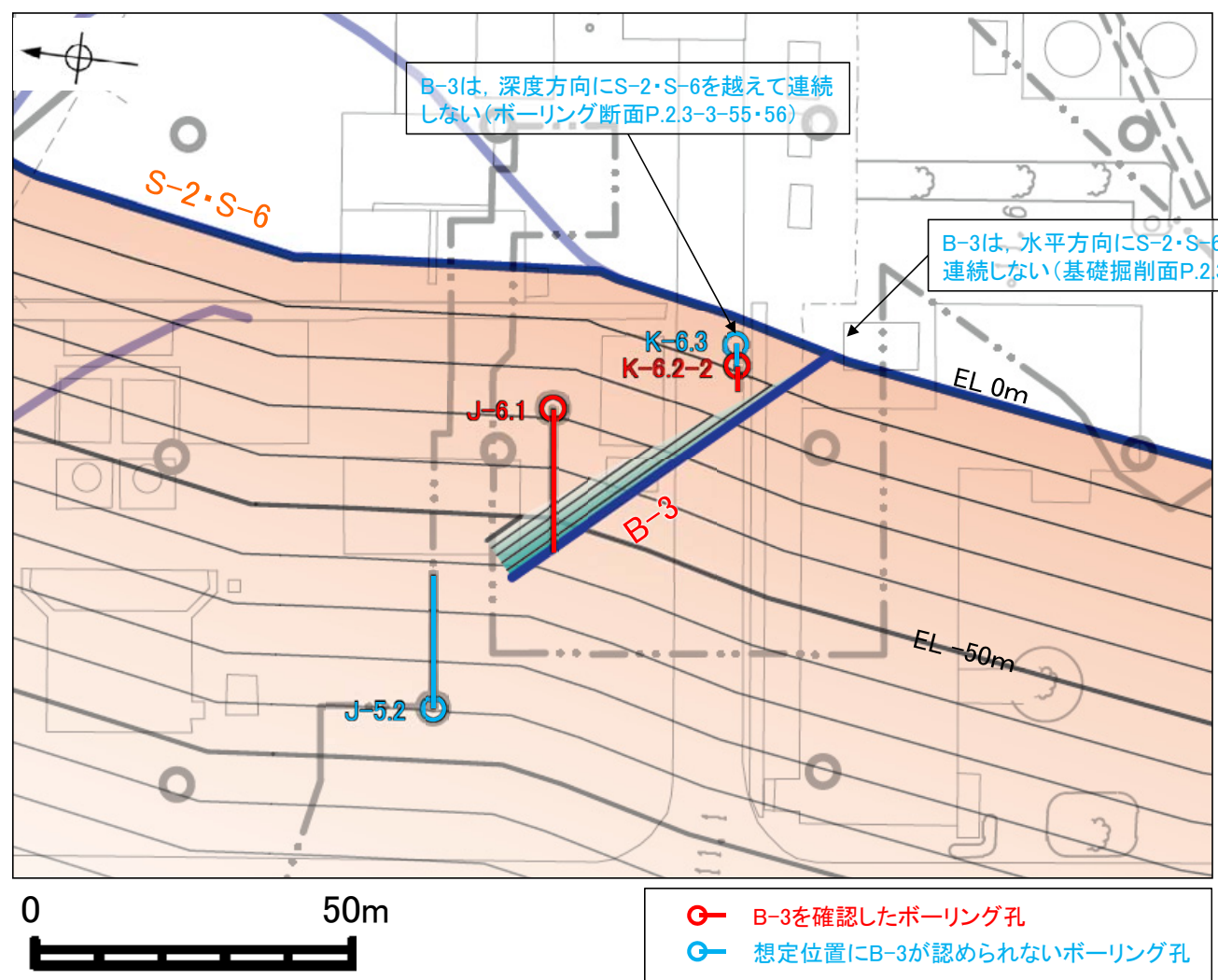
コア写真(深度80～120m)

I-6孔において、想定延長位置付近にS-9は認められない。

(10) S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

S-2・S-6とB-3の水平方向・深度方向のデータ

OB-3は、水平方向・深度方向にS-2・S-6を越えて連続しない。



位置図

S-2・S-6とB-3の関係